

令和 7 年 度

水道事業年報

和泉市上下水道部

目 次

1. 事業の経緯

(1) 沿 革	1
(2) 拡張事業の経過	3
(3) 年 表	5
(4) 業務量の推移	12

2. 機 構

(1) 機 構 図	15
(2) 職員配置表	16
(3) 在職年数別構成表	17
(4) 年齢別・職制構成表	17
(5) 事務分掌	18
(6) 課・係別職員数（各年度当初）	20
(7) 研修の実施状況5年度・6年度（抜粋）	22
(8) 災害応急対策概要	23
(9) 車両配置状況	25
(10) 電算運営状況	26

3. 財 務

(1) 決算の推移	27
(2) 損益計算書	29
(3) 資本的収支（税抜）	31
(4) 貸借対照表	33
(5) 費用構成表	37
(6) 経営分析表	40
(7) 業務分析表	42

4. 業 務

(1) 取水状況	44
(2) 配 水 量	46
(3) 水量分析	50
(4) 修 理	52
(5) 漏水防止	52
(6) 年度別メーター取替状況	53
(7) 加 入 金	54
(8) 手 数 料	56

5. 施設の概要

(1) 浄・配水場（池）一覧表	58
(2) 施設系統図	59
(3) 浄水施設	61
(4) 配水施設	66
(5) 施設図及び主要配管図	85
(6) 導・送・配水管布設延長	86
(7) 消火栓設置状況	88
(8) 耐震管延長	88

6. 電力・薬品

(1) 年度別使用状況	89
(2) 薬品使用量	89
(3) 施設別電力使用量及び使用料金	91

7. 水 質

(1) 水質基準	92
(2) 主な水質検査用機器	94
(3) 水質試験別検査機器・項目	95

8. 料 金

(1) 調定及び収納	96
(2) 調定状況	98
(3) 収納状況	100
(4) 納入方法	102
(5) 不納欠損金額	102
(6) 福祉減免制度実施状況	104

9. 資 料

(1) 水道料金の変遷	105
(2) 現行水道料金	112
(3) 町名別調定区分表	114
(4) 広報の実績及び主な記事	115

Ⅰ.事業の経緯

- (1) 沿 革
- (2) 拡張事業の経過
- (3) 年 表
- (4) 業務量の推移

1. 事業の経緯

(1) 沿 革

水道創設

和泉市の水道は、旧和泉町、八坂町、信太村地域の飲料水不足から、上水道の布設が早くから望まれていました。このような背景のもと昭和 28 年 4 月に和泉町他 2 か町村（八坂町 信太村）上水道組合として設立されました。創設事業は、昭和 28 年 10 月に認可着手し、昭和 30 年 9 月から給水を開始しました。

創設事業の計画概要は、給水人口 19,200 人 1 人 1 日平均給水量 120 ℓ と計画し、水源を大阪府営水道から 1 日平均給水量 2,300 m³を求めました。

その後、昭和 31 年 9 月の市制施行に伴う地域の拡大により、水の需要は増加の一途をたどりました。

しかし、本市は南北に細長い地勢と街が分散しているため、単一事業としての給水区域の拡大は困難で、また水源確保も難しく、各地域毎に簡易水道の事業認可を受けて着手しました。

昭和 35 年 8 月には、八坂町、信太村を編入合併と同時に、和泉町他 2 か町村上水道組合を解消し、和泉市水道事業として発足しました。



創設起工式

第 1 回拡張事業



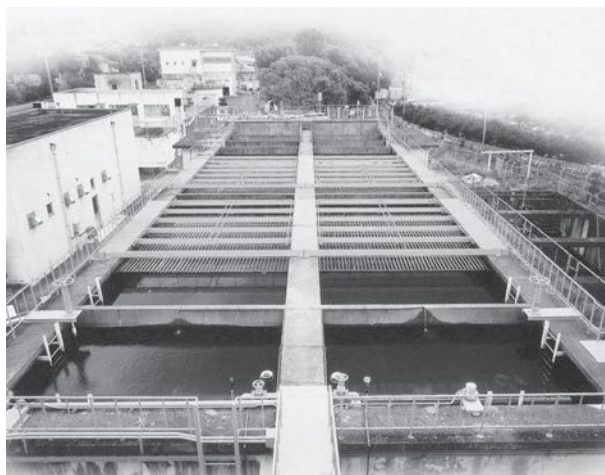
山荘配水場

市勢の発展に伴い、給水人口の増加は著しく、創設時の目標年度には既に計画給水量の 2 倍強に達しましたが、大阪府営水道の第 4 次拡張事業の受水対象から除かれていたため、契約受水量以上の受水を望むことができず、新規水源を泉北水道企業団（和泉市・泉大津市・高石市による一部事務組合）に求め、昭和 35 年 12 月に認可を得て、昭和 36 年 4 月から第 1 回拡張事業に着手、昭和 38 年度を目標として、給水人口 40,000 人、1 日最大給水量 9,600 m³とし、新たに 3,200 m³の給水能力を持つ山荘配水場を築造しました。

第 2 回拡張事業

本市における住宅開発は予想以上に進展し、水需要もこれに伴って著しい増加傾向が見られたので、第 2 回拡張事業を計画しました。

本事業計画は、和田浄水場の処理能力を 1 日最大 10,000 m^3 に拡張するとともに、池上浄水場（池上ポンプ所）に深井戸（1 日最大給水量 4,000 m^3 ）を新設しました。同時期に大阪府営水道の受水池を築造しました。



和田浄水場

第 3 回拡張事業



鶴山台配水場

第 1 回、第 2 回拡張事業を実施し、堺、泉北臨海工業地の造成に伴い、その後背地としての本市丘陵地帯に住宅団地などの計画が進められましたのでこれと併せて未給水地区を解消するため、給水区域を低区、中区、高区に区分し、各区の送配水施設を整備、拡張すべく第 3 回拡張事業を計画しました。

第 3 回拡張事業は、昭和 53 年度を目標として、給水人口 165,000 人、1 日最大給水量 59,400 m^3 を確保するもので、昭和 41 年 2 月 2 日認可を得て、昭和 54 年 3 月に竣工しました。

水道施設等整備事業

拡張事業は完成を見たものの、経済活動の停滞に伴い、人口の伸びが鈍化傾向となり、給水能力 59,400 m^3 に余裕が生じたため、次期拡張事業着手までの間、水源拡張の伴わない浄水場の機械、電気、計装設備及び配水池のテレメーター、配水幹線の整備を中心として水道施設等整備事業を施行しました。



施設整備

第4回拡張事業

本市丘陵地帯における新住宅市街地開発事業をはじめとして新規宅地開発が活発となり、今後の水需要の増加は必須であることから、これらに対応すべく給水条件の均等化、受水施設・送配水施設の整備拡充及び監視制御体制を強化し、広域的な施設の運用を図るため第4回拡張事業を計画しました。

第4回拡張事業は、平成27年度を目標として、給水人口199,600人、1日最大給水量90,000m³とし、将来に亘る安定供給を図るもので、平成4年3月12日認可を得て、平成28年3月に竣工しました。

(2) 拡張事業の経過

年次 項目	創設 和泉町他2か町村上水道組合	第1回拡張事業	第2回拡張事業
認可	昭和28年4月1日	昭和35年12月28日	昭和38年12月27日
起工	昭和28年10月	昭和36年4月	昭和39年4月
竣工	昭和33年3月	昭和39年3月	昭和42年3月
総事業費	88,652,000円	149,912,000円	487,992,000円
計画給水人口	19,200人	40,000人	100,000人
1日平均給水量	2,300m³	6,800m³	25,000m³
1日最大給水量	3450m³	9,600m³	36,000m³
1人1日最大給水量	180ℓ	240ℓ	360ℓ
水源	府営水受水（浄水） 2,300m³/日	府営水受水（浄水） 2,200m³/日 泉北水道受水（浄水） 7,400m³/日	府営水受水（浄水）6,930m³/日 泉北水道受水（浄水）7,400m³/日 自己水（地下水、光明池・表流水） 21,670m³/日
施設概要	池上ポンプ場 能力 3,450m³/日 黒鳥配水池 容量 1,100m³	山荘配水場 容量 3,200m³ 山荘配水塔 容量 105m³	池上浄水場拡張（地下水） 処理能力 4,000m³/日 受水池 1,440m³ 和田浄水場拡張（光明池分水） 処理能力 10,000m³/日 （簡易水道・上水道事業に統合） 北田中簡水＝下宮浄水場（伏流水） 2,800m³/日 父鬼簡水＝父鬼浄水場（表流水） 900m³/日 池田広域簡水＝和田浄水場（表流水） 1,500m³/日



中央受配水場

第3回拡張事業	第4回拡張事業
昭和41年2月2日	平成4年3月12日
昭和41年4月	平成4年4月
昭和54年3月	平成28年3月
3,500,885,000円	15,450,688,000円
165,000人	199,600人
41,250m ³	72,800m ³
59,400m ³	90,000m ³
360 ℓ	451 ℓ
府営水受水（浄水）35,000m ³ /日 泉北水道受水（浄水）7,400m ³ /日 自己水（地下水、光明池・表流水） 17,000m ³ /日	府営水受水（浄水）73,000m ³ /日 泉北水道受水（浄水）5,000m ³ /日 自己水（地下水、光明池・表流水） 12,000m ³ /日
（低区） 鶴山台配水場 容量 6,000m ³ 鶴山台配水塔 容量 250m ³ （中区） 和田浄水場拡張（光明池分水）11,000m ³ /日 浄水池 容量 2,500m ³ 排水処理施設 能力 10,000m ³ /日 光明台低区配水場 容量 1,600m ³ 光明台高区配水場 容量 2,900m ³ 光明台配水塔 容量 1,600m ³ 松尾寺配水池 容量 5,000m ³ （高区） 父鬼浄水場拡張（表流水） 能力 2,000m ³ /日 春木川配水池 容量 100m ³ 坪井配水池 容量 1,000m ³ 南面利配水池 容量 180m ³ 善正加圧ポンプ所 容量 51m ³	中区配水区域 { 中区東部配水区域 中区西部配水区域 （低区） 耐震貯水槽（5か所） 500m ³ （中区東部） みずき台配水塔 500m ³ （中区西部） 中央受配水場 14,600m ³ テクノステージ配水池 5,000m ³ テクノステージ加圧ポンプ場 250m ³ はつが野配水場 19,000m ³ はつが野配水塔 200m ³ 耐震貯水槽 100m ³ （高区） 父鬼配水池 200m ³ 小川ポンプ所 10m ³

(3) 年 表

昭和		主 な 事 項	昭和		附 記
年	月		年	月	
28	4	和泉町他 2 か町村上水道組合創設 同年 10 月工事着手			上水道組合概要 組合構成 和泉町・八坂町・信太村 地 勢 面積 9.7 km ² 東西 3.8 km 南北 4.6 km 給水区域内人口 33,490 人（創設時） 水道事務所 和泉町役場内に設置 組 織 管理者（和泉町長） 助 役（八坂町長・信太村長） 収入役（和泉町収入役） 上水道組合 組合議会構成 15 名 和泉町 7 名・八坂町 4 名・信太村 4 名 事業経費負担割合 和泉町 70%・八坂町 15%・信太村 15%
30	9	同給水開始			
31	9	和泉町隣接 6 か村合併により市制施行			
	12	九鬼簡易水道事業認可			
32	8	同給水開始			
33	3	北田中簡易水道事業認可			
	//	和泉町他 2 か町村水道事業完成			
	7	北田中簡易水道給水開始			
	8	松尾上水道事業認可			
35	8	父鬼簡易水道事業認可			
	//	池田広域簡易水道事業認可			
	//	八坂町、信太村を和泉市に編入合併			
	12	第 1 回拡張事業認可（和泉上水道）	35	3	泉北用水組合発足、水道用水供給事業認可を受ける。 和泉市と八坂町、信太村編入合併 市 勢 面 積 85.44 km ² 東西 6.9 km 南北 18.8 km 世帯数 1 万 4,388 世帯 人 口 7 万 1,286 人 和泉上水道組合解消、和泉市水道事業が発足 水道課設置 （機構） 管理者 — 所長 — 次長 水道事業所、庶務係、業務係、工務係 職員 51 名 10 名 13 名 28 名
36	1	松尾上水道給水開始		8	
	4	第 1 回拡張事業着手			
	12	父鬼簡易水道給水開始			
37	4	地方公営企業法適用			
	10	池田広域簡易水道給水開始			
38	4	三林加圧ポンプ所稼働（池田広域簡易水道）			
	//	内田加圧ポンプ所稼働（松尾上水道）			
	12	北田中、父鬼、池田広域簡易水道並びに松尾上水道を廃止し、和泉上水道事業に統合する 北 田 中 簡 易 水 道→下宮浄水場 父 鬼 簡 易 水 道→父鬼浄水場 池田広域簡易水道→和田浄水場 松 尾 上 水 道→唐国浄水場			
	//	第 2 回拡張事業認可			
39	3	第 1 回拡張事業完成			
	4	第 2 回拡張事業着手			
	8	泉北用水組合より受水開始	37	7	和泉上水道区域では急激な市勢の伸展で需要が増大し、夏季には、末端及び高台地区で出水不良及び断水状態となり、急拠、泉北用水組合に水源地の臨時工事により、送水を受け断水状態を解消する。
	9	池上浄水場深井戸揚水開始			
40	4	料金改定			夏季需要期に異常な干ばつと相まって、信太地区厚生年金住宅付近などで断水状態が続き、泉北用水組合からも受水したが解消せず、池上浄水場水源、深井戸を仮配管で送水し、給水の危機を脱する。
41	2	第 3 回拡張事業認可			
	4	第 3 回拡張事業着手	39	9	夏季需要期に異常な干ばつと相まって、信太地区厚生年金住宅付近などで断水状態が続き、泉北用水組合からも受水したが解消せず、池上浄水場水源、深井戸を仮配管で送水し、給水の危機を脱する。
	12	和田浄水場拡張工事着手（第 2 拡）			
42	3	第 2 回拡張事業完成			水道部設置 地方公営企業法、一部改正に伴い管理者を不設置とする
	5	和田浄水場拡張工事竣工（第 2 拡）	42	1	

昭 和		主 な 事 項	昭 和		附 記
年	月		年	月	
43	7	上町加圧ポンプ所稼働	42	1	制度に改め、事業所制を部制にする。 職員数 59 名
	10	唐国浄水場廃止（和田浄水場に統合）			
44	2	料金改定			
	10	大阪府営水道第 5 拡より受水開始 10 月 1 日 和田浄水場 12 月 12 日 池上浄水場			水道部 { 営業課 庶務・経理・給水 工務課 工務・浄水
45	3	三井受水場、三井配水塔稼働	43	4	泉北用水組合が地方公営企業法の適用を受け、 名称を泉北水道企業団に改める。
	//	第 3 回拡張事業変更認可	44	4	各種特殊勤務手当を特殊企業手当に統一
	4	同事業着手			
46	1	水道庁舎竣工			
	9	鶴山台配水場稼働により鶴山台団地に給水開始			
47	4	上町加圧ポンプ所廃止			
	//	配水管整備事業着手（環境改善整備事業）	47	11	無線電話装置設置 周波数 59.84MHz 基地局 10W 1局 移動局 10W 7局（車載）
48	2	和田浄水場拡張工事着工（第 3 拡）			
	12	和田浄水場拡張工事竣工（第 3 拡）			
49	4	配水管更生事業着手			
50	4	隔月集金検針実施	48	7	梅雨季よりの晴天続きで夏季のピーク時には異常湧水に 見舞われ、高台地区では出水不良一部断水状態となり、 市内一円にピウ及び公報車等により節水の呼びかけを行 うとともに、仕切弁減圧調整を実施する。
	6	加入金制度実施			
	//	春木川配水池稼働			
	8	父鬼浄水場拡張工事着手			
51	4	池上浄水場休止			
	10	父鬼浄水場拡張工事竣工			
52	4	酸性土壌による配水管腐蝕防止のため、ポリエ チレンスリーブ使用開始	51	8	光明台低区配水場築造工事竣工 給水方式 和田浄水場より受水、光明台高区配水場に 送水と中区東部低地域に自然流下式で配水
53	2	料金改定			
	//	善正加圧ポンプ所及び南面利配水池稼働			
	4	光明台高区、低区配水場稼働により光明台団地 給水開始（三林加圧ポンプ所休止）	9		光明台高区配水場及び配水塔築造工事竣工 配水方式 中区東部高地域に自然流下式で配水及び配 水塔に送水
	//	松尾寺配水池稼働により中区系統は全面自然流 下式に切り替える。（内田加圧ポンプ所休止）			
	//	漏水防止対策担当配置	53	4	光明台高区及び低区配水場稼働 光明台団地給水中区系 （和田浄水系）の給水方式は、東部光明台高区及び低区 配水場並びに西部松尾寺配水池稼働（53.2）によりポンプ 圧送式から全面自然流下式に切り替える。 光明台団地（住・都公団） 開 発 面 積 127.8ha 計画給水人口 10,810 人 計 画 戸 数 3,280 戸 和田浄水場水質試験室完成 理化学試験室 RC造 89.0 m ² 1 棟 事 務 室 58.75 m ² 生 物 試 験 室 23.3 m ²
	5	福瀬加圧ポンプ所稼働			
	10	料金改定			
54	3	和田浄水場処理施設稼働			
	//	第 3 回拡張事業完成			
	4	水道施設等整備事業着手			
	5	坪井配水池稼働			

昭和		主　　な　　事　　項	昭和		附　　　　　記
年	月		年	月	
54	7	下宮浄水場休止 電算機導入（NECシステム 100-80） 和田浄水場水質試験室完成 水道使用料金納付制度実施 漏水防止訓練センター完成、資材センター完成 通水満 30 年記念事業 （黒烏配水池苑路植樹） 通水満 30 年映画制作 （各小学校他ビデオ配布）	53	4	倉庫　S造　21.26㎡ 漏防訓練設備　15.0 m× 12.0 m　面積 80㎡ 資　材　倉　庫　鉄骨 2 階建　581.32　㎡ 鉄骨平屋建　48.00 ㎡ 少雨により琵琶湖水位が低下し、異常湧水に見舞われる。 水道部庁舎
56	4				
57	8				
58	10				
59	8				
60	3				
61	1				
62	4				
63	8				
63	4				
63	8	水道事業管理者設置（田中　稔氏就任） 山荘配水場施設整備			
12					
平成			平成		
年	月		年	月	
元	3	消費税導入により給水条例改正（適用未定） 管工事設計積算電算化 耐震性を考慮し、大口径送・配水管に S 形、 K F 形、U F 形を採用 水道料金福祉減免制度発足 資材入出在庫管理電算化 電算機導入レベルアップ（NEC 3100-A90） 窓口入出金管理ボスシステム稼働 ハンディ・ターミナルによる検針システム導入	元	7	福祉減免制度 対象世帯　└─ 母子世帯 └─ 独居老人世帯（65 歳以上） └─ 心身障がい者世帯（１、２級・療育手帳 A）
	4				
	//				
	7				
2	4				
3	4				
	//				
	11				
4	3				
	4				
	10				
	12				
5	4	第 4 回拡張事業認可 第 4 回拡張事業着手 水道フェア開催（第 1 回） 検針業務委託 水道料金納付書シールメール化 父鬼浄水場無人化（中央監視・制御） 耐震性を考慮し、中口径送・配水管に SⅡ 形を 採用 中央受配水場築造工事起工 新水質基準施行	3	1	4 週 6 休制導入
	//		5	4	完全週休 2 日制実施
	//				
	9				
12					
6	1	料金改定（平 25.21％）	6	1	区域外給水料金 2 割増廃止 福祉減免制度改正（老人夫婦世帯にも拡大） 梅雨期からの異常少雨と猛暑のため、全国的な異常湧水

平成		主 な 事 項	平成		附 記
年	月		年	月	
6	6	ワンタッチ給水栓無料取替（3 か年計画）	6	1	琵琶湖水位 マイナス 123 cmを記録
	10	漏水修理専用ダイヤル設置(0725-44-1441)		9	無線局周波数移行に伴う全面更新 周波数 59.84MHz → 364.5125MHz
7	3	中央受配水場築造工事竣工	7	1	阪神淡路大震災発生 給水応援（芦屋市：延べ 97 人） 復旧工事応援（西宮市：延べ 32 人）
	10	九鬼簡易水道従量料金適用			
	//	給水車（タンクローリー）導入 容量：2 kl			
	12	田中 稔管理者退任			
8	4	谷上 徹管理者就任	8	3	部庁舎床上げ工事及びレイアウト変更
	//	電算機上位機種移行（NECシステム 7200/90）			
	6	株式会社和泉市公共サービス公社業務開始			
9	4	消費税率引き上げによる給水条例改正 平成 9 年度 3%加算 平成 10 年度以降 5%加算		12	池上資材センター用地一部売却及び隣接地買収 売却面積 29.66 m ² 買収面積 277.33 m ² 現有面積 5,076.34 m ²
10	3	みずき台配水塔竣工	9	3	
	4	規制緩和による給水条例全部改正			
	//	小口径配水管にK形を採用			
	7	府営水道高度浄水処理水全面供給			
11	3	中央監視施設・はつが野配水場・テクノステーション配水池・加圧ポンプ場竣工	10	3	部庁舎改造（会議室を 1 F に）
	//	和田浄水場排水処理施設廃止	4		公認業者制度→指定工事業者制度へ移行
	4	中央監視業務一部委託	6		三林送配水管布設用地買収・寄贈 買収面積 614.52 m ² 寄贈面積 316.67 m ²
	//	排水汚泥下水道放流	11	3	三林加圧ポンプ所進入路用地買収 107.92 m ²
	12	谷上 徹管理者退任			
12	4	仲田博文管理者就任			
13	3	中央受配水場 2 号配水池竣工		4	浄水課事務所（水質係除く）中央受配水場内に移転
	4	電算機上位機種移行 （NEC Express 5800/680Ai）	//		特殊企業手当見直し
	9	給水開始 45 周年記念ビデオ制作 （各小学校他配布）	12	10	大阪府営水道料金改定（18.26%）
14	4	料金改定（14.63%）	13	4	部庁舎内総合ネットワーク確立
	8	給水条例一部改正（工事負担金廃止等）			
15	4	水道法改正（貯水槽水道等）に伴う給水条例一部改正			
			14	3	天然ガス車導入
	10	耐震性緊急貯水槽設置(郷荘中学校グラウンド)			
	12	仲田博文管理者退任	15	4	コンビニによる水道料金収納業務を開始
			7		地方独立行政法人法施行
			9		地方自治法（指定管理者制度）一部改正

平成		主 な 事 項	平成		附 記
年	月		年	月	
25	4	大阪広域水道企業団水道料金改定（用水供給料金 1 m ³ 当たり 3 円引き下げ）により水道料金 8%軽減	25	3	「新水道ビジョン」策定・公表（厚生労働省）
26	1	イメージキャラクター「オッスイ」「ジョッスイ」公表			
	2	はつが野配水場 2 号池・配水塔竣工			
	3	上下水道部庁舎移転			
	//	耐震性緊急貯水槽設置（黒鳥小学校グラウンド）	26	7	大阪府の横尾川改修事業に伴い 和田浄水場用地一部売却 売却面積 74.31 m ²
	//	仏並配水場築造工事着工			
	4	消費税率の改正に伴う水道料金改定			
	//	上下水道管路管理システム稼働			
	//	送・配水管に G×形を採用			
	10	上下水道料金システム稼働	27	4	区域内福祉減免制度復活（区域内福祉助成制度廃止） 区域外福祉助成制度は継続 機構改革により浄化槽係編入
	12	仏並加圧ポンプ場築造工事着工			
27	5	大阪広域水道企業団との緊急連絡管設置			
	9	給水開始 60 周年			
28	2	仏並加圧ポンプ場築造工事竣工	28	3	池上資材センター用地と市長部局が所管している 旧南池田第一保育園用地の一部を相互移管 池上資材センター用地移管面積 1,243.41 m ² 旧南池田第一保育園用地移管面積 2,047.30 m ² 池上資材センター現有面積 3,770.50 m ²
	8	仏並配水場築造工事竣工			
	11	仏並配水場運用開始（仏並加圧ポンプ場稼働）			
29	4	株式会社和泉市公共サービス公社解散			
	5	阪南水道協議会（幹事会）会長就任	29	4	大阪広域水道企業団が水道事業を開始 （四條畷市、太子町、千早赤阪村の水道事業を承継）
30	4	九鬼簡易水道を廃止し水道事業へ統合 九鬼加圧ポンプ所運用開始	10		「経営戦略」策定・公表 台風 21 号による土砂災害で岸和田市へ給水車派遣
	//	大阪広域水道企業団水道料金改定 （用水供給料金 1 m ³ 当たり 3 円引き下げ）			
	11	上下水道フェア終了（池上曽根史跡公園）	12		阪南水道協議会 指定工事事業者研修会（浪切ホール）開催
31	3	春木川配水池廃止	30	3	「水道施設等整備計画」策定・公表
	4	阪南水道協議会（幹事会）会長の任期終了 （泉佐野市へ引継ぎ）	4		特殊企業手当の運用見直し
			6		大阪北部地震発生 高槻市へ給水車派遣
			9		台風 21 号による停電により一部マンション等で仮設給水スタンドを設営し給水活動を実施
			31	2	大阪広域水道企業団技術研究発表会にて「簡易水道の上水道への切替について」を発表
			4		新元号「令和」に決定
			//		大阪広域水道企業団が泉南市、阪南市、豊能町、忠岡町、田尻町、岬町の水道事業を承継
令和		主 な 事 項	令和		附 記
年	月		年	月	
元	9	水道法改正（指定給水装置工事事業者更新制導入）に伴う給水条例一部改正	元	6	泉北水道企業団の解散に向けた取り組みを実施する旨を議員全員協議会へ報告
	9	健康のため水を飲もう in 和泉シティプラザ開催（水道水の P R ・ 備蓄水の啓発等）			

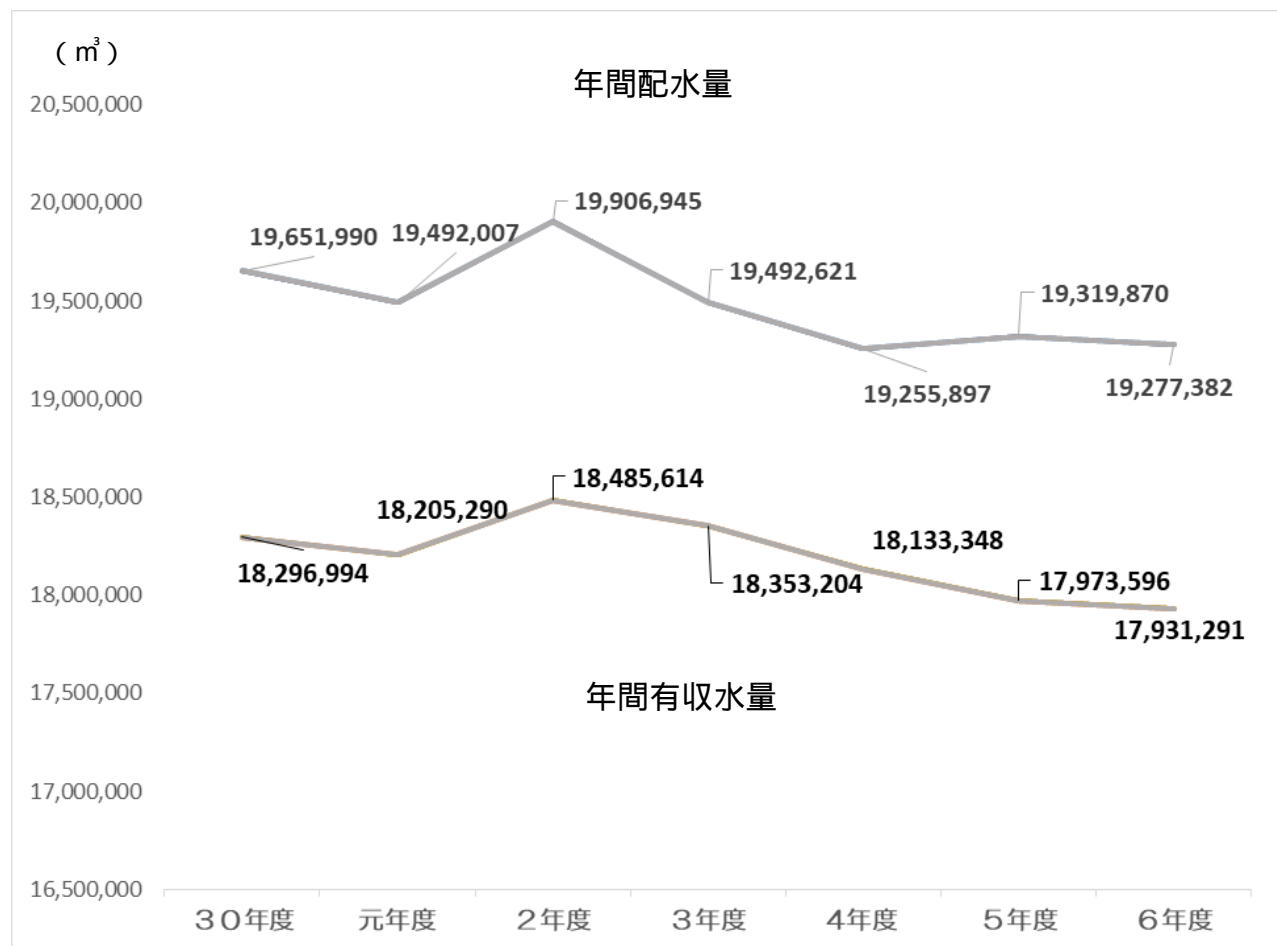
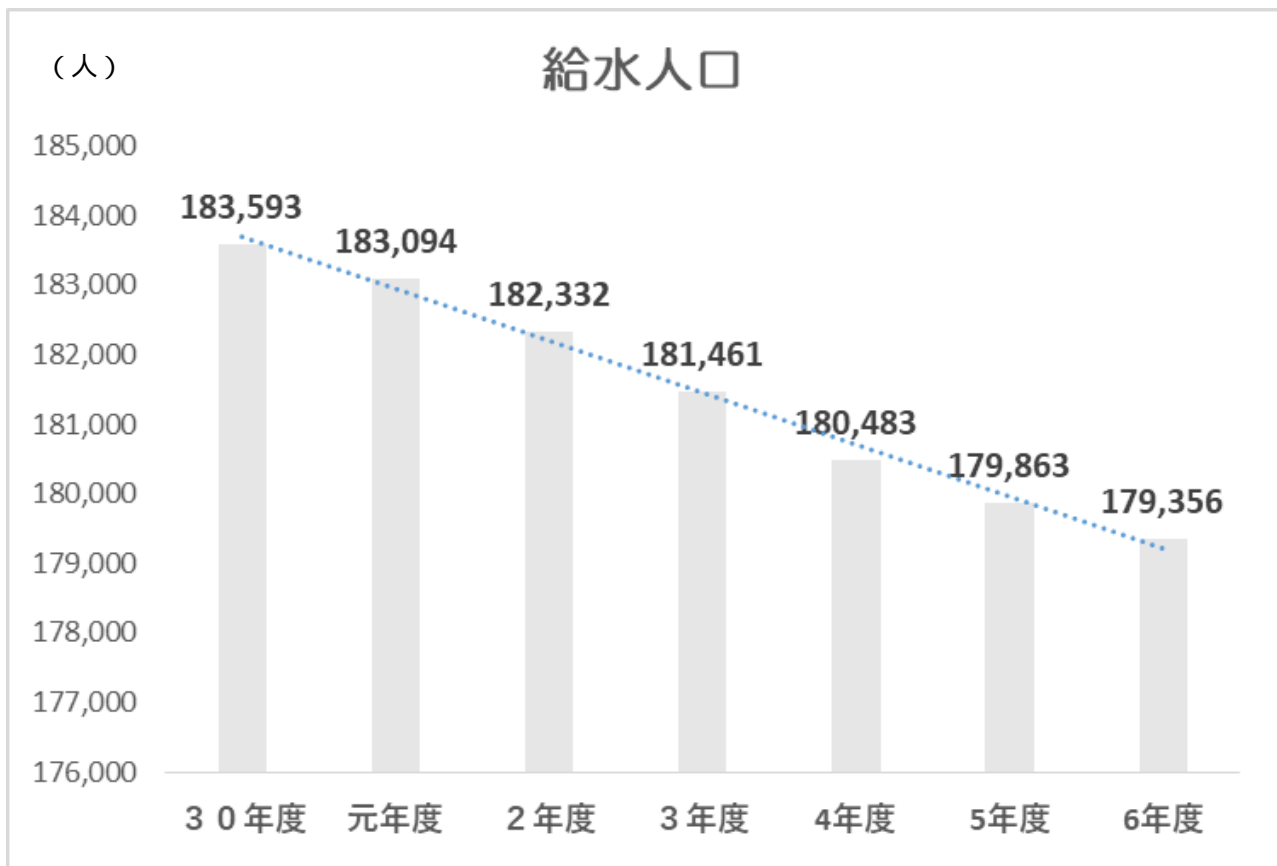
令和		主 な 事 項	令和		附 記
年	月		年	月	
2	3	和泉市上下水道部応急給水活動計画を策定	3	4	大阪広域水道企業団が藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河内町の水道事業を承継
	//	元三井受水場解体			
	4	大阪広域水道企業団との統合に向けた検討を開始			
	6	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市民生活等の支援として水道基本料金を 6 か月分減額			
3	3	泉北水道企業団解散			
	//	国分配水場廃止			
	5	はつが野配水場～仏並配水場 2 ルート化完了			
4	1	大阪広域水道企業団と、「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結			
	3	黒烏配水池解体			
5	3	令和 5 年第 1 回定例会における本会議で統合に関する議案が否決			
	//	旧三井受水場用地（554.02 ㎡）を売却			
6	3	浦田資機材倉庫新築	6	4	大阪広域水道企業団が能勢町の水道事業を承継
	//	福祉減免制度及び区域外福祉助成制度の廃止（令和 9 年 3 月まで経過措置制度適用）			
	4	機構改革により「水道工務課」と「浄水課」を統合し、「水道施設室」を新設			
	11	旧内田加圧ポンプ所用地（359.93 ㎡）を売却	7	4	大阪府広域水道企業団が岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市の水道事業を承継
7	1	和泉市上下水道耐震化計画の策定			
	3	和泉市水道ビジョン・経営戦略の策定			
	//	旧黒烏配水池用地（3,501.49 ㎡）を一般会計公園部門へ無償譲渡			
	9	給水開始 70 周年	8	3	和泉市水道管路更新計画の策定
	3	和泉市水道管路更新計画の策定			

(4) 業務量の推移

項目 \ 年度	6年度	対前年 伸率%	5年度	対前年 伸率%	4年度	対前年 伸率%
① 行政区域内人口（人）	182,104	△ 0.3	182,630	△ 0.3	183,214	△ 0.5
② 世帯数（世帯）	81,916	1.1	81,057	△ 0.6	81,570	0.8
③ 給水区域内人口（人）	179,360	△ 0.3	179,868	△ 0.3	180,488	△ 0.5
④ 普及率（％）	99.9	0.0	99.9	0.0	99.9	0.0
⑤ 給水人口（人）	179,356	△ 0.3	179,863	△ 0.3	180,483	△ 0.5
⑥ 給水戸数（戸）	81,913	1.1	81,054	1.0	80,231	0.8
⑦ 年間配水量（㎥／年）	19,277,382 (100.0%)	△ 0.2	19,319,870 (100.0%)	0.3	19,255,897 (100.0%)	△ 1.2
(1) 大阪広域水道企業団水（㎥／年）	16,707,830 (86.7%)	△ 4.0	17,396,218 (90.0%)	8.5	16,037,601 (83.3%)	△ 0.3
(2) 泉北水道（㎥／年）						
(3) 自己水（㎥／年）	2,569,552 (13.3%)	33.6	1,923,652 (10.0%)	△ 40.2	3,218,296 (16.7%)	△ 5.5
⑧ 1日最大配水量（㎥／日）	57,341	△ 2.0	58,529	2.1	57,310	△ 0.2
⑨ 1日平均配水量（㎥／日）	52,815	0.1	52,787	0.1	52,756	△ 1.2
⑩ 負荷率（％）	92.1	2.1	90.2	△ 2.1	92.1	△ 1.1
⑪ 1人1日最大配水量（ℓ／日）	320	△ 1.5	325	2.2	318	0.6
⑫ 1人1日平均配水量（ℓ／日）	294	0.3	293	0.3	292	△ 0.7
⑬ 年間有収水量（㎥／年）	17,931,291	△ 0.2	17,973,596	△ 0.9	18,133,348	△ 1.2
⑭ 有収率（％）	93.0	0.0	93.0	△ 1.3	94.2	0.0
⑮ 給水原価（円）	146円79銭	0.4	146円20銭	2.4	142円75銭	5.0
⑯ 供給単価（円）	144円46銭	0.1	144円34銭	△ 0.3	144円73銭	0.4
⑰ 公称施設能力（㎥／日）	77,400	0.0	77,400	0.0	77,400	0.0
⑱ 導・送・配水管延長（m）	588,481	0.2	587,318	0.2	586,011	0.7
⑲ 職員数（人）	32人	2人	30人	△ 1人	31人	△ 2人

3年度	対前年 伸率%	2年度	対前年 伸率%	元年度	対前年 伸率%	30年度	対前年 伸率%
184,185	△0.3	184,813	△0.5	185,790	△0.1	185,890	0.0
80,900	0.5	80,526	0.8	79,885	1.3	78,823	1.3
181,466	△0.5	182,337	△0.4	183,104	△0.3	183,604	△0.1
99.9	0.0	99.9	0.0	99.9	0.0	99.9	0.0
181,461	△0.5	182,332	△0.4	183,094	△0.3	183,593	△0.1
79,573	0.5	79,202	0.9	78,467	1.1	77,613	1.2
19,492,621 (100.0%)	△2.1	19,906,945 (100.0%)	2.1	19,492,007 (100.0%)	△0.8	19,651,990 (100.0%)	△0.3
16,085,449 (82.5%)	4.4	15,400,737 (77.4%)	8.7	14,171,998 (72.7%)	△3.1	14,619,562 (74.4%)	1.4
		1,469,170 (7.4%)	△18.8	1,809,450 (9.3%)	10.2	1,641,860 (8.4%)	△6.4
3,407,172 (17.5%)	12.2	3,037,038 (15.2%)	△13.5	3,510,559 (18.0%)	3.5	3,390,568 (17.2%)	△4.3
57,400	△1.2	58,113	1.8	57,062	△2.9	58,738	0.6
53,404	△2.1	54,540	2.4	53,257	△1.1	53,841	△0.3
93.0	△0.9	93.9	0.6	93.3	1.8	91.7	△0.9
316	△0.9	319	2.2	312	△2.5	320	0.6
294	△1.7	299	2.7	291	△0.7	293	△0.3
18,353,204	△0.7	18,485,614	1.5	18,205,290	△0.5	18,296,994	△0.7
94.2	1.4	92.9	△0.5	93.4	0.3	93.1	△0.4
135円98銭	0.2	135円74銭	0.8	134円68銭	0.3	134円34銭	△0.8
144円18銭	10.0	131円4銭	△10.2	145円91銭	△0.4	146円45銭	△0.2
77,400	0.0	77,400	0.0	77,400	0.0	77,400	0.0
581,894	0.2	580,676	0.7	576,506	0.6	573,350	0.7
33人	△1人	34人	3人	31人	△3人	34人	1人

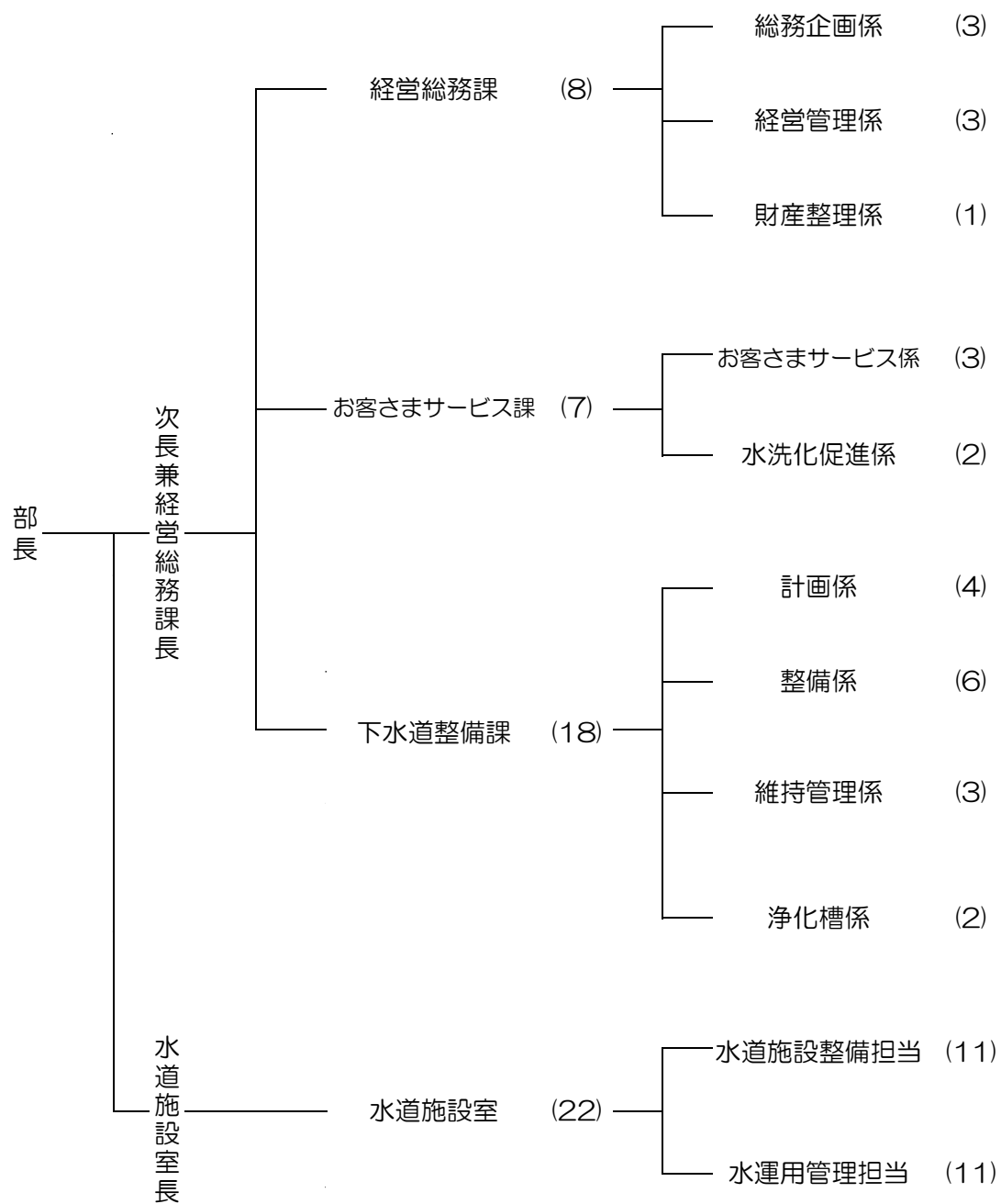
職員数については再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員は含まない。



2. 機 構

- (1) 機 構 図
- (2) 職員配置表
- (3) 在職年数別構成表
- (4) 年齢別・職制構成表
- (5) 事務分掌
- (6) 課・係別職員数（各年度当初）
- (7) 研修の実施状況5年度・6年度（抜粋）
- (8) 災害応急対策概要
- (9) 車両配置状況
- (10) 電算運営状況

(1) 機構図 (R7.4.1) 上下水道部 (58名) 《再任用フルタイムを含む》



(支弁職員内訳 計58名)

水道事業会計支弁職員	35名
公共下水道事業会計支弁職員	19名
公共浄化槽事業会計支弁職員	2名
一般会計支弁職員	2名

(2)職員配置表（水道事業会計支弁職員）

R7.4.1 現在

年齢	職制	部長級		次長 室長	課長級		補佐級		係長級		係員	計
		部長・監	理事		課長	総括参事	課長補佐 総括主幹	主幹	係長 総括主査	主査		
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	上下水道部	1										1
	経営総務課						1					1
	総務企画係								1	1		2
	経営管理係										3	3
	お客さまサービス課				1		1					2
	お客さまサービス係								1		2	3
	水道施設室			1								1
	水道施設整備担当				1	1	1					3
	事業調整G										1	1
	工務G								1		6	7
	水運用管理担当				1	1	1	1				4
	水道施設維持G								1		4	5
	水運用G								1		1	2
	合 計	1		1	3	2	4	1	5	1	17	35

(3) 在職年数別構成表（水道事業会計支弁職員）

R7.4.1 現在

在職年数（水道事業）	大卒	短卒	高卒	その他	計
	人	人	人	人	人
5年未満	16	2	4		22
5年以上10年未満	7	1			8
10年以上15年未満			2		2
15年以上20年未満					0
20年以上25年未満					0
25年以上	1		2		3
合 計	24	3	8	0	35名 平均在職年数 5.5年 平均勤続年数 18.7年

再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員は含まない

(4) 年齢別・職制構成表（水道事業会計支弁職員）

R7.4.1 現在

年齢	職制	部長	理事	次長 室長	課長級		補佐級		係長級		係員	計
					課長	総括参事	課長補佐 総括主幹	主幹	係長 総括主査	主査		
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
25歳未満											3	3
25歳以上30歳未満											2	2
30歳以上35歳未満									1		3	4
35歳以上40歳未満									1		6	7
40歳以上45歳未満							2		1			3
45歳以上50歳未満							1		1		1	3
50歳以上55歳未満				1	3		1		1		1	7
55歳以上60歳未満		1				2		1				4
60歳以上										1	1	2
合 計		1	0	1	3	2	4	1	5	1	17	35名 平均年齢 42.7才

再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員は含まない

《経営総務課》

総務企画係

- ① 職員の任命、諸給与、分限、賞罰及び身分取扱いに関すること。
- ② 条例及び議案の原案作成並びに規程の制定改廃に関すること。
- ③ 公印の管理に関すること。
- ④ 文書の收受及び発送に関すること。
- ⑤ 職員の福利厚生、人材育成及び研修に関すること。
- ⑥ 企画及び事務改善に関すること。
- ⑦ 広報に関すること。
- ⑧ 公用車の管理に関すること。
- ⑨ 個人情報 の適正管理及び調整に関すること。
- ⑩ 電算関連業務の調整に関すること。
- ⑪ 大阪府及び大阪広域水道企業団との総合的な調整に関すること。
- ⑫ 部内の連絡調整に関すること。
- ⑬ 上下水道事業経営審議会に関すること。
- ⑭ 他の係の所掌に属しないこと。

経営管理係

- ① 例月出納検査、決算審査及び決算に関すること。
- ② 業務状況の報告に関すること。
- ③ 資金計画及び評価並びに減価償却に関すること。
- ④ 予算の原案及び附属書類の作成に関すること。
- ⑤ 収入及び支出に関すること。
- ⑥ 消費税の申告事務に関すること。
- ⑦ 財産の取得、管理及び処分に関すること。
- ⑧ 企業債に関すること。
- ⑨ 工事請負その他入札執行及び契約締結に関すること。
- ⑩ 物品資材の購入及び不用品の売却に関すること。
- ⑪ 材料の受払いに関すること。

財産整理係

- ① 泉北水道企業団の解散に伴う承継事務に関すること。

《お客さまサービス課》

お客さまサービス係

- ① 水道料金、下水道使用料、公共浄化槽使用料及びその他納付金の調定並びに徴収に関すること。
- ② 水道料金、下水道使用料、公共浄化槽使用料及びその他納付金の軽減又は免除並びに滞納整理並びに停水処分に關すること。
- ③ 水道及び公共下水道の使用又は中止に関すること。
- ④ 水道料金、下水道使用料又は公共浄化槽使用料の清算に関すること。
- ⑤ 使用水量の計量及び認定に関すること。
- ⑥ 市の水道メーターの維持管理及び検査に関すること。
- ⑦ 料金システムの開発改良に関すること。
- ⑧ 他の係の所掌に属しないこと。

《水道施設室》

- ① 拡張事業及び改良工事の設計施行に関すること。
- ② 受託工事の設計施行に関すること。
- ③ 水道の整備に係る計画立案に関すること。
- ④ 企業債及び国庫補助金申請に関すること。
- ⑤ 道路掘削、その他申請に関すること。
- ⑥ 水道事業の技術調査に関すること。
- ⑦ 給水装置工事の設計審査、施行管理及び工事検査に関すること。
- ⑧ 加入金、手数料その他の納付金に関すること。
- ⑨ 水道使用許可の承認に関すること。
- ⑩ 給配水施設及び消火栓の維持管理及び修繕に関すること。
- ⑪ 漏水防止計画の策定及び調査に関すること。
- ⑫ 指定給水装置工事事業者の指定及び業者指導に関すること。
- ⑬ 開発等の協議に関すること。
- ⑭ 取水及び浄水に関すること。
- ⑮ 浄配水場その他施設の維持管理、修繕及び更新に関すること。
- ⑯ 浄配水場その他施設の補修改良工事に関すること。
- ⑰ 水運用に関すること。
- ⑱ 水質管理に関すること。
- ⑲ 水質検査計画に関すること。

(6) 課・係別職員数(各年度4.1現在)

年度別 課・係別		16	17	18
管理者			1	
部 長			1	1
理 事		1	1	
次 長		1 浄(1)	総 営(3) 浄	2 営(1) 浄
総務課	課長・補佐他	課1 参(2) 主(1)	課1 主(3)	課1
	庶 務 係	参3	参3	3
	経 理 係	参3	参3	3
	電算運用係	主3	参3	2
	計	1	1	1
	課長・補佐他	課1 参(1)	課1 参(1)	課1 参(1) 補(1)
	営 業 係	7	6	補6
営業課	計 量 係	参3	参3	参3
	給 水 係			
	計	11	10	10

年度別 課・係別		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7
部 長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
理 事					1	1														
次 長		3	2	2	経(1) 営(1)		1	1	1					工 浄(1)	1	2	1		室1	室1
経営総務課	課長・補佐他	課1	課1 参(1)	課1 参(1)	課1 参(1)	参1 主1	参(1)			課1 総参1	課1	課1	課1	課1	課1	課1	課(1)		補1	補1
	総務企画係	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	経営管理係	2	1	1	1	3	1	1	4	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3
	システム運用係	1	1	1	1															
	計	8	8	8	8	8	7	6	7	8	7	7	7	7	7	8	8	7	7	6
お客さまサービス課	課長・補佐他	補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補1 主(1)	課1 参(1) 主(1)	課1 参(1)	課1 補1	課1 補1 主(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補1	課1 補1	課1 総参1	課1 補1	課1 補1	課1 補1	課1 補1
	お客さま担当係	補4	補4	補4																
	検 針 係	2	2	2																
	お客さまサービス係				3	3	4	3	主3	2	補3	補3	補3	2	2	2	2	2	3	3
	水洗化促進係									1		1	1							
	計	7	8	6	6	6	6	5	5	5	4	5	5	4	4	4	4	4	5	5

年度別 課・係別		16	17	18
工務課	課長・補佐他	課1 参1 主(2)	課1 2 参(1)	課1 参1 主(2)
	工 務 係	5	5	主4
	計 画 係	主3	参3	3
	管 理 係			
	給 水 係			
	給水維持係	主6	6	主5
	計	16	17	14
浄水課	課長・補佐他	課1 参1(2) 主(1)	課1 参2(1) 主(1)	課1 参2 主1
	浄 水 係	主4	主4	3
	配 水 係	参3	参3	2
	水 質 係	参3	2	2
	浄水第1係			
	浄水第2係			
	施 設 係			
	浄水第3係			
	計	12	12	11
計		53	52	47

年度別 課・係別		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7
水道工務課	課長・補佐他	課1 参(1) 主(1)	課1 参(1) 主(1)	課1 参1 主(1)	課1 参1(1)	課1 参1(1)	課1 参(1) 主(1)	課1 参2(1) 主1	課1 参2 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 総参1 補1	課1 総参1 補1 総主(1)	課1 総参1 補1	課1 総参1 補1	課1 総参1 補1	課1 総参1 補(1)		
	工 務 係	3	4	4	4	5	5	4	5	5	補6	補6	5	総主5	4	4	3	4		
	事業調整係	3	3	3	3	3	3	2	3	2										
	給水維持係	4	4	4	5	4	主4	主4	補4	補4	4	5	4	3	5	5	5	5		
	計	13	14	14	15	15	14	13	15	12	11	12	12	11	12	12	11	11		
浄水課	課長・補佐他	課1 部1 参1 主1	課1 部1 参1 主1	課1 参1 主1(1)	課1 補1	課1 参1 補1 主(1)	課1 補1 主(1)	課1 参1 補(1) 主(1)	課1 参1 補(1) 主(1)	課1 補1	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 参1 補(1)	課1 補1				
	浄 配 水 係	5	4	4	5	4	4	補4	補5	3	3	4	補5	補5	4	4	補3	4		
	水 質 係	3	2	2	2	1	主2	主2	主2	2	補3	補3	3	3	3	補3	3	2		
	計	12	10	10	9	9	8	8	9	7	7	8	9	9	9	9	8	8		
水道施設室	水道施設整備担当																		課1 総参1 総主1	課1 総参1 総主1
	事業調整グループ																		1	1
	工務グループ																		5	7
	水運用管理担当																		課1 総参1 総主1 主1	課1 総参1 総主1 主1
	水道施設維持グループ																		4	5
	水運用グループ																		1	2
	計																		18	22
計		44	43	41	40	40	37	34	38	33	30	33	34	32	34	32	32	31	32	35

※ 室 …… 室長 課 …… 課長 部 …… 部参事 総参 …… 総括参事 参 …… 参事 補 …… 課長補佐 総主 …… 総括主幹 主 …… 主幹 () 書きは兼務
 総 …… 総務課長兼務 営 …… 営業課長兼務 工 …… 工務課長兼務 浄 …… 浄水課長兼務 経 …… 経営総務課長兼務 客 …… お客さまサービス課長兼務

(7)研修の実施状況 令和5年度・令和6年度（抜粋）

主な研修の実施状況									
開催日	名称	詳細	開催場所	出席者	参加人数				
R6.3.7	地方公共団体における契約事務（基本）	地方公共団体における契約事務について解説	オンライン受講	経営総務課	12名				
R6.5.28～5.29	労働基準法と労務管理の実務入門	勤務時間などの基本事項、健康管理やハラスメントなどの最新動向も踏まえ解説、トラブルになりやすい分限処分・懲戒処分や非正規公務員問題について解説							
R6.7.10	地方公営企業会計における予算決算作成実務	会計制度の改正項目の解説、予算・決算の概要及び書類作成における留意点及び実務について解説							
R6.9.3	地方公営企業の計画的経営の推進と留意事項	経営の基本的な考え方や計画的経営の推進と留意事項の解説							
R7.2.26～2.27	問題を抱える職員対応の実務ポイント	問題を抱える職員への実務上の対策・対応・処分について、法律上の論点から解説							
R5.7.6～7.7	地方自治体における公金管理・運用の基礎	公金管理・運用の基礎知識や心構え、預金・債券による運用上のポイントを解説	大阪科学技術センター			水道工務課	6名		
R5.8.9～8.10	NOMA行政管理口座「地方公営企業の消費税」	消費税の基本概要から実務対応を習得							
R6.2.13～2.14	地方公営企業会計基準に基づく令和5年度決算の進め方	決算制度の特徴や留意点を学び、演習を用いて決算書類の作成方法を解説							
R6.6.4～6.5	わかりやすい地方公営企業会計の基礎実務	地方公営企業会計の全体像と複式簿記による会計事務の基本を演習を交えて解説							
R7.3.6～3.7	地方公営企業の消費税	消費税の基礎概要から実務対応の習得							
R6.7.24～7.26	衛生管理者受験講習会	第一種衛生管理者受験の講習	新梅田研修センター					大阪科学技術センター	5名
R6.8.2	経理・経営分析研修	水道事業の経理・経営分析に関する基礎知識の習得	大阪市水道局 体験型研修センター						
R5.6.14～6.16	水道基礎講座	水道事業全般にわたる基礎知識の修得	日本水道協会 大阪会館						
R5.6.20～6.21	水道技術者ブロック研修会	水道事業の維持管理者を対象に水道技術に関する知識の習得	京都市勤業館	大阪科学技術センター	6名				
R5.12.5～12.6	官民境界確定をめぐる法律と実務	官民境界確定を巡る法律上の論点から資料の収集・分析に必要な事務知識、紛争をスムーズに解決するための手法							
R5.8.28	漏水調査（修繕）・管路保全研修	漏水調査方法や修繕方法の実習、水道管の管路保全について解説	大阪市水道局 体験型研修センター						
R5.9.22	断通水・洗浄排水作業研修	断通水作業実施計画の策定実習、断・通水作業の実習							
R5.11.20～11.21	給水装置研修	給水装置の基準・給水装置工事研修							
R5.9.13～9.15 R6.3.13～3.15	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者の資格取得	エル・おおさか	浄水課	5名				
R5.10.23～10.25	小型移動式クレーン運転	業務を行うにあたって必要な資格取得	近畿教習センター						
R6.2.10～2.11	玉掛け技能講習								
R5.8.30～9.1	クレーン特別教育	クレーン運転の業務に係る特別教育の受講		水道施設室	8名				
R6.5.17	新規勤務技術職員基礎研修	水源から浄水、給配水までの水道施設の基礎的な知識を習得	大阪市水道局 体験型研修センター						
R6.10.21	配水管工事施工管理研修	排水管工事を施行管理するにあたり、必要な技術的知識を習得							
R6.10.18	断通水・洗浄排水作業研修	作業計画の立案やバルブ操作手順等を体験することにより、排水管の維持管理に関する技術を習得							
R6.12.2～12.3	給水装置研修	給水工事の基準、工事、模擬設計、竣工検査模擬体験、維持管理及び事故事例に関する研修							
R7.2.14	配水管・給水管実習	排水管・給水管の実習特化型研修							
R7.2.21	給水管実習	給水装置の維持管理と給水全般の実習特化型研修							
R6.6.12～6.14	水道基礎講座	水道水が作られ、配られるまでの過程、水道事業の仕組み、水道経営のあり方など水道事業全般にわたる基礎知識の修得	日本水道協会 大阪会館			大阪府 都市整備推進センター			
R6.7.30	公共測量の基礎講座	公共測量の理解を深め、測量成果の品質確保を図る。							

(8) 災害応急対策概要

相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 機 関 名
大規模災害時団体救援協定書（災害時水道管応急対策）	平成19年7月31日	和泉市水道管工事業協同組合
災害時における水道施設の応急復旧に関する協定書（水道災害応援協定）	平成20年3月3日	(株)光明製作所
災害時における緊急時の応援に関する協定書	平成30年4月1日	第一環境(株)関西支店
堺市・和泉市 水道事業に係る災害時相互応援に関する協定	平成30年5月18日	堺市
大阪府域の水道災害における情報共有及び支援に関する協定	令和6年4月26日	大阪府、府内全ての市町水道事業体及び大阪広域水道企業団
泉大津市・和泉市・大阪広域水道企業団（高石水道事業） 水道事業に係る災害時等相互応援に関する協定書	令和7年4月1日	泉大津市、大阪広域水道企業団（高石水道事業）

応急給水・復旧工事主要資機材一覧表

R7.10.1現在

種類	容量	数量	種類	台数
給 水 車	2m ³	1	投 光 器	10
給 水 タ ン ク	1m ³	3	鉄 管 切 断 機	1
	0.5m ³	3	電 気 ド リ ル	1
揚水ポンプ付給水タンク	2m ³	1	水 中 ポ ン プ	7
組立式簡易貯水槽	1m ³	51	エ ン ジ ン ポ ン プ	2
緊急時用浄水装置	—	8	可 搬 式 発 電 機	5
仮設給水スタンド	—	55	制 水 弁 開 栓 棒	45
給 水 ポ リ タ ン ク	20ℓ	53	漏 水 探 知 機	5
	10ℓ	62	埋 設 管 探 知 機	2
給 水 ポ リ 袋	10ℓ	1,100	金 属 探 知 機	1
	6ℓ	6,400	音 聴 棒	9
アルミ缶備蓄水(490mℓ)		21,000	残 塩 測 定 器	7

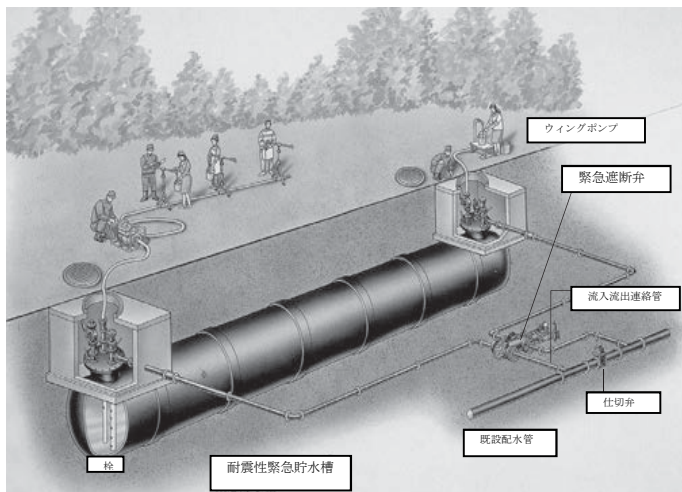
耐震性緊急貯水槽（飲料用）

設置場所	a.郷荘中学校（平成15年度） b.青葉はつが野小学校（平成17年度） c.富秋中学校（平成18年度） d.和泉中学校（平成19年度） e.信太中学校（平成20年度） f.黒鳥小学校（平成26年度）
材質	ダグタイプル鉄管（LUF形）
型式	分散型
呼び径	Φ2,600mm
長さ	19.30m
貯水容量	100 m ³
付帯設備	（郷荘中学校・富秋中学校・和泉中学校）貯水槽用緊急遮断弁Φ200（水圧感知式）（青葉はつが野小学校・信太中学校・黒鳥小学校）貯水槽用緊急遮断弁Φ150（水圧感知式）
取水方法	手動ポンプ



大阪広域水道あんしん給水栓設置箇所

記号	所在地
①	和泉市葛の葉町
②	和泉市池田下町
③	和泉市池田下町
④	和泉市いぶき野一丁目
⑤	和泉市いぶき野二丁目
⑥	和泉市唐国町二丁目
⑦	和泉市唐国町四丁目
⑧	和泉市伏屋町二丁目
⑨	和泉市池田下町
⑩	和泉市尾井町
⑪	和泉市上代町
⑫	和泉市いぶき野三丁目

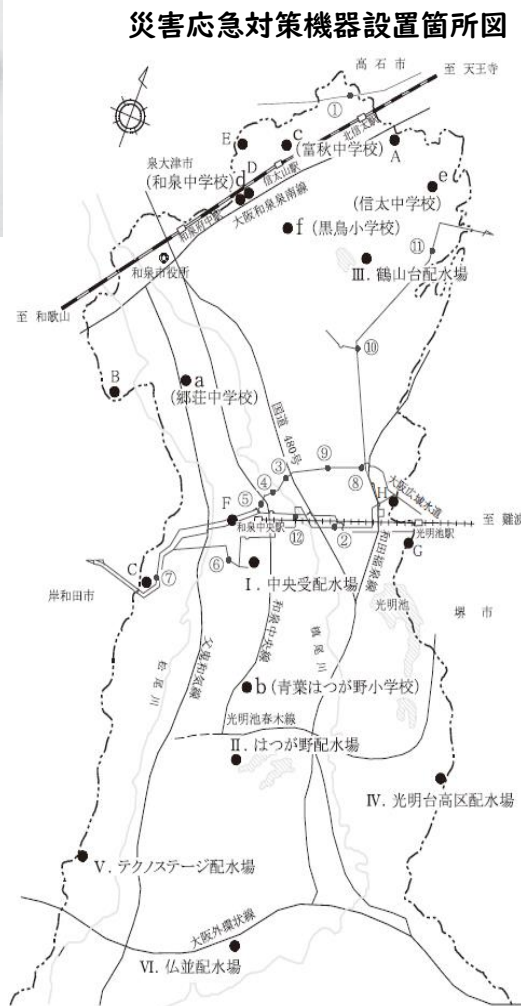


緊急遮断弁設置箇所

記号	施設名	非常時最大貯水量
I	中央受配水場	7,300 m ³
II	はつが野配水場	9,500 m ³
III	鶴山台配水場	2,000 m ³
IV	光明台高区配水場	1,450 m ³
V	テクノステージ配水池	3,000 m ³
VI	仏並配水場	1,000 m ³
	合計	24,250 m ³

緊急連絡管設置箇所及び協定締結市

記号	所在地	口径	協定市	締結日
A	和泉市上町	φ200	高石市	H13.12.25
B	和泉市小田町	φ150	岸和田市	H15.10.14
C	和泉市唐国町四丁目	φ150	岸和田市	H15.10.27
D	泉大津市東豊中町三丁目	φ150	泉大津市	H17. 8.11
E	和泉市池上町	φ300	泉大津市	H17. 8.11
F	和泉市唐国町	φ150	大阪広域水道企業団	H27. 1.20
G	和泉市室堂町	φ150	堺市	R02. 3.31
H	和泉市伏屋町三丁目	φ200	堺市	R02. 3.31



(9) 車両配置状況

R7.10.1 現在

課・係別			車種別				軽自動車			計
			普通乗用	特殊貨物	小型乗用	小型貨物	乗用	貨物		
								トラック	バン	
経営総務課			1		2	1	1			5
お客さまサービス課		お客さま サービス係					1		1	2
水道施設室	水道施設整備担当	工務G							3 MK 2	4 MK 3
		事業調整G							1 MK 1	
	水運用管理担当	水道施設維持G		1				3 MK 3	3 MK 3	9 MK 7
		水運用G						1 MK 1	1	
	計			1	1	2	1	2	4 MK 4	9 MK 6

※ MK(無線・広報車 [SD カード])

(10)電算運営状況

① 水道事業OA化の経緯

昭和40年	6月	東芝トスバック 1100D 型導入 ※ 担当職員 2 名	【水道料金計算】
昭和44年	2月	㈱岩井計算センターに委託	【水道料金調定処理】
昭和48年	4月	㈱南大阪電子計算センターに委託	【水道料金調定処理】
昭和56年	4月	部単独でオフィスコンピュータ（NEC システム 100 - 80 II）の導入並びに部内のOA化開始 【水道料金調定・収納消込処理】	
昭和60年	4月	日本語ワードプロセッサ（NEC 文豪 13N）導入 1 台	
昭和61年	4月	電算担当部門を総務課に設置（担当職員 3 名） 上位機種移行（NEC システム 150 - 88VS）と共に、日本語上下水道オンラインシステム 稼働、並びに水道トータルシステム計画を確立	
昭和62年	4月	企業会計システム	
昭和63年	3月	指名願い管理システム	
平成 元年	1月	パーソナルコンピュータ（NEC PC9801）導入	【水質データ管理】
	4月	日本語ワードプロセッサ（NEC 文豪 5M）導入（本庁 1・2 階）	
	//	ファクシミリ（NTT FAX350T）導入（本庁・和田）	
	//	管工事設計積算システム稼働	
平成 2年	4月	総務課に電算運用係設置	
	//	日本語ワードプロセッサ（NEC 文豪 5M）導入（和田）	
	//	資材入出庫管理システム稼働	
平成 3年	4月	上位機種移行（NEC システム 3100 / A90）	
	11月	ハンディ・ターミナル（キャノンモデル HT - 900）による検針システム稼働	
平成 5年	4月	固定資産減価償却管理システム並びに企業債管理システム稼働	
平成 6年	4月	ファクシミリ（NTT FAX J - 300）に移行（本庁・和田）	
	12月	管工事設計 CAD 及び積算システム構築に着手	
		パーソナルコンピュータ（NEC PC - 9821XS）に移行	【水質データ管理】
	//	日本語ワードプロセッサ（NEC 文豪 5M II）に移行（本庁 1・2 階・和田 計 4 台）	
平成 8年	3月	部庁舎内 LAN 構築（構内通信情報網）の確立	
	4月	上位機種移行（NEC システム 7200 / 90）	
	//	企業会計予算編成システム稼働	
	6月	ハンディ・ターミナル「キャノン HT - 970」に移行	
	9月	管工事設計 CAD 積算システム稼働	
	12月	ファイリングシステム構築により、給水台帳の取り込み開始 （和泉市公共サービス公社へ委託）	
平成 9年	4月	ファイリング用機器（NEC・Express5800/160R.PRO）導入と Windows NT による クライアント・サーバー方式によるシステム稼働	
平成11年	4月	中央監視制御システム稼働（市内各配水池等の集中監視制御）	
	//	防災システム稼働	
平成12年	10月	マッピングシステム構築に着手	
	11月	給水申請システム構築に着手	
平成13年	4月	部庁舎内総合ネットワークの確立	
	//	上位機種移行（NEC Express5800/680Ai）	
	//	ハンディ・ターミナル「キャノン HT - 280」に移行	
	//	管工事設計 CAD 積算新システム（AQUA -Σ for Win）に移行	
	10月	浄水課ネットワークシステム稼働	
	12月	給水工事申請管理システム稼働	
平成15年	4月	コンビニ収納開始	
	//	口座振替データ伝送システム稼働	
平成17年	4月	水道部マッピングシステム稼働	
平成18年	4月	上位機種移行（NEC・Express5800/680xi） ハンディ・ターミナル「キャノン KT - 1」に移行 電子計算機運営処理業務の委託（常駐 1 名）	
平成20年	8月	水道事業会計システム構築に着手	
平成21年	4月	水道事業会計システム稼働	
平成23年	4月	系の統合に伴う電子計算機運営処理業務の全面委託（常駐 2 名）	
平成23年	7月	水道事業電算システムにおけるバックアップシステム拡充（中央受配水場に設置）	
平成24年	10月	上下水道料金システム構築に着手	
平成25年	9月	上下水道管路管理システム構築に着手	
平成26年	4月	上下水道管路管理システム稼働	
	//	ハンディ・ターミナル「キャノン KT - 2」に移行	
	10月	上下水道料金システム稼働	
平成30年	5月	スマートデバイス（TOUGH PAD）等に移行	
令和元年	12月	上下水道料金システム系パソコン・プリンタ等機器入れ替え	
令和2年	10月	上下水道管路管理システム系パソコン・プリンタ等機器入れ替え	
令和3年	12月	和泉市公式LINEアカウントによる「水道の使用開始・休止の仮申請」を開始	
令和5年	3月	水道施設管理システム構築に着手	
	4月	水道施設管理システム稼働	

3. 財 務

- (1) 決算の推移
- (2) 損益計算書
- (3) 資本的収支(税抜)
- (4) 貸借対照表
- (5) 費用構成表
- (6) 経営分析表
- (7) 業務分析表

3.財務

(1) 決算の推移

経営状況

区分			年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
収益的収支	総 収 益			3,212,582	3,225,712	3,305,079	3,313,565
	営 業 収 益			2,686,150	2,713,607	2,759,663	2,753,072
	うち	給 水 収 益		2,590,442	2,594,382	2,624,356	2,646,079
		一般会計等繰入金		8,663	19,428	7,000	7,000
	営 業 外 収 益			499,237	511,995	513,946	560,493
	うち	一般会計等繰入金		3,779	4,350	3,954	4,050
		長期前受金戻入		384,946	398,437	407,611	457,063
	総 費 用			3,030,276	3,055,301	3,029,170	2,980,018
	営 業 費 用			2,995,991	3,015,736	2,980,513	2,922,913
	うち	職 員 給 与 費		229,083	211,164	234,722	224,826
		受 水 費		1,239,383	1,279,169	1,200,604	1,207,242
		減 価 償 却 費		879,017	874,038	877,457	935,144
	営 業 外 費 用			32,660	36,808	47,199	55,520
	うち	支 払 利 息		28,935	35,393	42,618	49,814
一 時 借 入 金 利 息			0	0	0	0	
特別損益	経 常 損 益 (A)			156,736	173,058	245,897	335,132
	特 別 利 益			27,195	110	31,470	0
	うち	一 般 会 計 等 繰 入 金		0	0	0	0
	特 別 損 失			1,625	2,757	1,458	1,585
	差 引 (B)			25,570	△ 2,647	30,012	△ 1,585
	純 損 益 (A) + (B)			182,306	170,411	275,909	333,547
利 益 剰 余 金			1,823,921	2,206,226	2,431,122	2,448,008	
資本的収支	資 本 的 収 入			322,634	72,074	60,607	36,886
	うち	企 業 債		250,000	0	0	0
		一般会計等繰入金		11,000	11,000	11,000	11,000
	資 本 的 支 出			941,218	1,904,083	994,090	866,662
	うち	建 設 改 良 費		716,956	947,776	726,895	606,662
		職 員 給 与 費		48,028	33,475	36,406	33,848
		企 業 債 償 還 金		224,262	256,307	267,196	260,000
	差 引			△ 618,584	△ 1,832,009	△ 933,483	△ 829,776
不 良 債 務			0	0	0	0	
営業収益に対する割合	単年度欠損金比率			—	—	—	—
	累積欠損金比率			—	—	—	—
	不良債務比率			—	—	—	—
総 収 益 対 総 費 用 比 率			106.0	105.6	109.1	111.2	
一般会計から繰入金総額			23,442	34,778	21,954	22,050	
年度末企業債現在高			1,487,896	1,462,158	1,718,465	1,985,661	
年度末一時借入金現在高			0	0	0	0	

※資本的収支については、消費税相当額を含む。

(単位：千円)

令和2年度	令和元年度	平成30年度	対前年度比(%)						
			6	5	4	3	2	元	30
3,273,758	3,410,027	3,502,122	99.59	97.60	99.74	101.22	96.00	97.37	99.57
2,512,254	2,760,685	2,844,454	98.99	98.33	100.24	109.59	91.00	97.06	99.90
2,422,422	2,656,291	2,679,573	99.85	98.86	99.18	109.23	91.20	99.13	99.14
7,000	7,000	7,000	44.59	277.54	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
759,152	648,240	656,241	97.51	99.62	91.70	73.83	117.11	98.78	98.27
4,559	3,983	3,480	86.87	110.02	97.63	88.84	114.46	114.45	107.08
513,543	529,784	534,025	96.61	97.75	89.18	89.00	96.93	99.21	99.79
3,041,603	3,009,343	3,077,319	99.18	100.86	101.65	97.98	101.07	97.79	99.36
2,965,969	2,941,269	3,003,959	99.35	101.18	101.97	98.55	100.84	97.91	99.57
242,821	233,501	242,778	108.49	89.96	104.40	92.59	103.99	96.18	94.27
1,188,285	1,174,534	1,194,864	96.89	106.54	99.45	101.60	101.17	98.30	96.99
987,742	1,003,292	1,001,673	100.57	99.61	93.83	94.67	98.45	100.16	99.52
71,429	65,094	71,441	88.73	77.98	85.01	77.73	109.73	91.12	91.61
56,788	63,549	70,137	81.75	83.05	85.55	87.72	89.36	90.61	91.56
0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
234,008	402,562	425,295	90.57	70.38	73.37	143.21	58.13	94.65	101.16
2,352	1,102	1,427	24,722.73	0.35	—	0.00	213.43	77.22	76.15
0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
4,205	2,980	1,919	58.94	189.09	91.99	37.69	141.11	155.29	77.38
△ 1,853	△ 1,878	△ 492	—	—	—	—	—	—	—
232,155	400,684	424,803	—	—	—	—	—	—	—
2,210,607	2,458,690	2,058,006	—	—	—	—	—	—	—
372,627	371,585	311,000	447.64	118.92	164.31	9.90	100.28	119.48	86.15
0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
11,000	11,000	11,000	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
1,014,129	978,035	895,502	49.43	191.54	114.70	85.46	103.69	109.22	104.05
761,103	731,771	654,022	75.65	130.39	119.82	79.71	104.01	111.89	105.17
30,615	29,920	30,089	143.47	91.95	107.56	110.56	102.32	99.44	109.93
253,026	246,264	241,480	87.50	95.92	102.77	102.76	102.75	101.98	101.13
△ 641,502	△ 606,450	△ 584,502	—	—	—	—	—	—	—
0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
107.6	113.3	113.8	—	—	—	—	—	—	—
22,559	21,983	21,480	67.40	158.41	99.56	97.74	102.62	102.34	101.08
2,245,661	2,498,686	2,744,951	101.76	85.09	86.54	88.42	89.87	91.03	91.91
0	0	0	—	—	—	—	—	—	—

(2)損益計算書

科目 \ 年度	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
事業収益	3,212,582	100.0	3,225,712	100.0	3,305,079	100.0	3,313,565	100.0
営業収益	2,686,150	83.6	2,713,607	84.1	2,759,663	83.5	2,753,072	83.1
給水収益	2,590,442	80.6	2,594,382	80.4	2,624,356	79.4	2,646,079	79.9
受託工事収益	1,307	0.0	19,941	0.6	25,815	0.8	19,741	0.6
その他営業利益	94,401	3.0	99,284	3.1	109,492	3.3	87,252	2.6
営業外収益	499,237	15.5	511,995	15.9	513,946	15.6	560,493	16.9
受取利息及び配当金	6,230	0.2	128	0.0	0	—	0	—
加入金	86,990	2.7	88,300	2.7	84,160	2.5	82,390	2.5
雑収益	17,292	0.5	20,780	0.7	18,221	0.6	16,990	0.5
他会計補助金	3,779	0.1	4,350	0.1	3,954	0.1	4,050	0.1
長期前受金戻入	384,946	12.0	398,437	12.4	407,611	12.3	457,063	13.8
特別利益	27,195	0.9	110	0.0	31,470	1.0	0	—
過年度損益修正益	199	0.0	25	0.0	11	0.0	0	—
固定資産売却益	26,518	0.9	0	—	31,165	0.9	0	—
その他特別利益	478	0.0	85	0.0	294	0.0	0	—
事業費用	3,030,276	100.0	3,055,301	100.0	3,029,169	100.0	2,980,018	100.0
営業費用	2,995,991	98.8	3,015,736	98.7	2,980,513	98.4	2,922,913	98.0
原水及び浄水費	1,570,173	51.8	1,614,258	52.8	1,591,267	52.5	1,491,817	50.0
配水及び給水費	205,955	6.8	199,363	6.5	174,340	5.8	178,780	6.0
受託工事費	11,596	0.4	26,330	0.9	31,589	1.0	25,627	0.9
業務費	191,891	6.3	161,554	5.3	155,257	5.1	151,160	5.0
総係費	130,856	4.3	123,740	4.1	144,521	4.8	136,283	4.6
減価償却費	879,017	29.0	874,038	28.6	877,457	29.0	935,144	31.4
資産消耗費	6,503	0.2	16,453	0.5	6,082	0.2	4,102	0.1
その他営業費用	0	—	0	—	0	—	0	—
営業外費用	32,660	1.1	36,808	1.2	47,199	1.6	55,520	1.9
支払利息	28,935	1.0	35,393	1.2	42,618	1.4	49,814	1.7
雑支出	3,725	0.1	1,415	0.0	4,581	0.2	5,706	0.2
他会計補助金	0	—	0	—	0	—	0	—
特別損失	1,625	0.1	2,757	0.1	1,457	0.0	1,585	0.1
過年度損益修正損	1,625	0.1	2,757	0.1	1,457	0.0	1,585	0.1
その他特別損失	0	—	0	—	0	—	0	—
当年度純損益	182,306	—	170,411	—	275,909	—	333,547	—

令和2年度		令和元年度		平成30年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	6	5	4	3	2	元	30
3,273,758	100.0	3,410,027	100.0	3,502,122	100.0	99.59	97.60	99.74	101.22	96.00	97.37	99.57
2,512,254	76.7	2,760,685	81.0	2,844,454	81.2	98.99	98.33	100.24	109.59	91.00	97.06	99.90
2,422,422	74.0	2,656,291	77.9	2,679,573	76.5	99.85	98.86	99.18	109.23	91.20	99.13	99.14
6,475	0.2	13,483	0.4	87,796	2.5	6.55	77.25	130.77	304.88	48.02	15.36	127.43
83,357	2.5	90,911	2.7	77,085	2.2	95.08	90.68	125.49	104.67	91.69	117.94	101.71
759,152	23.2	648,240	19.0	656,241	18.8	97.51	99.62	91.70	73.83	117.11	98.78	98.27
1,825	0.1	4,287	0.1	4,691	0.2	4,867.19	—	—	0.00	42.57	91.36	66.54
86,440	2.6	94,970	2.8	97,730	2.8	98.52	104.92	102.15	95.31	91.02	97.18	91.79
15,910	0.5	15,216	0.5	16,315	0.5	83.21	114.04	107.25	106.79	104.56	93.26	102.69
141,434	4.3	3,983	0.1	3,480	0.1	86.87	110.02	97.63	286.40	—	114.45	107.08
513,543	15.7	529,784	15.5	534,025	15.2	96.61	97.75	89.18	89.00	96.63	99.21	99.79
2,352	0.1	1,102	0.0	1,427	0.0	24,722.73	0.35	—	0.00	213.43	77.22	76.15
2,352	0.1	1,102	0.0	53	0.0	796.00	227.27	—	0.00	213.43	—	283.00
0	—	0	—	0	—	—	0.00	—	—	—	—	—
0	—	0	—	1,374	0.0	562.35	28.91	—	—	—	0.00	—
3,041,603	100.0	3,009,343	100.0	3,077,319	100.0	99.18	100.86	101.65	97.98	101.07	97.79	99.36
2,965,969	97.5	2,941,269	97.7	3,003,959	97.6	99.35	101.18	101.97	98.55	100.84	97.91	99.57
1,508,853	49.6	1,482,444	49.3	1,501,504	48.8	97.27	101.44	106.67	98.87	101.78	98.73	98.33
166,373	5.5	134,789	4.5	139,954	4.5	103.31	114.35	97.52	107.46	123.43	96.31	99.78
14,538	0.5	24,751	0.8	83,347	2.7	44.04	83.35	123.26	176.28	58.74	29.70	125.65
149,093	4.9	150,641	5.0	147,156	4.8	118.78	104.06	102.71	101.39	98.97	102.37	99.83
132,252	4.3	133,138	4.4	117,794	3.8	105.75	85.62	106.04	103.05	99.33	113.03	97.24
987,742	32.5	1,003,292	33.3	1,001,673	32.6	100.57	99.61	93.83	94.67	98.45	100.16	99.52
7,118	0.2	12,214	0.4	12,531	0.4	39.52	270.52	148.27	57.63	58.28	97.47	154.11
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
71,429	2.4	65,094	2.2	71,441	2.3	88.73	77.98	85.01	77.73	109.73	91.12	91.61
56,788	1.9	63,549	2.1	70,137	2.3	81.75	83.05	85.55	87.72	89.36	90.61	91.56
14,641	0.5	1,545	0.1	1,304	0.0	263.25	30.89	80.28	38.97	947.64	118.48	94.49
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
4,205	0.1	2,980	0.1	1,919	0.1	58.94	189.22	91.92	37.69	141.11	155.29	77.38
4,205	0.1	2,980	0.1	1,919	0.1	58.94	189.22	91.92	37.69	141.11	155.29	77.38
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
232,155	—	400,684	—	424,803	—	106.98	61.76	82.72	143.67	57.94	94.32	101.19

(3)資本的収支（税抜）

科目	年度	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
資 本 的 収 入		322,634	100.0	72,066	100.0	60,607	100.0	36,886	100.0
1.企業債		250,000	77.5	0	—	0	—	0	—
2.工事負担金		61,481	19.1	60,977	84.6	39,976	66.0	25,886	70.2
3.他会計負担金		11,000	3.4	11,000	15.3	11,000	18.1	11,000	29.8
4.その他負担金		0	—	0	—	0	—	0	—
5.固定資産売却代金		153	0.0	89	0.1	9,631	15.9	0	—
6.国庫補助金		0	—	0	—	0	—	0	—
7.他会計補助金		0	—	0	—	0	—	0	—
8.一般会計貸付金返還金		0	—	0	—	0	—	0	—
9.出資金返還金		0	—	0	—	0	—	0	—
資 本 的 支 出		882,776	100.0	1,824,396	100.0	932,450	100.0	815,657	100.0
1.建設改良費		658,514	74.6	868,089	47.6	665,254	71.3	555,657	68.1
(1)改良工事費		555,069	62.9	680,902	37.3	631,851	67.7	529,845	65.0
(2)拡張事業費		0	—	0	—	0	—	0	—
(3)中央丘陵水道施設 建設事業費		0	—	0	—	0	—	0	—
(4)営業設備費		103,445	11.7	187,187	10.3	33,403	3.6	25,812	3.1
2.企業債償還金		224,262	25.4	256,307	14.0	267,196	28.7	260,000	31.9
3.補助金返還金		0	—	0	—	0	—	0	—
4.出資金		0	—	0	—	0	—	0	—
5.長期貸付金		0	—	0	—	0	—	0	—
6.その他		0	—	700,000	38.4	0	—	0	—
差 引 不 足 額		560,142	—	1,752,330	—	871,843	—	778,771	—

令和2年度		令和元年度		平成30年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金 額 (千 円)	構成比(%)	6	5	4	3	2	元	30
372,627	100.0	371,585	100.0	311,000	100.0	447.69	118.91	164.30	98.99	100.28	119.48	86.15
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
61,627	16.5	60,585	16.3	0	—	100.83	152.53	154.43	42.00	101.72	—	—
11,000	3.0	11,000	3.0	11,000	3.5	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	171.91	0.92	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
300,000	80.5	300,000	80.7	300,000	96.5	—	—	—	0.00	100.00	100.00	100.00
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0.00
949,143	100.0	919,280	100.0	850,945	100.0	48.39	195.66	114.32	85.94	103.25	108.03	104.01
696,117	73.3	673,016	73.2	609,465	71.6	75.85	130.49	119.72	79.82	103.43	110.43	105.20
573,022	60.3	609,310	66.3	567,859	66.7	81.52	107.76	119.25	92.47	94.04	107.30	117.41
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
123,095	13.0	63,706	6.9	41,606	4.9	55.26	560.39	129.41	20.97	193.22	153.12	43.49
253,026	26.7	246,264	26.8	241,480	28.4	87.50	95.92	102.77	102.76	102.75	101.98	101.13
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	0.00	—	—	—	—	—	—
576,516	—	547,695	—	539,945	—	31.97	200.99	111.95	135.08	105.26	101.44	118.12

(4) 貸借対照表

①借方

科目 \ 年度	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
資 産	24,748,608	100.0	24,543,651	100.0	24,965,564	100.0	25,145,665	100.0
固 定 資 産	22,826,313	92.2	23,001,387	93.7	22,254,609	89.1	22,313,846	88.7
有 形 固 定 資 産	22,126,313	89.4	22,301,387	90.9	22,254,609	89.1	22,313,846	88.7
土地	1,142,164	4.6	1,142,317	4.7	1,142,317	4.6	1,151,948	4.6
建物	1,222,598	4.9	1,260,563	5.1	1,116,700	4.5	1,150,879	4.6
構築物	17,971,110	72.6	18,062,953	73.6	18,227,588	73.0	18,138,290	72.1
機械及び装置	1,501,881	6.1	1,560,542	6.4	1,495,190	6.0	1,597,225	6.3
量水器	97,022	0.4	91,892	0.4	92,006	0.4	94,537	0.4
車両及び運搬具	4,726	0.0	1,272	0.0	1,361	0.0	1,361	0.0
工具器具及び備品	142,290	0.6	157,731	0.6	156,063	0.6	160,876	0.6
建設仮勘定	44,522	0.2	24,117	0.1	23,384	0.1	18,730	0.1
投 資	700,000	2.8	700,000	2.8	0	—	0	—
出 資 金	0	—	0	—	0	—	0	—
長期貸付金	0	—	0	—	0	—	0	—
流 動 資 産	1,922,295	7.8	1,542,264	6.3	2,710,955	10.9	2,831,819	11.3
現金預金	1,514,845	6.1	1,063,258	4.3	2,241,212	9.0	2,345,968	9.3
未収金	362,494	1.5	407,338	1.7	420,574	1.7	384,965	1.5
保管有価証券	0	—	0	—	0	—	0	—
貯蔵品	44,651	0.2	46,453	0.2	44,598	0.2	36,807	0.2
その他流動資産	305	0.0	25,215	0.1	4,571	0.0	64,079	0.3
仮 払 金	0	—	0	—	0	—	0	—

令和2年度		令和元年度		平成30年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	6	5	4	3	2	元	30
25,576,459	100.0	25,924,830	100.0	26,249,771	100.0	100.84	98.31	99.28	98.32	98.66	98.76	99.26
22,693,543	88.7	23,202,464	89.5	23,798,627	90.7	99.24	103.36	99.73	98.33	97.81	97.49	97.27
22,693,543	88.7	22,902,464	88.3	23,198,627	88.4	99.21	100.21	99.73	98.33	99.09	98.72	98.44
1,151,948	4.5	1,151,948	4.4	1,151,948	4.4	99.99	100.00	99.16	100.00	100.00	96.76	100.00
1,188,545	4.6	1,213,279	4.7	1,253,851	4.8	96.99	112.88	97.03	96.83	97.96	96.76	96.85
18,225,825	71.2	18,379,692	70.9	18,442,738	70.2	99.49	99.10	100.49	99.52	99.16	99.66	99.27
1,779,139	7.0	1,859,723	7.2	2,087,055	8.0	96.24	104.37	93.61	89.73	95.67	89.11	92.02
99,699	0.4	101,838	0.4	101,305	0.4	105.58	99.88	97.32	94.82	97.90	100.53	102.43
1,502	0.0	2,190	0.0	3,459	0.0	371.54	93.46	100.00	90.61	68.58	63.31	66.52
169,626	0.7	172,458	0.6	144,786	0.5	90.21	101.07	97.01	94.84	98.36	119.11	97.89
77,259	0.3	21,336	0.1	13,485	0.1	184.61	103.13	124.85	24.24	362.11	158.22	62.29
0	—	300,000	1.2	600,000	2.3	100.00	—	—	—	0.00	50.00	66.67
0	—	0	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—
0	—	300,000	1.2	600,000	2.3	—	—	—	—	0.00	50.00	66.67
2,882,916	11.3	2,722,366	10.5	2,451,144	9.3	124.64	56.89	95.73	98.23	105.90	111.07	123.83
2,433,939	9.5	2,289,975	8.8	2,040,812	7.8	142.47	47.44	95.53	86.39	106.29	112.21	131.76
388,280	1.5	396,074	1.5	376,638	1.4	88.99	96.85	109.25	99.15	98.03	105.16	97.25
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
36,267	0.2	36,018	0.2	33,668	0.1	96.12	104.16	121.17	101.49	100.69	106.98	97.08
24,430	0.1	299	0.0	26	0.0	1.21	551.63	7.13	262.30	817.05	1150.00	0.300
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—

②貸方

科目 \ 年度	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
負債・資本	24,748,608	100.0	24,543,651	100.0	24,965,563	100.0	25,145,665	100.0
負債	11,480,410	46.4	11,457,759	46.7	12,050,082	48.3	12,506,092	49.7
固定負債	1,465,058	5.9	1,432,514	5.8	1,685,448	6.8	1,933,397	7.7
建設改良等の財源に 充てるための企業債	1,291,587	5.2	1,237,896	5.0	1,462,158	5.9	1,718,465	6.8
退職給付引当金	173,471	0.7	194,618	0.8	223,290	0.9	214,932	0.9
流動負債	831,069	3.4	588,568	2.4	668,286	2.7	692,062	2.7
建設改良の財源に 充てるための企業債	196,309	0.8	224,263	0.9	256,307	1.0	267,196	1.0
未払金	407,514	1.7	296,826	1.2	345,318	1.4	348,781	1.4
前受金	30,334	0.1	36,247	0.2	32,131	0.1	42,450	0.2
預り金	173,959	0.7	10,766	0.0	13,375	0.1	11,809	0.0
引当金	22,953	0.1	20,466	0.1	21,155	0.1	21,826	0.1
預り担保有価証券	0	—	0	—	0	—	0	—
繰延収益	9,184,283	37.1	9,436,677	38.5	9,696,348	38.8	9,880,633	39.3
資本	13,268,198	53.6	13,085,892	53.3	12,915,481	51.7	12,639,573	50.3
資本金	11,444,277	46.2	10,879,666	44.3	10,484,359	42.0	10,191,565	40.5
自己資本金	11,444,277	46.2	10,879,666	44.3	10,484,359	42.0	10,191,565	40.5
借入資本金	0	—	0	—	0	—	0	—
剰余金	1,823,921	7.4	2,206,226	9.0	2,431,122	9.7	2,448,008	9.8
資本剰余金	0	—	0	—	0	—	0	—
利益剰余金	1,823,921	7.4	2,206,226	9.0	2,431,122	9.7	2,448,008	9.8
減債積立金	226,497	0.9	46,497	0.2	2,804	0.0	0	—
建設改良積立金	891,135	3.6	940,917	3.8	1,249,221	5.0	1,332,060	5.3
当年度末処分利益剰余金	706,289	2.9	1,218,812	5.0	1,179,097	4.7	1,115,948	4.5

令和2年度		令和元年度		平成30年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	6	5	4	3	2	元	30
25,576,459	100.0	25,924,830	100.0	26,249,772	100.0	100.84	98.31	99.28	98.32	98.66	98.76	99.26
13,270,433	51.9	13,850,960	53.4	14,576,586	55.5	100.20	95.08	96.35	94.24	95.81	95.02	95.91
2,217,369	8.7	2,463,048	9.5	2,724,488	10.4	102.27	84.99	87.18	87.19	90.03	90.40	91.90
1,985,661	7.8	2,245,661	8.7	2,498,687	9.5	104.34	84.66	85.09	86.54	88.42	89.87	91.03
231,708	0.9	217,387	0.8	225,801	0.9	89.13	87.16	103.89	92.76	106.59	96.27	102.75
760,479	3.0	743,535	2.9	799,800	3.0	141.20	88.07	96.56	91.00	102.28	92.97	114.15
260,000	1.0	253,026	1.0	246,264	0.9	87.54	87.50	95.92	102.77	102.76	102.75	101.98
427,048	1.7	417,292	1.6	481,530	1.8	137.29	85.96	99.01	81.67	102.34	86.66	126.42
39,302	0.2	38,596	0.1	36,750	0.1	83.69	112.81	75.69	108.01	101.83	105.02	78.95
12,311	0.0	13,112	0.1	13,469	0.1	1,615.82	80.49	113.26	95.92	93.89	97.35	120.03
21,818	0.1	21,509	0.1	21,787	0.1	112.15	96.74	96.93	100.04	101.44	98.72	106.27
0	—	0	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—
10,292,585	40.2	10,644,377	41.0	11,052,298	42.1	97.33	97.32	98.13	96.00	96.70	96.31	95.84
12,306,026	48.1	12,073,870	46.6	11,673,186	44.5	101.39	101.32	102.18	102.71	101.92	103.43	103.78
10,095,419	39.5	9,615,180	37.1	9,615,180	36.6	105.19	103.77	102.87	100.95	104.99	100.00	100.00
10,095,419	39.5	9,615,180	37.1	9,615,180	36.6	105.19	103.77	102.87	100.95	104.99	100.00	100.00
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
2,210,607	8.6	2,458,690	9.5	2,058,006	7.9	82.67	90.75	99.31	110.74	89.91	119.47	126.01
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
2,210,607	8.6	2,458,690	9.5	2,058,006	7.9	82.67	90.75	99.31	110.74	89.91	119.47	126.01
156,854	0.6	0	—	15,000	0.1	487.12	1,658.24	—	0.00	—	0.00	100.00
1,300,000	5.1	0	—	0	—	94.71	75.32	93.78	102.47	—	—	—
753,753	2.9	2,458,690	9.5	2,043,006	7.8	57.95	103.37	105.66	148.05	30.66	120.35	126.25

(5) 費用構成表

年 度		令和6年度			令和5年度		
有 収 水 量 (m^3)		17,931,291			17,973,596		
項 目		金額 (千円)	割合 (%)	原価 (円)	金額 (千円)	割合 (%)	原価 (円)
職員給与費	1. 給 料	101,266	3.8	5.65	96,047	3.7	5.34
	2. 手 当	76,748	2.9	4.28	68,759	2.6	3.82
	3. 報 酬	7,778	0.3	0.43	6,843	0.3	0.38
	4.法定福利費	37,465	1.4	2.09	33,900	1.3	1.89
	5.退職給与金	7,668	0.3	0.43	27,281	1.0	1.52
	計	230,925	8.8	12.88	232,830	8.9	12.95
6.受水費		1,239,383	47.1	69.12	1,279,169	48.7	71.17
7.動力費		81,836	3.1	4.56	71,500	2.7	3.98
8.薬品費		9,197	0.3	0.51	7,713	0.3	0.43
9.修繕費		32,023	1.2	1.79	51,166	1.9	2.85
10.材料費		1,632	0.1	0.09	769	0.0	0.04
11.委託料		344,224	13.1	19.20	289,239	11.0	16.09
12.請負工事費		99,786	3.8	5.57	107,703	4.1	5.99
13.減価償却費		879,017	33.4	49.02	874,038	33.3	48.63
14.支払利息		28,935	1.1	1.61	35,393	1.3	1.97
15.その他		70,097	2.7	3.91	76,694	2.9	4.27
16.長期前受金戻入		△ 384,946	△ 14.6	△ 21.47	△ 398,437	△ 15.2	△ 22.17
給 水 原 価 計		2,632,109	100.0	146.79	2,627,777	100.0	146.20
総 費 用 合 計		3,017,055			3,026,214		
供 給 単 価		2,590,442		144.46	2,594,382		144.34

令和4年度			令和3年度			令和2年度		
18,133,348			18,353,204			18,485,614		
金額（千円）	割合（%）	原価（円）	金額（千円）	割合（%）	原価（円）	金額（千円）	割合（%）	原価（円）
107,293	4.1	5.92	105,700	4.2	5.76	114,554	4.5	6.20
71,118	2.7	3.92	77,514	3.1	4.22	77,365	3.1	4.19
4,025	0.2	0.22	4,272	0.2	0.23	0	—	—
36,718	1.4	2.02	37,935	1.5	2.07	40,064	1.6	2.17
38,078	1.5	2.10	22,741	0.9	1.24	14,830	0.6	0.80
257,232	9.9	14.18	248,162	9.9	13.52	246,813	9.8	13.36
1,200,604	46.4	66.21	1,207,242	48.4	65.78	1,188,285	47.4	64.28
87,903	3.4	4.85	69,374	2.8	3.78	64,326	2.6	3.48
10,117	0.4	0.56	10,040	0.4	0.55	8,728	0.3	0.47
17,909	0.7	0.99	18,223	0.7	0.99	16,663	0.7	0.90
2,680	0.1	0.15	1,612	0.1	0.09	1,718	0.1	0.09
322,780	12.5	17.80	257,325	10.3	14.02	291,847	11.6	15.79
97,621	3.8	5.38	89,301	3.6	4.87	80,854	3.2	4.37
877,457	33.9	48.39	935,144	37.5	50.95	987,742	39.4	53.43
42,618	1.6	2.35	49,814	2.0	2.71	56,788	2.3	3.07
79,202	3.1	4.37	66,569	2.6	3.62	79,096	3.1	4.28
△ 407,611	△ 15.7	△ 22.48	△ 457,063	△ 18.3	△ 24.90	△ 513,543	△ 20.5	△ 27.78
2,588,512	100.0	142.75	2,495,743	100.0	135.98	2,509,317	100.0	135.74
3,029,170			2,980,018			3,041,603		
2,624,356		144.73	2,646,079		144.18	2,422,422		131.40

令和元年度			平成30年度		
18,205,290			18,296,994		
金額（千円）	割合（％）	原価（円）	金額（千円）	割合（％）	原価（円）
112,979	4.6	6.21	117,704	4.8	6.43
71,859	2.9	3.95	74,486	3.0	4.07
0	—	—	0	—	—
39,404	1.6	2.16	40,944	1.7	2.24
26,677	1.1	1.46	9,644	0.4	0.53
250,919	10.2	13.78	242,778	9.9	13.27
1,174,534	47.9	64.52	1,194,864	48.6	65.30
68,013	2.8	3.74	73,056	2.9	3.99
8,998	0.4	0.49	8,544	0.3	0.47
13,276	0.5	0.73	18,785	0.8	1.03
1,148	0.0	0.06	963	0.0	0.05
270,014	11.0	14.83	256,581	10.4	14.02
55,080	2.2	3.03	53,148	2.2	2.91
1,003,292	40.9	55.11	1,001,673	40.8	54.75
63,549	2.6	3.49	70,137	2.9	3.83
72,789	3.1	4.00	71,524	2.9	3.91
△ 529,784	△ 21.6	△ 29.10	△ 534,025	△ 21.7	△ 29.19
2,451,828	100.0	134.68	2,458,028	100	134.34
3,009,343			3,077,319		
2,656,291		145.91	2,679,573		146.45

(6) 経営分析表

(単位：％)

項目	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度
固定資産構成比率	92.2	93.7	89.1	88.7	88.7	89.5	90.7
固定負債構成比率	5.9	5.8	6.8	7.7	8.7	9.5	10.4
自己資本構成比率	90.7	91.8	90.6	89.6	88.4	87.6	86.6
固定比率	101.7	102.1	98.4	99.1	100.4	102.1	104.7
固定資産対長期資本比率	95.4	96.0	91.6	91.2	91.4	92.1	93.5
流動比率	231.3	262.0	405.7	409.2	379.1	366.1	306.5
流動資産回転率（回）	1.5	1.3	1.0	1.0	0.9	1.1	1.2
経常収益対経常費用比率	105.2	105.7	108.1	111.3	107.7	113.4	113.8
営業収益対営業費用比率	90.0	90.0	92.6	94.3	84.9	94.2	94.4
職員給与対料金収入比率	8.9	9.9	9.8	9.4	10.2	9.4	9.1

算式	説明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	純資産（固定資産・流動資産）における固定資産の割合を示す。100に近いほど資本は、固定化の傾向にある。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{固定負債＋借入資本金}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	総資本（負債、資本合計）における固定負債の割合を示す。
$\frac{\text{自己資本金＋剰余金＋繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	固定負債構成比率が小であり、自己資本構成比率が大であるほど経営の安全性は大きいと言える。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金＋剰余金＋繰延収益}} \times 100$	固定資産は、自己資本と固定負債から調達されるべきである。100以下を理想とし、超えれば固定資産に過大投資と言える。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金＋剰余金＋固定負債＋繰延収益}} \times 100$	固定資産は、自己資本と固定負債から調達されるべきである。100以下を理想とし、超えれば固定資産に過大投資と言える。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期債務に対応すべき流動資産が十分にあるかを示す指数は200以上が理想である。
$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}＋\text{期末流動資産}) \times 1/2}$	流動資産に対する営業収益の割合で、指数は高いほど良い。
$\frac{\text{経常収益（営業収益＋営業外収益）}}{\text{経常費用（営業費用＋営業外費用）}} \times 100$	経常費用に対する経常収益の割合で、指数は高いほど良い。
$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{営業費用－受託工事費用}} \times 100$	営業費用に対する営業収益の割合で、指数は高いほど良い。
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$	料金収入に対する職員給与費の割合で、指数は低いほど良い。

(7) 業務分析表

項目	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度
普及率 (%)	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
1 日平均配水量 (m ³)	52,815	52,787	52,756	53,404	54,540	53,257	53,841
1 人 1 日最大配水量 (ℓ)	320	325	318	316	319	312	320
1 人 1 日平均配水量 (ℓ)	294	293	292	294	299	291	293
有収率 (%)	93.0	93.0	94.2	94.2	92.9	93.4	93.1
負荷率 (%)	92.1	90.2	92.1	93.0	93.9	93.3	91.7
施設利用率 (%)	68.2	68.2	68.2	69.0	70.5	68.8	69.6
最大稼働率 (%)	74.1	75.6	74.0	74.2	75.1	73.7	75.9
配水管使用効率 (m ³ /m)	32.8	32.9	32.9	33.5	34.3	33.8	34.3
固定資産使用効率 (m ³ /万円)	8.4	8.4	8.7	8.7	8.8	8.5	8.5
職員 1 人当り給水人口 (人)	5,605	5,995	5,640	5,671	5,525	6,781	6,331
職員 1 人当り給水量 (m ³)	560,353	599,120	566,667	573,538	560,170	674,270	630,931
職員 1 人当り営業収益 (千円)	83,942	90,454	86,239	86,034	76,129	102,248	98,085
累積欠損金比率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
給水原価 (円・銭)	146.79	146.20	142.75	135.98	135.74	134.68	134.34
供給単価 (円・銭)	144.46	144.34	144.73	144.18	131.04	145.91	146.45

算式	説明
$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{給水区域内人口}} \times 100$	
$\frac{\text{年間総配水量}}{365\text{日}}$	
$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{現在給水人口}} \times 1,000$	
$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{現在給水人口}} \times 1,000$	
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	労働生産性を示す指標。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	最大配水量に対する平均配水量の割合で、需要時と非需要時の差を示す。指数は100に近づくのが理想である。
$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	配水能力に対する平均配水量の割合で、水道施設が効率的に運営されているか判断する指数。指数が高ければ効率的に運営されていることになる。
$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	配水能力に対する平均配水量の割合で、将来の水需要に対応すべき先行投資の適正を示す指標。指数が高ければ効率的に運営されていることになる。
$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導・送・配水管延長}}$	導・送・配水管延長に対する総配水量の割合で、指数が高いほど良い。
$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	有形固定資産に対する総配水量の割合で、投下資産にどれだけ効率的に配水されたかを示す指標。指数が高いほど良い。
$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	労働生産性を示す指数。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	労働生産性を示す指数。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益－受託工事収益}} \times 100$	
$\frac{\text{経常費用－長期前受金戻入－受託工事費等}}{\text{年間総有収水量}}$	1㎡当たりの生産原価。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	1㎡当たりの販売価格。

4. 業 務

- (1) 取水状況
- (2) 配水量
- (3) 水量分析
- (4) 修理
- (5) 漏水防止
- (6) 年度別メーター取替状況
- (7) 加入金
- (8) 手数料

4.業務

(1)取水状況

①年度別取水量及び受水費

区分 年度	取水量（m³）						
	自己水			受水			合計
	表流水	光明池分水	計	浄水		計	
	父鬼	和田		大阪広域水道 企業団水	旧泉北水道 企業団水		
30	167,817	3,222,751	3,390,568	14,619,562	1,641,860	16,261,422	19,651,990
元	133,909	3,376,650	3,510,559	14,171,998	1,809,450	15,981,448	19,492,007
2	133,378	2,903,660	3,037,038	15,400,737	1,469,170	16,869,907	19,906,945
3	134,545	3,272,627	3,407,172	16,085,449	—※1	16,085,449	19,492,621
4	158,481	3,059,815	3,218,296	16,037,601	—	16,037,601	19,255,897
5	147,604	1,776,048	1,923,652	17,396,218	—	17,396,218	19,319,870
6	141,632	2,427,920	2,569,552	16,707,830	—	16,707,830	19,277,382

※1.令和3年3月 泉北水道企業団解散

(税込み)

受水費（円）			
原水	浄水		合計
光明池分水	大阪広域水道 企 業 団 水	旧 泉 北 水 道 企 業 団 水	
52,208,562	1,136,817,137	101,427,539	1,290,453,238
55,201,517	1,112,234,099	112,816,812	1,280,252,428
47,910,386	1,166,762,497	92,440,172	1,307,113,055
53,998,343	1,273,967,554	—※1	1,327,965,897
50,486,945	1,270,177,995	—	1,320,664,940
29,304,789	1,377,780,463	—	1,407,085,252
40,060,677	1,323,260,136	—	1,363,320,813

(2) 配水量

①年度別状況

年度	受水					
	大阪広域水道 企業団水	伸率	旧泉北水道 企業団水	伸率	受 水 計	伸率
	m ³	%	m ³	%	m ³	%
30	14,619,562	1.4	1,641,860	△ 6.4	16,261,422	0.6
元	14,171,998	△ 3.1	1,809,450	10.2	15,981,448	△ 1.7
2	15,400,737	8.7	1,469,170	△ 18.8	16,869,907	5.6
3	16,085,449	4.4	0	-	16,085,449	△ 4.7
4	16,037,601	△ 0.3	0	-	16,037,601	△ 0.3
5	17,396,218	8.5	0	-	17,396,218	8.5
6	16,707,830	△ 4.0	0	-	16,707,830	△ 4.0

自己水		配水量		有収水量	
自 己 水	伸率	合計	伸率	合計	伸率
m ³	%	m ³	%	m ³	%
3,390,568	△ 4.3	19,651,990	△ 0.3	18,296,994	△ 0.7
3,510,559	3.5	19,492,007	△ 0.8	18,205,290	△ 0.5
3,037,038	△ 13.5	19,906,945	2.1	18,485,614	1.5
3,407,172	12.2	19,492,621	△ 2.1	18,353,204	△ 0.7
3,218,296	△ 5.5	19,255,897	△ 1.2	18,133,348	△ 1.2
1,923,652	△ 40.2	19,319,870	0.3	17,973,596	△ 0.9
2,569,552	33.6	19,277,382	△ 0.2	17,931,291	△ 0.2

②年度別1日最大配水量

区分 年度	1日最大配水量		受水			
			大阪広域水道 企業団水(m)	構成比(%)	旧泉北水道企業団水 (m)	構成比(%)
30	58,738	12月30日	44,707	76.1	3,320	5.7
元	57,062	12月31日	41,919	73.5	4,600	8.0
2	58,113	12月31日	45,587	78.4	3,310	5.7
3	57,400	6月11日	48,880	85.2	—	0
4	57,310	6月29日	47,152	82.3	—	0
5	58,529	12月30日	52,030	88.9	—	0
6	57,341	12月30日	50,388	87.9	—	0

③年度別1日平均配水量

区分 年度	1日平均配水量 (m)	対前年度比	受水			
			大阪広域水道 企業団水(m)	構成比(%)	旧泉北水道企業団水 (m)	構成比(%)
30	53,841	1.00	40,054	74.4	4,498	8.4
元	53,257	0.99	38,721	72.7	4,944	9.3
2	54,540	1.02	42,194	77.4	4,025	7.3
3	53,404	0.98	44,070	82.5	0	0
4	52,756	0.99	43,939	83.3	0	0
5	52,787	1.01	47,531	90.0	0	0
6	52,815	1.01	45,775	86.7	0	0

④市外給水・市外受水

		令和6年		令和5年	
		戸数	水量(m)	戸数	水量(m)
市外給水	泉大津市	172	59,631	168	62,689
	高石市	91	26,602	88	28,682
	堺市	14	836	10	987
	岸和田市	26	5,570	25	5,405
	忠岡町	4	866	4	832
市外受水	泉大津市	738	135,790	727	140,274
	高石市	185	45,381	187	44,863
	堺市	734	410,238	730	415,844
	岸和田市	5	4,092	5	3,300

※「市外受水」の「堺市」について、令和2年度から戸数→市設置メーター数に変更

		自己水		1人1日	
受水計 (㎡)	構成比 (%)	自己水計 (㎡)	構成比 (%)	最大配水量 (ℓ)	対前年度比(%)
48,027	81.8	10,711	18.2	320	100.63
46,519	81.5	10,543	18.5	312	97.50
48,897	84.1	9,216	15.9	319	102.24
48,880	85.2	8,520	14.8	316	99.06
47,152	82.3	10,158	17.7	318	100.63
52,030	88.9	6,499	11.1	325	102.20
50,388	87.9	6,953	12.1	320	98.46

		自己水		1人1日	
受水計 (㎡)	構成比 (%)	自己水計 (㎡)	構成比 (%)	平均配水量 (ℓ)	対前年度比(%)
44,552	82.8	9,289	17.3	293	99.66
43,665	82.0	9,592	18.0	291	99.32
46,219	84.7	8,321	15.3	299	102.75
44,070	82.5	9,334	17.5	294	98.33
43,939	83.3	8,817	16.7	292	99.32
47,531	90.0	5,256	10.0	293	100.34
45,775	86.7	7,040	15.4	294	100.34

令和4年		令和3年		令和2年	
戸数	水量 (㎡)	戸数	水量 (㎡)	戸数	水量 (㎡)
172	63,016	171	62,931	173	63,559
90	27,474	92	27,478	91	28,062
14	1,221	14	1,485	16	1,386
26	5,473	28	5,867	27	5,110
4	833	4	827	4	751
722	149,503	720	151,428	725	156,174
188	44,672	186	45,566	187	45,916
727	390,853	722	379,648	714	371,091
5	4,048	5	4,161	5	3,276

(3)水量分析

①配水量内訳

年度 区分			6		5		4		3		2	
			水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)
有効 水量	有収水量		17,931,291	93.0	17,973,596	93.0	18,133,348	94.2	18,353,204	94.2	18,485,614	92.9
	無収 水量	管洗管排水量	76,273	0.4	77,406	0.4	85,705	0.4	89,293	0.5	101,619	0.5
		部事業用水	29,338	0.2	29,025	0.2	29,019	0.2	29,160	0.1	28,589	0.1
		メーター不感水量	358,604	1.9	359,450	1.9	362,648	1.9	367,040	1.9	369,689	1.9
		消火用水	1,069	0.0	739	0.0	343	0.0	433	0.0	1,157	0.0
		その他	5,684	0.0	5,025	0.0	5,977	0.0	6,013	0.0	5,720	0.0
		小計	470,968	2.5	471,645	2.5	483,692	2.5	491,939	2.5	506,774	2.5
	計		18,402,259	95.5	18,445,241	95.5	18,617,040	96.7	18,845,143	96.7	18,992,388	95.4
無効 水量	調定減額水量		34,219	0.2	19,717	0.1	22,176	0.1	19,378	0.1	24,126	0.1
	その他(不明水)		840,904	4.3	854,912	4.4	616,681	3.2	628,100	3.2	890,431	4.5
	計		875,123	4.5	874,629	4.5	638,857	3.3	647,478	3.3	914,557	4.6
総配水量			19,277,382	100.0	19,319,870	100.0	19,255,897	100.0	19,492,621	100.0	19,906,945	100.0

②有収水量内訳(用途別)

区分 \ 年度		6		5		4		3		2	
		水量(m ³)	構成比(%)	水量(m ³)	構成比(%)	水量(m ³)	構成比(%)	水量(m ³)	構成比(%)	水量(m ³)	構成比(%)
一般用		12,916,659	72.0	12,949,310	72.0	13,032,330	71.9	13,228,516	72.1	13,349,816	72.2
口径別		2,048,920	11.4	2,017,070	11.2	2,039,224	11.2	1,972,531	10.7	1,930,892	10.4
湯屋用		28,378	0.2	28,662	0.2	29,646	0.2	30,071	0.2	30,163	0.2
福祉施設用		172,730	1.0	189,505	1.1	185,851	1.0	189,918	1.0	189,307	1.0
連用		2,743,103	15.3	2,766,828	15.4	2,813,815	15.5	2,908,187	15.9	2,966,439	16.1
臨時用		21,501	0.1	22,221	0.1	32,482	0.2	23,981	0.1	18,997	0.1
九鬼簡易水道		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		17,931,291	100.0	17,973,596	100.0	18,133,348	100.0	18,353,204	100.0	18,485,614	100.0

元		30		对前年度比 (%)						
水量(m³)	構成比(%)	水量(m³)	構成比(%)	6	5	4	3	2	元	30
18,205,290	93.4	18,296,994	93.1	99.76	99.12	98.80	99.28	101.54	99.50	99.33
130,041	0.7	135,044	0.7	98.54	90.32	95.98	87.87	78.14	96.30	106.91
28,106	0.1	27,626	0.1	101.08	100.02	99.52	102.00	101.72	101.74	518.60
364,047	1.9	365,780	1.9	99.76	99.12	98.80	99.28	101.54	99.53	99.30
404	0.0	297	0.0	144.65	215.45	79.21	37.42	286.39	136.03	81.15
5,569	0.0	5,814	0.0	113.11	84.07	99.40	105.12	102.71	95.79	100.48
528,167	2.7	534,561	2.7	99.86	97.51	98.32	97.0700	95.95	98.80	105.61
18,733,457	96.1	18,831,555	95.8	99.77	99.08	98.72	99.22	101.38	99.48	99.50
13,058	0.1	34,887	0.2	173.55	88.91	114.44	80.32	184.76	37.43	200.55
745,492	3.8	785,548	4.0	98.36	138.63	98.18	70.54	119.44	94.90	102.44
758,550	3.9	820,435	4.2	100.06	136.91	98.67	70.80	120.57	92.46	104.62
19,492,007	100.0	19,651,990	100.0	99.78	100.33	98.79	97.92	102.13	99.19	99.71

元		30		对前年度比 (%)						
水量(m³)	構成比(%)	水量(m³)	構成比(%)	6	5	4	3	2	元	30
12,935,888	71.0	12,918,651	70.6	99.75	99.36	98.52	99.09	103.20	100.13	99.64
2,126,673	11.7	2,186,860	11.9	101.58	98.91	103.38	102.16	90.79	97.25	101.05
31,164	0.2	32,571	0.2	99.01	96.68	98.59	99.69	96.79	95.68	113.32
185,029	1.0	185,421	1.0	91.15	101.97	97.86	100.32	102.31	99.79	101.33
2,896,099	15.9	2,943,433	16.1	99.14	98.33	96.75	98.04	102.43	98.39	97.88
30,437	0.2	30,058	0.2	96.76	68.41	135.45	126.24	62.41	101.26	61.90
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18,205,290	100.0	18,296,994	100.0	99.76	99.12	98.80	99.28	101.54	99.50	99.33

(4)修理

①年度別修理件数

年度 \ 区分		配水管	給水管等	合計
2	道路上	13	39	52
	宅地内	—	239	239
3	道路上	26	36	62
	宅地内	—	229	229
4	道路上	17	34	51
	宅地内	—	231	231
5	道路上	13	23	36
	宅地内	—	275	275
6	道路上	7	42	49
	宅地内	—	401	401

(5)漏水防止

①漏水調査による漏水発見件数

年度 \ 区分	配水管	給水管等	漏水発見件数
2	1	18	19
3	0	26	26
4	0	37	37
5	0	49	49
6	0	92	92

(6)年度別メーター取替状況

□径 年度	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	合計
26	2,249	5,428	186	81	21	18	6	1	7,990
27	1,789	4,511	110	70	19	11	1	2	6,513
28	2,721	5,985	169	81	19	1	1	0	8,977
29	2,489	4,961	142	98	22	12	2	2	7,728
30	2,430	5,818	198	66	23	11	8	3	8,557
元	1,582	6,501	183	42	9	9	5	2	8,333
2	2,863	5,222	152	53	16	3	4	0	8,313
3	2,000	4,976	164	41	14	12	3	0	7,210
4	1,898	4,442	168	53	10	7	11	1	6,590
5	2,918	6,790	304	162	38	12	1	1	10,226
6	3,026	9,616	206	106	42	14	2	5	13,017

(7)加入金

年度別状況（ ）内は口径変更分

種別 年度	新規加入									
	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	13mm	20mm
30	1	(2) 714	(6) 11	(6) 3	1					
元		(6) 647	(12) 18	(4) 2	1	(1) 1				
2		(4) 649	(6) 9	(2) 6	2					
3		(8) 597	(6) 12	(3) 3	(3) 2					
4	1	(5) 620	(8) 9	(4) 5	(1) 2					
5		(4) 629	(6) 7	(3) 4	(6) 2					
6		(4) 618	(17) 7	(4) 3	(5) 4					

口径別加入金表

口径	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm
金額	5万円	12万円	21万円	58万円	101万円	239万円	369万円	1,490万円	3,121万円	6,189万円

※平成9年4月から上記金額に3%加算
※平成10年4月から上記金額に5%加算
※平成26年4月から上記金額に8%加算
※令和元年10月から上記金額に10%加算

(単位：万円)

取消						合計件数	調定額
25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm		
						748	10,554
						697	10,329
						678	9,508
						634	9,063
						655	9,257
						661	9,726
						662	9,757

(8)手数料

①年度別調定状況（ ）内は指定更新分

年度 \ 項目		設計審査手数料	工事検査手数料	道路占用及び掘削 申請手数料	指定等手数料 (指定更新含む)	合計
30	件数（件）	1,440	1,439	24	9	2,912
	金額（円）	1,918,000	3,334,000	360,000	90,000	5,702,000
元	件数（件）	1,432	1,431	15	19	2,897
	金額（円）	1,984,500	3,397,000	225,000	190,000	5,796,500
2	件数（件）	1,398	1,397	30	⁶³ (46)	2,888
	金額（円）	1,936,000	3,290,000	450,000	630,000	6,306,000
3	件数（件）	1,375	1,374	21	⁶⁶ (48)	2,836
	金額（円）	1,752,000	3,093,000	315,000	660,000	5,820,000
4	件数（件）	1,317	1,317	18	⁴⁵ (29)	2,697
	金額（円）	1,724,500	3,023,000	270,000	450,000	5,467,500
5	件数（件）	1,308	1,308	32	⁵⁹ (43)	2,707
	金額（円）	1,811,500	3,121,000	485,000	590,000	6,007,500
6	件数（件）	1,212	1,212	20	⁹¹ (74)	2,535
	金額（円）	1,624,000	2,810,000	320,000	910,000	5,664,000

※令和2年度から指定更新手数料（10,000円を徴収）

②手数料表

種別	手数料		
設計審査手数料	口径20ミリメートル以下	1 件につき	1,000円
	口径40ミリメートル以下	1 件につき	2,500円
	口径75ミリメートル以下	1 件につき	5,000円
	口径100ミリメートル	1 件につき	10,000円
	口径150ミリメートル以上	1 件につき	20,000円
工事検査手数料	口径20ミリメートル以下	1 件につき	2,000円
	口径40ミリメートル以下	1 件につき	3,000円
	口径75ミリメートル以下	1 件につき	6,000円
	口径100ミリメートル	1 件につき	12,000円
	口径150ミリメートル以上	1 件につき	24,000円
道路占用及び掘削申請 手数料	国道	1 件につき	20,000円
	府道	1 件につき	15,000円
	府営住宅管理道路	1 件につき	15,000円
	河川敷	1 件につき	府道に準ずる。
指定手数料		1 件につき	10,000円
証明手数料		1 件につき	300円

備考 設計審査手数料及び工事検査手数料について、工事を行う給水装置又は給水管の最大管口径に応じた額とする。

5. 施設の概要

- (1) 浄・配水場（池）一覧表
- (2) 施設系統図
- (3) 浄水施設
- (4) 配水施設
- (5) 施設図及び主要配管図
- (6) 導・送・配水管布設延長
- (7) 消火栓設置状況
- (8) 耐震管延長

5. 施設の概要

(令和8年1月現在)

(I) 浄・配水場(池)一覧表

浄水施設名(2)	事業名	給水開始年月日	所在地	処理能力 m^3
和田浄水場	第2・3・4回拡張事業	昭和37年10月	和田町1番地	10,000 m^3 /日
父鬼浄水場	第3回拡張事業	昭和36年12月	父鬼町448番地の1	2,000 m^3 /日

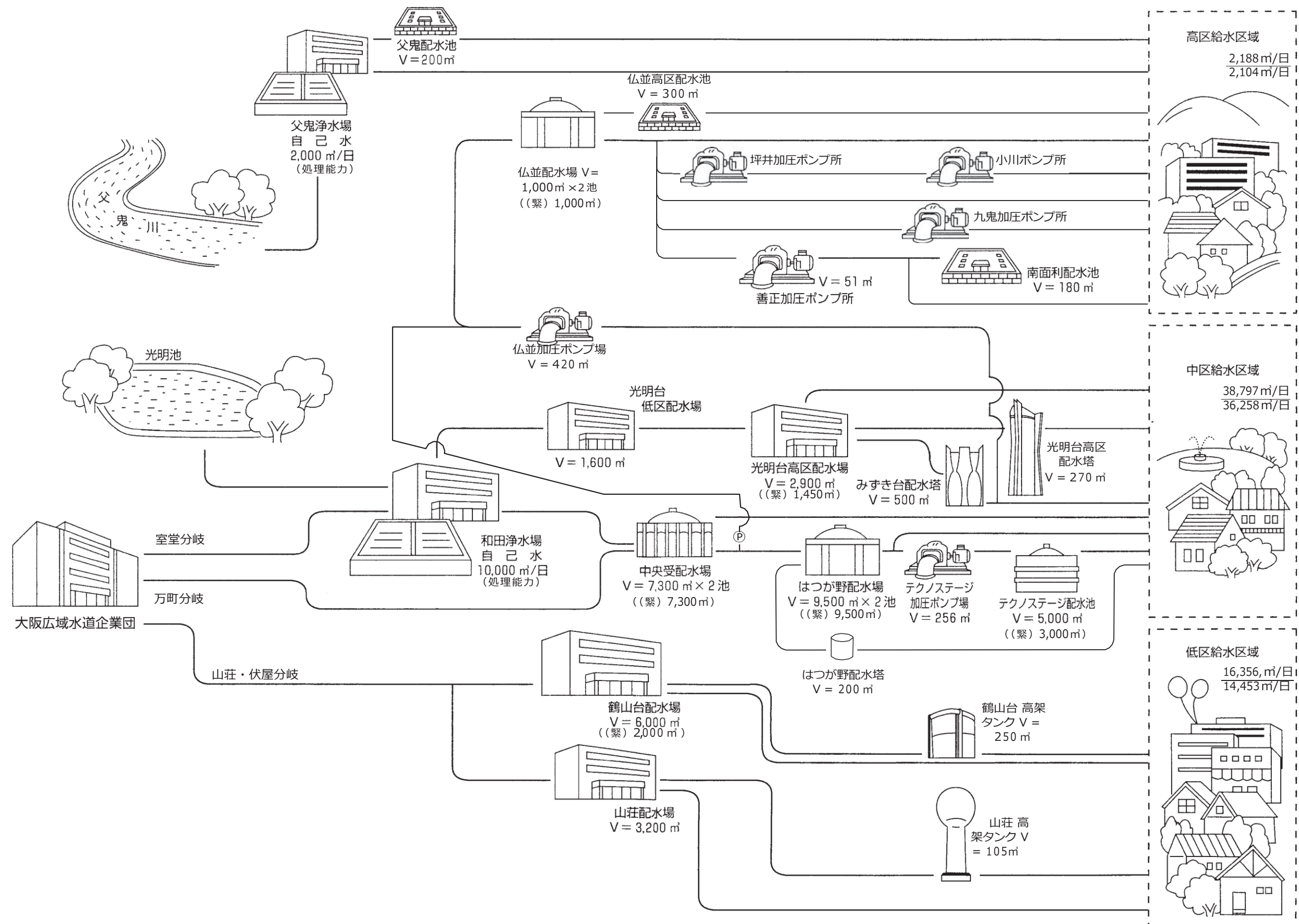
配水施設名(17)	事業名	給水開始年月日	所在地	施設容量 m^3
山荘配水場	第3回拡張事業	昭和46年3月	山荘町二丁目4番25号	3,200
鶴山台配水場 // 高架タンク	//	昭和46年9月	鶴山台四丁目20番8号	6,000 250
光明台低区配水場	//	昭和53年4月	光明台三丁目31番	1,600
光明台高区配水場 // 配水塔	//	昭和53年4月	光明台二丁目53番1号	2,900 270
南面利配水池	//	昭和53年2月	福瀬町1178番地の36	180
善正加圧ポンプ所	//	昭和53年2月	善正町18番地の4	51
中央受配水場	第4回拡張事業	平成7年4月 (2号池 平成13年3月)	いぶき野五丁目4番11号	14,600
みずき台配水塔	改良工事	平成13年3月	みずき台二丁目32番3号	500
はつが野配水場 // 配水塔	第4回拡張事業	平成11年5月 (2号池、配水塔 平成26年2月)	はつが野六丁目28番1号	19,000 200
テクノステージ 加圧ポンプ場	改良工事	平成11年7月	テクノステージ一丁目6番1号	256
テクノステージ 配水池	//	平成11年7月	テクノステージ二丁目5番8号	5,000
父鬼配水池	//	平成20年7月	父鬼町1093番地の2	200
坪井加圧ポンプ所	//	平成20年10月	仏並町1104番地の4	—
小川ポンプ所	//	平成23年6月	仏並町1556番地の10	10
仏並配水場 // 高区配水池	//	平成28年11月	仏並町451番地の3	2,000 300
仏並加圧ポンプ場	//	平成28年11月	仏並町129番地の5	420
九鬼加圧ポンプ所	//	平成30年4月	九鬼町362番地先	—

休止施設名(4)	事業名	給水開始年月日	所在地	施設容量 m^3
岡配水池	北田中簡易水道	昭和33年7月	小野田町546番地の2	163
若樫配水池	第1回拡張事業	昭和38年11月	若樫町94番地	550
坪井配水池	//	昭和54年3月	大野町1516番地	1,000
山荘高架タンク	第3回拡張事業	昭和46年3月	山荘町二丁目4番25号	105

その他(7)	所在地	面積
九鬼町水源池用地	九鬼町762番地の2	52 m^2
三林町管路用地	三林町843番地外(山林)	614.52 m^2
三林加圧ポンプ場用地	三林町688番地、685番地の3	570 m^2
国分配水地用地	国分町807番地、1877番地	270 m^2
福瀬高置タンク用地	福瀬町1469番地の46	41 m^2
池上資材センター	池上町一丁目293番1号	3,770.50 m^2
浦田資機材倉庫	浦田町437番地の3	2,047.30 m^2

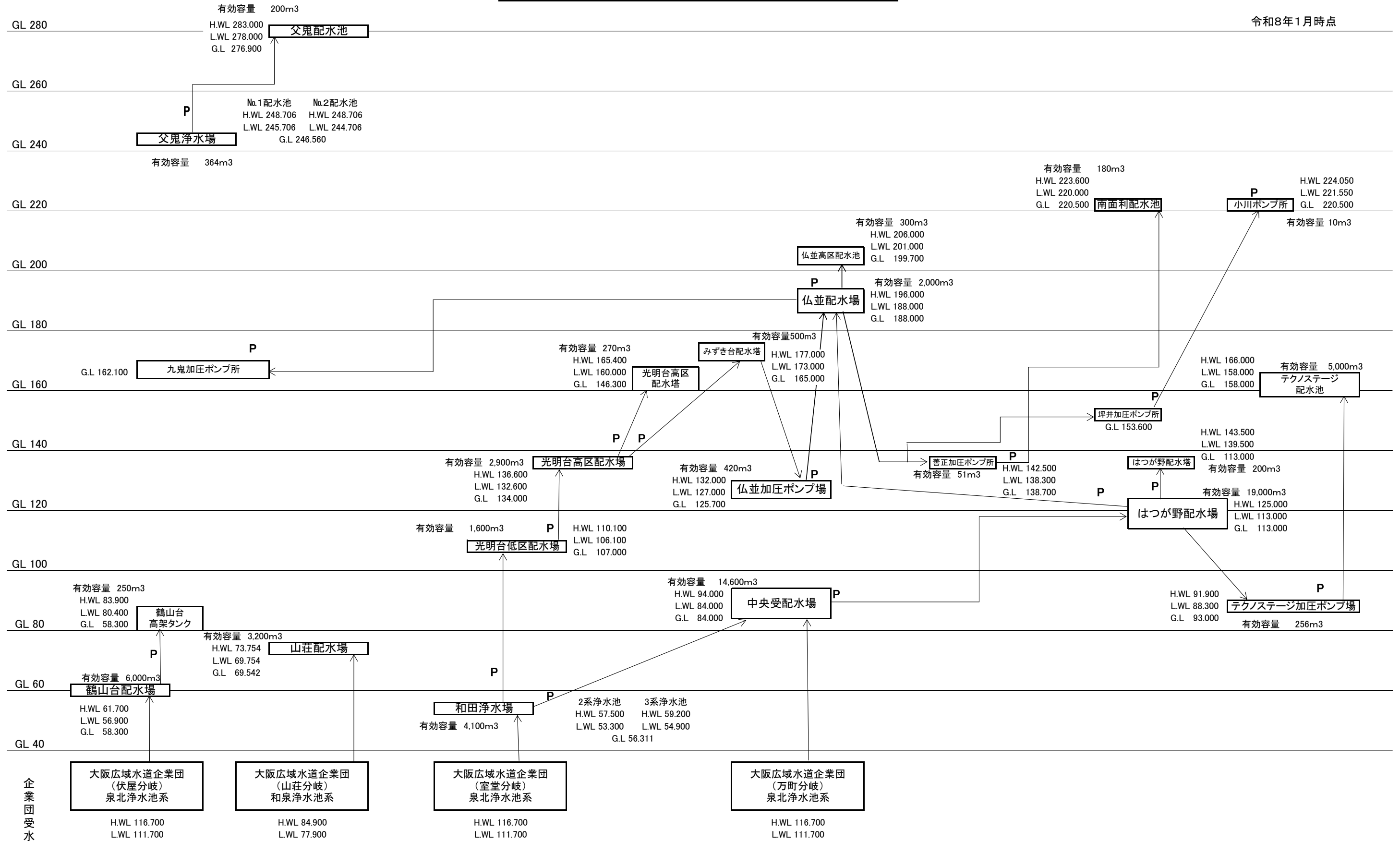
(合計)
 57,341 m³/日
 52,815 m³/日

(2) 施設系統図



和泉市の浄配水施設

令和8年1月時点



※表記の数値はO.P(大阪湾最低潮位)を基準とし、メートル(m)表示とする(次項以降も同様)

(3) 浄水施設

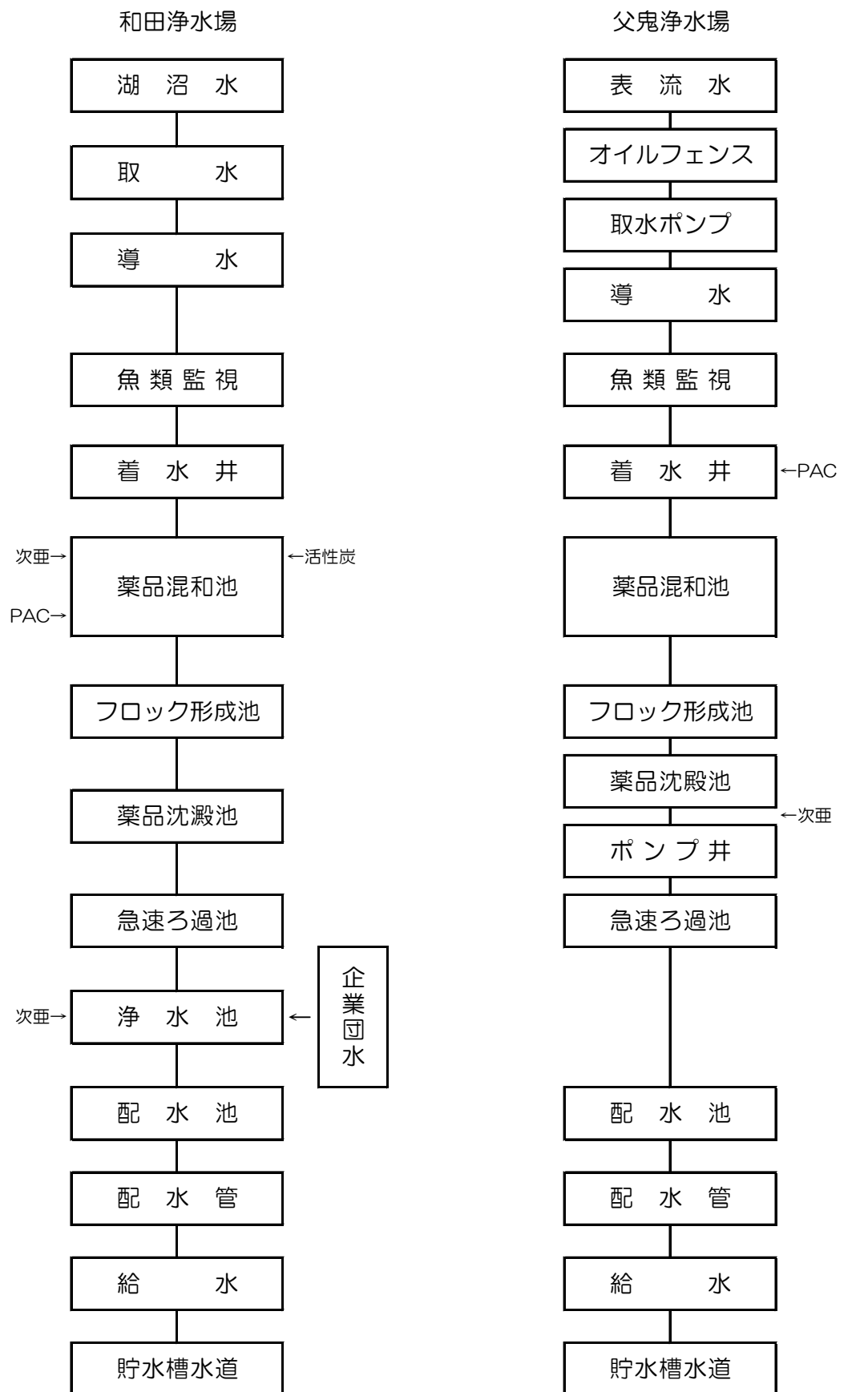
和田浄水場

所在地	和泉市和田町 1 番地
敷地面積	8,494.24 m ² (2,569.51 坪) 市有地 7,334.24 m ² 借地 1,160.00 m ² GL 56.311
概要	取水・浄水・受水・送水
取水	光明池導水管：φ 400 382 m 取水井：有効容量 40 m ³ 沈砂池：有効容量 358 m ³
浄水	1 系 沈殿池：処理能力 3,000 m ³ /日 有効容量 375 m ³ (薬品沈殿池) 2 系 沈殿池：処理能力 7,000 m ³ /日 有効容量 900 m ³ (傾斜板沈殿池) 1 系 ろ過池：ろ速 135m/日 ろ過面積 11.07 m ² × 2 池 予備 1 2 系 ろ過池：ろ速 135m/日 ろ過面積 25.92 m ² × 2 池 予備 1 2 系 浄水池：有効容量 1 池 5 槽 = 1,600 m ³ (RC 構造) (中央配水場送り) H.W.L 57.500 L.W.L 53.300 3 系 浄水池：有効容量 1 池 5 槽 = 2,500 m ³ (RC 構造) (光明台低区配水場送り) H.W.L 59.200 L.W.L 54.900 次亜塩素貯蔵槽：PE 製 8 m ³ PAC 貯蔵槽：FRP 製 6 m ³ 硫酸バンド貯蔵槽：FRP 製 6 m ³ 連絡ポンプ：11kW 2.8 m ³ /min 10m (株)荏原製作所 125BMS - 611 2 台 No.1 ~ No.3 送水ポンプ：75kW 4.17 m ³ /min 67m (光明台低区) (株)荏原製作所 200 × 150CHNM No.5 ~ No.7 送水ポンプ：37kW 2.8 m ³ /min 51.5m (中央受配水場) (株)荏原製作所 150 × 125CHNM
受水	大阪広域水道企業団 (室堂分岐) から受水
予備電源	自家発電機：ヤンマー製ディーゼル 350KVA 6HAL2 - D 無停電装置 (CVCF)：蓄電池容量 8100Ah
沿革	昭和 37 年 10 月 給水開始 (池田広域簡易水道) 昭和 38 年 12 月 池田広域簡易水道を上水道に統合 (和田浄水場) 昭和 42 年 5 月 拡張工事竣工 (第 2 拡) 昭和 48 年 12 月 拡張工事竣工 (第 3 拡) 昭和 57 年 8 月 水質試験室完成

父鬼浄水場

所 在 地	和泉市父鬼町 448 番地の 1		
敷 地 面 積	1,431.32 m ² (433.73 坪)	GL	246.560
概 要	取水・浄水・送水・配水		
取 水	父鬼川の表流水を取水		
浄 水	取 水 ポ ン プ： 22kW 2.5 m³ /min 31.5m (株)荏原製作所 100DL622 2 台 ろ 過 ポ ン プ： 7.5kW 1 m³ /min 28m (株)荏原製作所 80BMS 67.5 2 台 沈 殿 池： 処理能力 2,000 m³ / 日 有効容量 395 m³ ろ 過 機： ろ速 80m/ 日 ろ過面積 12.5 m² × 2 基 = 25 m² ろ 過 ポ ン プ 井： 有効容量 30 m³ 次亜塩素貯蔵槽： PE (ポリエチレン) 製 2 m³ PAC 貯 蔵 槽： FRP 製 3 m³ 苛性ソーダ貯蔵槽： PE (ポリエチレン) 製 3 m³		
送 水	父鬼配水池送水ポンプ： 3.7kW 0.15 m ³ /min 44m 2 台 (株)荏原製作所 40BMSP 363.7A		
配 水	No.1 配 水 池： 有効容量 1 池 1 槽 = 114 m ³ RC 構造 H.W.L 248.706 L.W.L 245.706 No.2 配 水 池： 有効容量 1 池 2 槽 = 250 m ³ RC 構造 H.W.L 248.706 L.W.L 244.706		
予 備 電 源	自家発電機： 東芝製 キュービクル式 108PS NPF4 - 85QR ヤンマー製エンジン 無 停 電 装 置 (UPS 電 源)： 魚水槽用		
施 設	管理棟 1 棟 父鬼配水池送水ポンプ室 1 棟 薬注室 1 棟 取水塔 1 棟		
沿 革	昭和 36 年 12 月 給水開始 昭和 51 年 10 月 拡張工事竣工 (浄配水施設・電気計装) 平成 5 年 拡張工事竣工 (テレメーター・計装・自家発電機) 平成 28 年 11 月～ 仏並配水場稼働に伴い浄水量約 500 m ³ / 日に変更 (配水区域を縮小)		

浄水場フローチャート



次亜・・・次亜塩素酸ナトリウム
PAC・・・ポリ塩化アルミニウム

活性炭・・・粉末活性炭
企業団水・・・大阪広域水道企業団水（浄水）

◎和田浄水場排水量（洗浄・水処理）

年度 調定月	6		5		4	
	排水量 (m³)	使用料金 (円)	排水量 (m³)	使用料金 (円)	排水量 (m³)	使用料金 (円)
4・5	1,302	285,050	2,793	691,267	3,087	773,293
6・7	1,302	285,050	2,625	644,395	2,331	562,369
8・9	1,323	290,615	651	124,401	3,528	896,332
10・11	0	1,040	651	124,401	2,898	720,562
12・1	2,940	732,280	882	177,762	2,793	691,267
2・3	5,502	1,447,078	1,281	279,485	2,730	673,690
計	12,369	3,041,113	8,883	2,041,711	17,367	4,317,513

(税抜き)

3		2		元		30	
排水量 (m³)	使用料金 (円)	排水量 (m³)	使用料金 (円)	排水量 (m³)	使用料金 (円)	排水量 (m³)	使用料金 (円)
4,074	1,048,666	4,914	1,283,026	3,486	884,614	5,082	1,251,515
3,843	984,217	5,208	1,314,832	4,053	1,042,807	5,502	1,447,078
2,583	632,677	3,339	843,601	4,410	1,142,410	5,964	1,575,976
2,877	714,703	1,680	385,220	3,738	954,922	5,376	1,411,924
3,906	1,001,794	3,780	966,640	4,851	1,265,449	4,263	1,101,397
3,339	843,601	5,040	1,318,180	5,082	1,329,898	2,814	697,126
20,622	5,225,658	23,961	6,111,499	25,620	6,620,100	29,001	7,485,016

(4) 配 水 施 設

山荘配水場

所 在 地	和泉市山荘町二丁目 4 番 25 号		
敷 地 面 積	1,636.31 m ² (495.85 坪)	GL	69.542
概 要	受水・送水・配水		
受 水	大阪広域水道企業団（山荘分岐）から受水		
送 水	高架タンク送水ポンプ： 15kW 2.4 m ³ /min 24m (株)荏原製作所 100BMS615A 2 台		
配 水	配 水 池： 有効容量 1 池 3 槽＝ 3,200 m ³ RC 構造 H.W.L 73.754 L.W.L 69.754 高 架 タ ン ク： 有効容量 105 m ³ メタル構造 (令和 7 年 11 月休止) H.W.L 87.542 L.W.L 82.242		
施 設	ポンプ室・電気室		1 棟
沿 革	昭和 39 年 3 月 給水開始 昭和 63 年 12 月 整備工事竣工（計装・テレメーター）		



山荘配水場

鶴山台配水場

所 在 地	和泉市鶴山台四丁目 20 番 8 号		
敷 地 面 積	2,996.00 m ² (907.88 坪)	GL	58.300
概 要	受水・送水・配水		
受 水	大阪広域水道企業団（伏屋分岐）から受水		
送 水	高架タンク送水ポンプ： 37kW 5.30 m ³ /min 30m 		



鶴山台配水場

光明台低区配水場

所 在 地	和泉市光明台三丁目 31 番		
敷 地 面 積	2,381.67 m ² (721.72 坪)	GL	107.000
概 要	受水・送水		
受 水	和田浄水場から受水		
送 水	光明台高区配水場送水ポンプ： 90kW 7.20 m ³ /min 45m (株)荏原製作所 250BSYG2 2 台		
配 水	配 水 池： 有効容量 1 池 3 槽＝ 1,600 m ³ RC 構造 H.W.L 110.100 L.W.L 106.100		
予 備 電 源	自 家 発 電 機： ヤンマー製ディーゼル 200KVA 185PS 6KDL - T		
施 設	電気室・自家発電機室	1 棟	
	ポンプ室	1 棟	
沿 革	昭和 53 年 4 月 給水開始 平成 13 年 12 月 受配電設備更新 平成 30 年 4 月 送水ポンプ更新 (1 台) 令和 元 年 3 月 送水ポンプ更新 (1 台)		



光明台低区配水場

光明台高区配水場

所 在 地	和泉市光明台二丁目 53 番 1 号		
敷 地 面 積	4,287.16 m ² (1,299.14 坪)	GL	134.000
概 要	受水・送水・配水		
受 水	光明台低区配水場から受水		
送 水	光明台高区配水塔送水ポンプ：	37kW 2.7 m ³ /min 40m (株)荏原製作所 150BMSH	2 台
	みずき台配水塔送水ポンプ：	45kW 2.74 m ³ /min 52m (株)荏原製作所 150BMSH	2 台
配 水	配 水 池：有効容量 1 池 3 槽＝ 2,900 m ³ RC 構造 H.W.L 136.600 L.W.L 132.600 緊 急 遮 断 弁：緊急遮断バタフライ弁 (株)クリモト 型式 電磁ブレーキ式 呼び径 400 mm		
予 備 電 源	自 家 発 電 機： ヤンマー製ディーゼル 250KVA 304PS YAP250G		
施 設	電気室		1 棟
	発電機室		1 棟
	ポンプ室		1 棟
沿 革	昭和 53 年 4 月 給水開始 平成 10 年 3 月 改良工事竣工（ポンプ・電気・機械・テレメーター） 令和 元 年 3 月 改良工事竣工（計装・テレメーター）		



光明台高区配水場

光明台高区配水塔

所 在 地	和泉市光明台二丁目 53 番 2 号		
敷 地 面 積	3,667.37 m ² (1,111.32 坪)	GL	146.300
概 要	受水・配水		
受 水	光明台高区配水場から受水		
配 水	配 水 塔：有効容量 1 池 1 槽＝ 270 m ³ PC 構造 H.W.L 165.400 L.W.L 160.000		
沿 革	昭和 53 年 4 月 給水開始		



光明台高区配水塔

南面利配水池

所 在 地	和泉市福瀬町 1178 番地の 36		
敷 地 面 積	429.15 m ² (130.01 坪)	GL	220.500
概 要	受水・配水		
受 水	善正加圧ポンプ所から受水		
配 水	配 水 池：有効容量 1 池 2 槽＝ 180 m ³ RC 構造 H.W.L 223.600 L.W.L 220.000		
沿 革	昭和 53 年 2 月 給水開始		



南面利配水池

善正加圧ポンプ所

所 在 地	和泉市善正町 18 番地の 4		
敷 地 面 積	136.00 m ² (41.21 坪)	GL	138.700
概 要	受水・加圧		
受 水	仏並配水場から受水 受 水 池：有効容量 1 池 1 槽＝ 51 m ³ RC 構造 H.W.L 142.500 L.W.L 138.300		
送水・加圧	配水池送水・加圧ポンプ： 15kW 0.4 m ³ /min 95m (株)荏原製作所 65BMS III 615 2 台		
予 備 電 源	自家発電機 ヤンマー製ディーゼル 60KVA 4TN100TL - GM		
施 設	ポンプ室・電気室		1 棟
沿 革	昭和 53 年 2 月 給水開始 平成 20 年 3 月 自家発電機設置		



善正加圧ポンプ所

中央受配水場

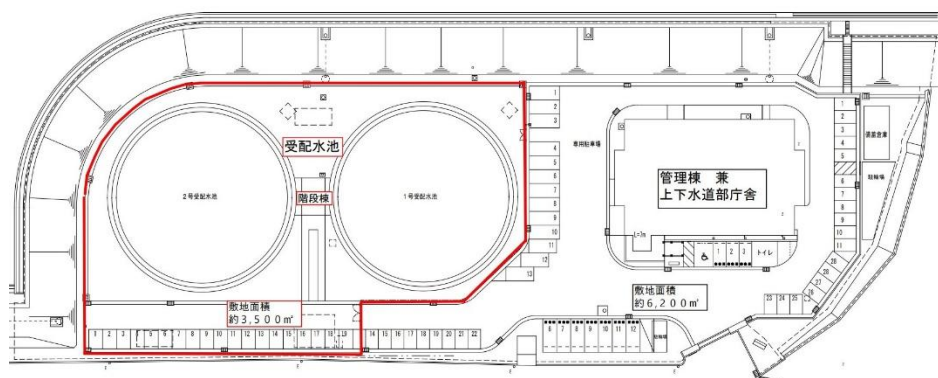
所在地	和泉市いぶき野五丁目 4 番 11 号		
敷地面積	9,719.50 m ² (2,945.30 坪)	(うち受配水池部分 約 3,500 m ²)	GL 84.000
概要	受水・送水・配水		
受水	大阪広域水道企業団(万町分岐)及び和田浄水場から受水		
送水	はつが野配水場送水ポンプ: 90kW 7.26 m ³ /min 51m (株)荏原製作所 300 × 150CJNM 2 台 75kW 6.10 m ³ /min 51m (株)荏原製作所 250 × 150CJNM 3 台		
配水	配 水 池: 有効容量 2 池=14,600 m ³ PC 構造 H.W.L 94.000 L.W.L 84.000 緊急遮断弁: 緊急遮断バタフライ弁 (株)クリモト 型式 電磁ブレーキ式 呼び径 600 mm		
予備電源	自家発電機: 川崎重工製ガスタービン PU500SB - ER 500KVA 630PS 無停電装置(CVCF): 蓄電池容量 16200Ah テレメータ電源 CRT 監視電源 ITV 電源 計装電源 OA 機器電源 侵入監視電源		
施設	管理棟		1 棟
	階段棟		1 棟
沿革	平成 7 年 4 月 給水開始 平成 11 年 3 月 改良工事竣工(監視設備・ポンプ・電気) 平成 13 年 3 月 2 号配水池岐工		



受配水池



管理棟(庁舎)



中央受配水場平面図

みずき台配水塔

所在地	和泉市みずき台二丁目 32 番 3 号		
敷地面積	1,900.50 m ² (574.90 坪)	GL	165.000
概要	受水・配水		
受水	光明台高区配水場から受水		
配水	配水 池：有効容量 1 池 1 槽＝ 500 m ³ PC 構造 H.W.L 177.000 L.W.L 173.000		
予備電源	無停電装置(CVCF)：蓄電池容量 8100Ah		
施設	電気室		1 棟
沿革	平成 13 年 3 月 給水開始		



みずき台配水塔

はつが野配水場

所在地	和泉市はつが野六丁目 28 番 1 号
敷地面積	7,599.46 m ² (2,298.84 坪) GL 113.000
概要	受水・送水・配水
受水	中央受配水場から受水
送水	配水塔送水ポンプ：15kW 1.2 m ³ /min 34m (株)荏原製作所 125 × 80CJNM 3 台 仏並配水場送水ポンプ：30kW 1,293 m ³ /min 87m テラル(株) 150BST - 100MSU8 - 630 - 5 3 台
配水	配水池：有効容量 2池＝ 19,000 m ³ PC 構造 H.W.L 125.000 L.W.L 113.000 配水塔：有効容量 1池1槽＝ 200 m ³ PC 構造 H.W.L 143.500 L.W.L 139.500 緊急遮断弁：弁形式 横軸バタフライ弁 口径 600 mm (株)クボタ
予備電源	自家発電機：ヤンマー製ディーゼル 100KVA AP115C 太陽光発電設備 30kW 相当 モジュール 215.0W × 144 枚
施設	管理棟 1 棟
沿革	平成 11 年 5 月 給水開始 平成 26 年 2 月 2 号配水池・配水塔竣工（太陽光発電設備含む） 平成 28 年 7 月 配水塔運用開始 令和 2 年 3 月 改良工事竣工（仏並配水場送水ポンプ）



はつが野配水場

テクノステージ加圧ポンプ場

所 在 地	和泉市テクノステージ丁目 6 番 1 号
敷 地 面 積	1,600.09 m ² (484.03 坪) GL 93.000
概 要	受水・送水
受 水	はつが野配水場から受水 受 水 池：有効容量 1 池 2 槽＝ 256 m ³ RC 構造 H.W.L 91.900 L.W.L 88.300
送 水	配水池送水ポンプ： 90kW 3.5 m ³ /min 90m (株)荏原製作所 200 × 100CJNM 3 台
薬 注 設 備	次亜塩素注入ポンプ： 60 cc /min 3 台 オーヤラックス NSP - 3A - 1L 次亜塩素貯蔵槽： FRP - V 製 1 m ³ 2 槽
予 備 電 源	自 家 発 電 機： ヤンマー製ディーゼル 375KVA 480PS YAP400G
施 設	管理棟 1 棟
沿 革	平成 11 年 7 月 給水開始



テクノステージ加圧ポンプ場

テクノステージ配水池

所 在 地	和泉市テクノステージ二丁目 5 番 8 号		
敷 地 面 積	3,187.39 m ² (964.19 坪)	GL	158.000
概 要	受水・配水		
受 水	テクノステージ加圧ポンプ場から受水		
配 水	配 水 池：有効容量 1 池 2 槽（内槽 2,000 + 外槽 3,000 m ³ ）＝ 5,000 m ³ 鋼製 2 重槽 H.W.L 166.000 L.W.L 158.000 緊 急 遮 断 弁：緊急遮断バタフライ弁 (株)クリモト 型式 電磁ブレーキ式 呼び径 400 mm		
予 備 電 源	無停電装置(UPS 電源)：テレメーター用		
施 設	管理棟		1 棟
沿 革	平成 11 年 7 月 給水開始		



テクノステージ配水池

父鬼配水池

所 在 地	和泉市父鬼町 1093 番地の 2		
敷 地 面 積	212.23 m ² (64.31 坪)	GL	276.900
概 要	受水・配水		
受 水	父鬼浄水場から受水		
配 水	配 水 池： 有効容量 1 池 2 槽＝ 200 m ³ ステンレス構造 H.W.L 283.000 L.W.L 278.000		
沿 革	平成 20 年 8 月 給水開始		



父鬼配水池

坪井加圧ポンプ所

所 在 地	和泉市仏並町 1104 番地の 4		
敷 地 面 積	89.65 m ² (27.17 坪)	GL	153.600
概 要	加圧		
加 圧	加 圧 ポ ン プ： 5.5kW 0.172 m ³ /min 64m (株)荏原製作所 4OMS665.5 2 台		
沿 革	平成 20 年 10 月 送水開始		



坪井加圧ポンプ所

小川ポンプ所

所 在 地	和泉市仏並町 1556 番地の 10		
敷 地 面 積	181.93 m ² (55.03 坪)	借地 181.93 m ²	GL 220.500
概 要	受水・加圧		
受 水	受 水 タ ン ク： 有効容量 1 池 2 槽＝ 10 m ³ ステンレス構造 H.W.L 224.050 L.W.L 221.550		
送 水	配 水 ポ ン プ： 5.5kW 0.063 m ³ /min 69m (株)荏原製作所 40BNEMD5.5B × 3 台		
薬 注 設 備	次亜塩素素注入装置： オーヤラックス DSP - 1S - 1 2 台 22.8 cc /min 次亜塩素素貯蔵槽： オーヤラックス YT - 50 50L		
施 設	ポンプ室 電気室 薬注室		1 棟
沿 革	平成 23 年 6 月 給水開始		



小川ポンプ所

仏並配水場

所 在 地	和泉市仏並町 451 番地の 3		
敷 地 面 積	5,138.72 m ² (1,554.46 坪)	GL	188.000
概 要	受水・送水・配水		
受 水	仏並加圧ポンプ場及びはつが野配水場から受水		
送 水	高区配水池送水ポンプ：7.5kW 0.88 m ³ /min 23m (株)荏原製作所 80 × 65FSW4J67.5B 2 台		
配 水	配 水 池：有効容量 2 池＝ 2,000 m ³ PC 構造 GL 188.000 H.W.L 196.000 L.W.L 188.000 高 区 配 水 池：有効容量 1 池＝ 300 m ³ ステンレス構造 GL 199.700 H.W.L 206.000 L.W.L 201.000 緊 急 遮 断 弁：トリガーバルブ 前澤工業株式会社 型式 MTB-A15-G-A 呼び径 300 mm		
予 備 電 源	自家発電機：ヤンマー製ディーゼル 75KVA AP95C		
施 設	電気室 発電機室 ポンプ室		1 棟
	薬注室		1 棟
沿 革	平成 28 年 11 月 給水開始		



仏並配水場

仏並加圧ポンプ場

所 在 地	和泉市仏並町 129 番地の 5		
敷 地 面 積	566.63㎡（171.40 坪）	GL	125.700
概 要	受水・送水		
受 水	みずき台配水塔から受水 受 水 池： 有効容量 1 池 2 槽＝ 420㎡ ステンレス構造 H.W.L 132.000 L.W.L 127.000		
送 水	仏並配水池送水ポンプ： 37kW 1.67㎡/min 74m (株)荏原製作所 125MS3637B		2 台
予 備 電 源	自 家 発 電 機： ヤンマー製ディーゼル 75KVA AP95C		
施 設	電気室 発電機室 ポンプ室	1 棟	
沿 革	平成 28 年 11 月 給水開始		



仏並加圧ポンプ場

九鬼加圧ポンプ所

所在地	和泉市九鬼町 362 番地先 (GL 162.100)
概要	加圧
加圧	配水ポンプ: 3.7kW 0.3m ³ /min 30m テラル株式会社 80BST6 - 63.7 - 4 2台
施設	ポンプ室(地下)
沿革	平成 30 年 4 月 給水開始



九鬼加圧ポンプ所

岡配水池

所 在 地	和泉市小野田町 546 番地の 2
敷 地 面 積	119㎡ (36.06 坪) GL 168.577
概 要	受水・配水
配 水	配 水 池： 有効容量 163㎡ RC 構造 H.W.L 168.090 L.W.L 164.590
沿 革	昭和 33 年 7 月 給水開始 昭和 63 年 7 月 休 止

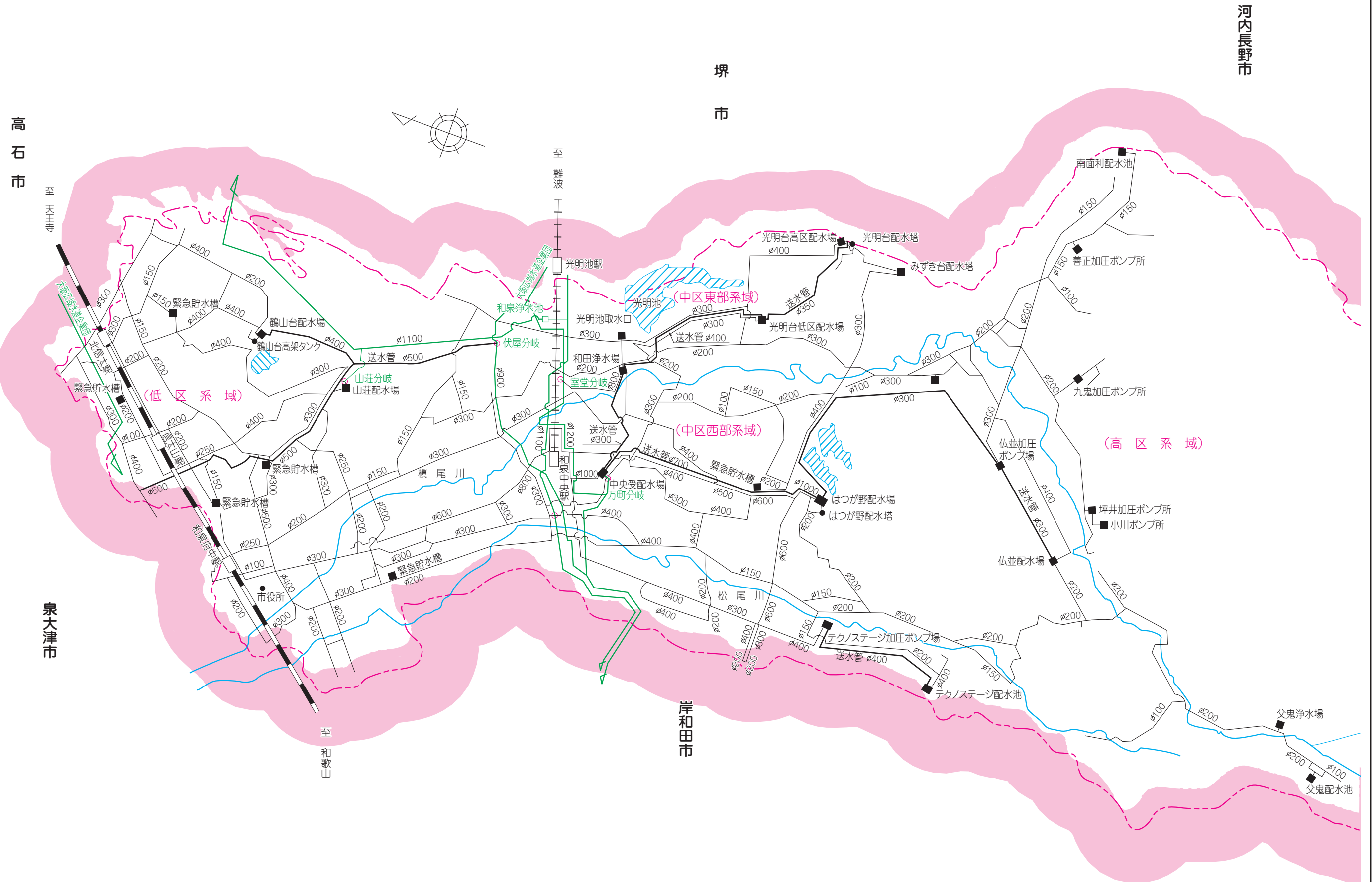
若櫛配水池

所 在 地	和泉市若櫛町 94 番地
敷 地 面 積	505.78㎡ (153.27 坪) GL 211.310
概 要	受水・配水
施 設	配 水 池： 有効容量 1 池 2 槽＝ 550㎡ RC 構造 H.W.L 213.131 L.W.L 210.131
沿 革	昭和 38 年 11 月 給水開始 平成 9 年 3 月 改良工事竣工（計装・テレメーター） 平成 28 年 12 月 休 止

坪井配水池

所 在 地	和泉市大野町 1516 番地
敷 地 面 積	647.00㎡ (196.06 坪) GL 187.000
概 要	受水・配水
配 水	配 水 池： 有効容量 1 池 1 槽＝ 1,000㎡ RC 構造 H.W.L 196.800 L.W.L 186.800
沿 革	昭和 54 年 3 月 給水開始 平成 28 年 11 月 休 止

(5) 施設図及び主要配管図



(6) 導・送・配水管布設延長

①管種別延長

(単位：m)

管種別		区分	令和5年度延長数	令和6年度中発生		令和6年度末	
				新設	撤去	延長数	構成比：％
鋳鉄管	導水管					0	0.00%
	送水管					0	0.00%
	配水管		13,898		751	13,147	2.23%
	計		13,898	0	751	13,147	2.23%
ダクタイル鋳鉄管	導水管		403			403	0.07%
	送水管		23,968	36		24,004	4.08%
	配水管		494,238	874	1,314	493,798	83.91%
	計		518,609	910	1,314	518,205	88.06%
鋼管	導水管					0	0.00%
	送水管		31			31	0.01%
	配水管		1,078			1,078	0.18%
	計		1,109	0	0	1,109	0.19%
石綿管	導水管					0	0.00%
	送水管					0	0.00%
	配水管		111			111	0.02%
	計		111	0	0	111	0.02%
硬質塩化ビニル管	導水管					0	0.00%
	送水管					0	0.00%
	配水管		6,474		92	6,382	1.08%
	計		6,474	0	92	6,382	1.08%
ポリエチレン（水道配水管用）	導水管					0	0.00%
	送水管					0	0.00%
	配水管		45,289	2,323		47,612	8.09%
	計		45,289	2,323	0	47,612	8.09%
ポリエチレン（2層管）	導水管					0	0.00%
	送水管					0	0.00%
	配水管		1,160	86		1,246	0.21%
	計		1,160	86	0	1,246	0.21%
ステンレス管	導水管					0	0.00%
	送水管		268			268	0.05%
	配水管		401			401	0.07%
	計		669	0	0	669	0.11%
計	導水管		403	0	0	403	0.07%
	送水管		24,267	36	0	24,303	4.13%
	配水管		562,649	3,283	2,157	563,775	95.80%
	計		587,318	3,319	2,157	588,481	100.00%

②口径別延長

管種	管径	令和6年度 未延長数	年 度 別 移 動			
			令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
導水管	φ300mm未満	21				
	φ300mmからφ500mm未満	382				
	φ500mmからφ1,000mm未満					
	φ1,000mmからφ1,500mm未満					
	小 計	403	0	0	0	0
送水管	φ300mm未満	2,782				
	φ300mmからφ500mm未満	16,553	36	129	24	84
	φ500mmからφ1,000mm未満	4,968				
	φ1,000mmからφ1,500mm未満					
	小 計	24,303	36	129	24	84
配水管	φ50mm以下	4,666	5		(27)	86
	φ75mm以下	80,461	920	651	1,887	16
	φ100mm以下	92,057	(211)	7	(237)	52
	φ125mm以下	520				
	φ150mm以下	192,621	202	558	1,700	839
	φ200mm以下	88,734	15	4	125	(128)
	φ250mm以下	4,032				
	φ300mm以下	50,872	197	(42)	240	270
	φ350mm以下	27				
	φ400mm以下	36,654				
	φ450mm以下	0				
	φ500mm以下	5,113				
	φ550mm以下	0				
	φ600mm以下	4,482				
	φ700mm以下	23				
	φ800mm以下	2,758				
	φ900mm以下	0				
	φ1,000mm以下	756				
	小 計	563,775	1,127	1,178	3,688	1,135
布設増合計		1,163	1,163	1,307	3,712	1,219
総延長合計		588,481	588,481	587,318	586,011	582,299

() は撤去延長を示す

導・送・配水管延長距離

35.4 km

222 km

330.9 km



状 況	令和元年度 延 長 数
令和2年度	
	21
	382
	0
	0
0	403
	2,782
543	15,737
	4,968
	0
543	23,487
	4,602
756	76,231
241	92,205
	520
2,283	187,039
760	87,958
	4,032
	50,207
	27
	36,654
	0
	5,113
	0
	4,482
	23
	2,758
	0
	756
4,040	552,607
4,583	
581,080	576,497

(7) 消火栓設置状況

種別		消火栓		
令和6年度消火栓台数			(新設)	(撤去)
年度別設置状況	6年度	11	23	12
	5年度	7	21	14
	4年度	10	76	66
	3年度	5	34	29
	2年度	19	30	11
	元年度	11	34	23
	30年度	12	26	14
令和6年度末消火栓台数		3,732		

(8) 耐震管延長（令和6年度末）

①総管路（導水管・送水管・配水本管・配水支管）	
管路総延長	588,481m
耐震適合管延長	264,138m
耐震管延長	148,849m
耐震適合率	44.88%
耐震管率	25.29%
更新率	0.42%
②基幹管路（導水管・送水管・配水本管）	
管路総延長	37,840m
耐震適合管延長	35,113m
耐震管延長	29,105m
耐震適合率	92.79%
耐震管率	76.92%



6. 電力・薬品

- (1) 年度別使用状況
- (2) 薬品使用量
- (3) 施設別電力使用量及び使用料金

6.電力・薬品

(1) 年度別使用状況

区分 年度	電力使用量		動力費		薬品費	
	使用量kWh	対前年度比	金額 (円)	対前年度比	金額 (円)	対前年度比
30	4,029,296	1.03	73,055,472	1.03	8,544,316	0.98
元	3,976,116	0.99	68,012,477	0.93	8,997,602	1.05
2	3,968,275	1.00	64,326,202	0.95	9,304,042	1.03
3	3,917,400	0.99	76,310,754	1.19	10,040,320	1.08
4	3,831,279	0.98	96,692,821	1.27	10,117,531	1.01
5	3,643,843	0.95	78,649,934	0.81	7,712,882	0.76
6	3,816,569	1.05	90,017,925	1.14	9,196,599	1.19

(2) 薬品使用量

(kg)

項目 年度	ポリ塩化アルミニウム		次亜塩素			活性炭(粉)
	和田浄水場	父鬼浄水場	和田浄水場	父鬼浄水場	その他施設	和田浄水場
30	133,660	3,220	70,350	3,450	1,610	2,560
元	134,820	3,230	72,670	3,670	1,680	1,140
2	131,230	3,050	67,870	3,980	510	180
3	151,070	3,209	68,960	4,058	1,040	0
4	142,590	3,666	71,770	4,855	1,870	0
5	96,300	3,045	50,550	4,195	1,680	300
6	114,540	3,080	49,870	4,405	2,880	400

給水量1m ³ あたり		電力使用量1kwあたり料金（円・銭）
動力費（円・銭）	薬品費（円・銭）	
3.99	0.47	18.13
3.73	0.49	17.11
3.48	0.50	16.21
4.16	0.55	19.48
5.33	0.56	25.24
4.375	0.429	21.58
5.02	0.512	23.58

(3) 施設別電力使用量及び使用料金

施設名		6年度	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度
和田浄水場	kWh	1,212,504	1,107,676	1,348,219	1,349,677	1,370,181	1,457,459	1,416,622
	料金(円)	26,858,356	23,445,885	32,549,648	23,979,426	22,462,088	24,848,560	25,764,571
父鬼浄水場	kWh	113,804	110,876	123,262	145,283	152,071	113,656	121,182
	料金(円)	2,655,172	2,010,998	2,901,715	3,134,993	3,050,615	2,595,190	2,722,298
山荘配水場	kWh	38,380	39,686	38,552	37,707	37,917	38,184	38,060
	料金(円)	1,183,664	994,547	1,202,113	1,147,664	1,111,087	1,166,071	1,160,320
鶴山台配水場	kWh	33,988	27,712	32,118	35,161	36,995	36,554	49,068
	料金(円)	1,226,733	959,384	1,199,589	1,208,163	1,197,232	1,221,163	1,312,014
光明台低区配水場	kWh	437,713	439,424	442,993	471,381	534,300	529,983	527,185
	料金(円)	9,913,448	9,540,150	11,233,891	8,856,800	9,149,427	9,520,713	10,120,730
光明台高区配水場	kWh	204,396	207,607	208,391	225,418	277,180	269,960	267,158
	料金(円)	5,542,288	5,227,455	5,928,505	4,889,187	5,385,829	5,476,945	5,822,890
南面利配水池	kWh	2,088	2,113	1,430	2,159	2,162	2,956	76
	料金(円)	55,789	45,009	37,132	55,789	53,026	80,626	4,457
善正加圧ポンプ所	kWh	37,729	38,926	37,503	36,195	31,371	31,603	46,953
	料金(円)	868,191	687,159	892,075	833,430	711,763	747,128	1,003,956
中央受配水場	kWh	1,098,479	1,100,840	1,084,687	1,090,966	1,016,580	959,704	1,060,631
	料金(円)	23,888,456	22,120,865	25,852,181	19,251,769	16,700,686	16,859,512	19,716,334
みずき台配水塔	kWh	936	900	884	766	844	1,395	1,146
	料金(円)	57,450	49,687	53,234	49,546	50,301	62,669	55,837
はつが野配水場	kWh	159,351	157,047	157,086	137,655	33,446	39,688	34,068
	料金(円)	4,350,995	3,964,727	4,547,101	3,258,832	841,383	984,843	936,675
テクノステージ 加圧ポンプ場	kWh	294,532	227,023	175,163	178,042	182,561	199,188	186,570
	料金(円)	8,701,057	5,895,926	5,566,507	4,627,566	3,865,481	3,816,960	3,924,767
テクノステージ 配水池	kWh	1,401	1,532	1,542	1,570	1,569	1,506	1,458
	料金(円)	124,594	115,044	121,627	120,441	188,494	117,483	112,989
父鬼配水池	kWh	886	932	921	925	924	925	918
	料金(円)	23,704	19,067	23,358	22,490	21,220	22,070	21,643
坪井加圧ポンプ所	kWh	5,476	5,397	5,984	6,165	7,201	10,801	6,006
	料金(円)	278,853	244,046	283,956	280,332	290,480	352,414	26,621
小川ポンプ所	kWh	13,742	13,269	14,174	15,191	15,921	18,875	16,452
	料金(円)	432,278	352,738	442,677	444,617	437,804	500,162	454,752
仏並配水場	kWh	20,345	19,467	18,918	19,622	17,832	18,080	17,403
	料金(円)	573,328	447,445	553,956	539,868	486,296	509,948	491,163
仏並加圧ポンプ場	kWh	131,377	133,985	130,218	154,388	240,009	234,612	226,792
	料金(円)	2,813,893	2,172,038	2,894,837	3,142,801	4,324,301	4,477,995	4,356,332
九鬼加圧ポンプ所	kWh	6,749	6,888	7,018	7,098	6,647	6,349	6,942
	料金(円)	248,140	211,185	251,678	245,816	228,858	230,087	236,086
池上資材センター	kWh	1,854	2,543	2,216	2,031	2,512	4,534	4,336
	料金(円)	146,495	144,476	154,401	141,803	155,764	236,963	250,447
浦田資機材倉庫	kWh	839	—	—	—	—	—	—
	料金(円)	72,427	—	—	—	—	—	—
その他施設	kWh	0	0	0	0	52	104	270
	料金(円)	2,614	2,103	2,640	79,421	116,496	166,734	164,830
電力使用量合計		3,816,569	3,643,843	3,831,279	3,917,400	3,968,275	3,976,116	4,029,296
電力使用料金(税込み)		90,017,925	78,649,934	96,692,821	76,310,754	70,758,631	73,994,236	78,899,702
税額		8,182,291	7,149,809	8,790,088	6,937,162	6,432,429	5,981,759	5,844,230
税抜		81,835,634	71,500,125	87,902,733	69,373,592	64,326,202	68,012,477	73,055,472

7. 水 質

- (1) 水質基準
- (2) 主な水質検査用機器
- (3) 水質試験別検査機器・項目

7. 水 質

(I) 水 質 基 準 (令和 2 年 4 月 1 日施行)

① 水質基準項目 (51 項目)

	検 査 項 目	基 準 値	区 分
1	一 般 細 菌	1 mlの検水で形成される集落数が100以下であること	病原生物
2	大 腸 菌	検出されないこと	
3	カドミウム及びその化合物	0.003 mg /ℓ以下	重金属
4	水 銀 及 び そ の 化 合 物	0.0005 mg /ℓ以下	
5	セ レ ン 及 び そ の 化 合 物	0.01 mg /ℓ以下	
6	鉛 及 び そ の 化 合 物	0.01 mg /ℓ以下	
7	ヒ 素 及 び そ の 化 合 物	0.01 mg /ℓ以下	
8	六 価 ク ロ ム 化 合 物	0.02 mg /ℓ以下	
9	亜 硝 酸 態 窒 素	0.04 mg /ℓ以下	無機物質
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg /ℓ以下	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg /ℓ以下	
12	フ ッ 素 及 び そ の 化 合 物	0.8 mg /ℓ以下	
13	ホ ウ 素 及 び そ の 化 合 物	1.0 mg /ℓ以下	
14	四 塩 化 炭 素	0.002 mg /ℓ以下	一般有機 化学物質
15	1,4 - ジ オ キ サ ン	0.05 mg /ℓ以下	
16	シス-12-ジクロロエチレン 及びトランス-12-ジクロロエチレン	0.04 mg /ℓ以下	
17	ジ ク ロ ロ メ タ ン	0.02 mg /ℓ以下	
18	テトラクロロエチレン	0.01 mg /ℓ以下	
19	トリクロロエチレン	0.01 mg /ℓ以下	
20	ベ ン ゼ ン	0.01 mg /ℓ以下	
21	塩 素 酸	0.6 mg /ℓ以下	消 毒 副生成物
22	ク ロ ロ 酢 酸	0.02 mg /ℓ以下	
23	ク ロ ロ ホ ル ム	0.06 mg /ℓ以下	
24	ジ ク ロ ロ 酢 酸	0.03 mg /ℓ以下	
25	ジブロモクロロメタン	0.1 mg /ℓ以下	
26	臭 素 酸	0.01 mg /ℓ以下	
27	総 ト リ ハ ロ メ タ ン	0.1 mg /ℓ以下	
28	ト リ ク ロ ロ 酢 酸	0.03 mg /ℓ以下	
29	ブ ロ モ ジ ク ロ ロ メ タ ン	0.03 mg /ℓ以下	
30	ブ ロ モ ホ ル ム	0.09 mg /ℓ以下	
31	ホ ル ム アル デ ヒ ド	0.08 mg /ℓ以下	
32	亜鉛及びその化合物	1.0 mg /ℓ以下	着色
33	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg /ℓ以下	
34	鉄 及 び そ の 化 合 物	0.3 mg /ℓ以下	
35	銅 及 び そ の 化 合 物	1.0 mg /ℓ以下	
36	ナトリウム及びその化合物	200 mg /ℓ以下	味
37	マンガン及びその化合物	0.05 mg /ℓ以下	着色
38	塩 化 物 イ オ ン	200 mg /ℓ以下	味
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg /ℓ以下	

40	蒸 発 残 留 物	500 mg /ℓ 以下	味
41	陰 イ オ ン 界 面 活 性 剤	0.2 mg /ℓ 以下	発泡
42	ジ エ オ ス ミ ン	0.00001 mg /ℓ 以下	かび臭
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg /ℓ 以下	
44	非 イ オ ン 界 面 活 性 剤	0.02 mg /ℓ 以下	発泡
45	フ ェ ノ ー ル 類	0.005 mg /ℓ 以下	臭気
46	有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3 mg /ℓ 以下	味
47	p H 値	5.8 以上 8.6 以下	基礎的 性 状
48	味	異常でないこと	
49	臭 気	異常でないこと	
50	色 度	5 度以下	
51	濁 度	2 度以下	

② 水質管理目標設定項目（27 項目）

	検 査 項 目	目 標 値	区 分
1	アンチモン及びその化合物	0.02 mg /ℓ 以下	重金属・ 無機物質
2	ウ ラ ン 及 び そ の 化 合 物	0.002 mg /ℓ 以下（暫定）	
3	ニ ッ ケ ル 及 び そ の 化 合 物	0.02 mg /ℓ 以下	
4	1,2-ジクロロエタン	0.004 mg /ℓ 以下	一般有機 化学物質
5	ト ル エ ン	0.4 mg /ℓ 以下	
6	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	0.08 mg /ℓ 以下	
7	亜 塩 素 酸	0.6 mg /ℓ 以下	消 毒 副生成物
8	二 酸 化 塩 素	0.6 mg /ℓ 以下	
9	ジクロロアセトニトリル	0.01 mg /ℓ 以下（暫定）	
10	抱 水 ク ロ ラ ー ル	0.02 mg /ℓ 以下（暫定）	
11	農 薬 類	検出値と目標値の比の和として、1 以下	農薬
12	残 留 塩 素	1 mg /ℓ 以下	臭気
13	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	10 mg /ℓ 以上 100 mg /ℓ 以下	味
14	マンガン及びその化合物	0.01 mg /ℓ 以下	着色
15	遊 離 炭 酸	20 mg /ℓ 以下	味
16	1,1,1-トリクロロエタン	0.3 mg /ℓ 以下	臭気
17	メチル-t-ブチルエーテル	0.02 mg /ℓ 以下	一般有機化学物質
18	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	3 mg /ℓ 以下	味
19	臭 気 強 度 （ T O N ）	3 以下	臭気
20	蒸 発 残 留 物	30 mg /ℓ 以上 200 mg /ℓ 以下	味
21	濁 度	1 度以下	基礎的性状
22	p H 値	7.5 程度	腐食
23	腐 食 性 （ ラ ン ゲ リ ア 指 数 ）	マイナス 1 程度以上とし、極力 0 に近づける	
24	従 属 栄 養 細 菌	2,000 個集落 / ml 以下（暫定）	水道施設の健全性の指標
25	1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg /ℓ 以下	一般有機化学物質
26	アルミニウム及びその化合物	0.1 mg /ℓ 以下	着色
27	ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS） 及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）	0.00005 mg /ℓ 以下	一般有機化学物質

(2) 主な水質検査用機器

機 器 名	形 式	備 考
高周波誘導結合プラズマ質量分析装置	島 津 ICPMS - 2030	平成 30 年度 導入
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメンツ RA - 4500	平成 26 年度 導入
P H メ ー タ ー	サーモフィッシャー ORION 3 STAR	平成 24 年度 導入
P H メ ー タ ー	堀 場 F - 7 2 S	令和 4 年度 導入
塩 素 要 求 量 計	セ ン ト ラ ル 科 学 CD - 2000 型	平成 26 年度 導入
S S ろ 過 装 置	宮 本 理 研 SM - 1A 型	
電 子 天 秤	メトラー・トレド ML204T	令和元年度 導入
電 子 天 秤	// MS3002T	令和 4 年度 導入
D O メ ー タ ー	H A C H HQ40d型	平成 22 年度 導入
超音波洗浄器（ピペット）	ヤ マ ト 科 学 AW - 31 型	
超 音 波 洗 浄 器	ア ズ ワ ン ASU - 20M	平成 29 年度 導入
導 電 率 計（卓 上）	堀 場 DS - 12	平成 10 年度 導入
濁 色 度 計	日 本 電 色 Water AnalyzerWA6000	平成 25 年度 導入
濁 色 度 計	// Water AnalyzerWA6000	平成 20 年度 導入
イオンクロマトグラフ	サーモフィッシャー DIONEX Integrion	令和 5 年度 導入
分 光 光 度 計	島 津 UV - 2600 型	平成 23 年度 導入
超 純 水 製 造 装 置	日 本 ミ リ ポ ア MILLI - Q IQ7003	令和元年度 導入
定 温 乾 燥 機	東 洋 製 作 所 FC - 410 型	
固 相 抽 出 装 置	日本ウォーターズ SEP-PAK-コントローラー SPC-10	平成 23 年度 導入
ホ ッ ト ブ レ ー ト	ア ズ ワ ン CHP - 250AN	平成 27 年度 導入
業務用冷蔵庫（2 台）	サ ン ヨ ー MPR - 411F	平成 14 年度 導入
高 圧 滅 菌 器	ヤ マ ト 科 学 ST501	令和 2 年度 導入
定 温 乾 燥 機	// DX - 68 型	
ふ 卵 器	E S P E C . C O R P BN - 120	平成 17 年度 導入
マ ッ プ ル 炉	ヤ マ ト 科 学 FM - 35 型	
インキュベーター（1 台）	三 洋 電 機	平成 15 年度 導入
顕 微 鏡	二 コ ン TS100 - F 型	平成 25 年度 導入
採 水 器	宮 本 理 研	平成 14 年度 導入
ジ ャ ー テ ス タ ー	// JMD - 6S 型	
全有機炭素（TOC）計	島 津 TOC - L	令和 3 年度 導入
ポ ー タ ブ ル 濁 色 計	日 本 電 色 WAI	平成 24 年度 導入
電 気 湯 煎 機	宮 本 理 研 CDN-15	令和 6 年度 導入

(3) 水質試験別検査機器・項目

試 験 名 称	主 要 機 器	分 析 項 目
理化学 試 験	◦ 濁・色度計 ◦ 電子天秤 ◦ 乾燥機 ◦ 電気湯煎機 ◦ PH メーター	◦ 有機物 ◦ PH 値 ◦ 臭 気 ◦ 味 ◦ 色 度 ◦ 濁 度 ◦ 蒸発残留物 ◦ 残留塩素 ◦ 遊離炭酸 ◦ ランゲリア指数 ◦ アンモニア態窒素 ◦ 酸 度 ◦ アルカリ度
	◦ SS ろ過装置 ◦ DO メーター ◦ 分光光度計 ◦ 導電率計 ◦ 塩素要求量計 ◦ 高圧滅菌器	◦ 総窒素 ◦ 総リン ◦ リン酸イオン ◦ 電気伝導率 ◦ 塩素要求量 ◦ 溶存酸素 ◦ BOD ◦ 浮遊物質
	◦ イオンクロマトグラフ ◦ 超純水装置	◦ 硝酸及び亜硝酸態窒素 ◦ フッ素 ◦ 塩素イオン ◦ シアン ◦ ナトリウム ◦ カルシウム、マグネシウム等（硬度） ◦ 臭素酸
	◦ 高周波誘導結合プラズマ質量分析装置	◦ カドミウム ◦ セレン ◦ 鉛 ◦ ヒ素 ◦ 六価クロム ◦ 亜鉛 ◦ 鉄 ◦ 銅 ◦ マンガン ◦ アルミニウム
	◦ 還元気化水銀測定装置	◦ 水銀
微生物 試 験	◦ 全有機炭素（TOC）計	◦ 有機物（全有機炭素の量）
	◦ 高圧滅菌器 ◦ 心卵器 ◦ 顕微鏡	◦ 一般細菌 ◦ 大腸菌 ◦ 動・植物性プランクトン ◦ 嫌気性芽胞菌 ◦ 従属栄養細菌

8. 料 金

- (1) 調定及び収納
- (2) 調定状況
- (3) 収納状況
- (4) 納入方法
- (5) 不納欠損金額
- (6) 福祉減免制度実施状況

8. 料金

(1) 調定及び収納

年度別状況（各項目の数値については当該年度末決算時の数値。ただし、消火栓等の使用は除く。）

区分		調定額		収入額	
		金額（円）	対前年比（％）	金額（円）	対前年比（％）
30年度	現年度	2,900,521,394	99.3	2,607,331,019	99.7
	過年度	315,490,728	100.1	303,274,340	99.0
	合計	3,216,012,122	99.4	2,910,605,359	99.7
元年度	現年度	2,887,059,784	99.5	2,584,340,787	98.6
	過年度	303,186,133	96.1	297,357,919	96.9
	合計	3,190,245,917	99.2	2,881,698,706	98.5
2年度	現年度	2,672,174,294	92.6	2,382,985,932	92.2
	過年度	307,723,952	101.5	300,801,028	101.2
	合計	2,979,898,246	93.4	2,683,786,960	93.1
3年度	現年度	2,915,744,073	109.1	2,622,921,600	110.1
	過年度	295,527,344	96.0	289,974,472	96.4
	合計	3,211,271,417	107.8	2,912,896,072	108.5
4年度	現年度	2,886,524,443	99.0	2,590,019,537	98.7
	過年度	297,768,669	100.8	292,682,917	100.9
	合計	3,184,293,112	99.2	2,882,702,454	99.0
5年度	現年度	2,853,617,609	98.9	2,552,148,660	98.5
	過年度	300,947,727	101.1	292,849,075	100.1
	合計	3,154,565,336	99.1	2,844,997,735	98.7
6年度	現年度	2,849,349,061	99.9	2,553,032,049	100.0
	過年度	309,723,595	102.9	305,020,356	104.2
	合計	3,159,072,656	100.1	2,858,052,405	100.5

(税込み)

令和7年3月31日現在

未収額		収入率
金額（円）	対前年比（％）	
293,190,375	95.3	89.9
12,216,388	137.1	96.1
305,406,763	96.5	90.5
302,718,997	103.2	89.5
5,828,214	47.7	98.1
308,547,211	101.0	90.3
289,188,362	95.5	89.2
6,922,924	118.8	97.8
296,111,286	96.0	90.1
292,822,473	101.3	90.0
5,552,872	80.2	98.1
298,375,345	100.8	90.7
296,504,906	101.3	89.7
5,085,752	91.6	98.3
301,590,658	101.1	90.5
301,468,949	101.7	89.4
8,098,652	159.2	97.3
309,567,601	102.6	90.2
296,317,012	98.3	89.6
4,703,239	58.1	98.5
301,020,251	97.2	90.5

(2)調定状況

年度別・用途別

用途別	令和6年（円）	構成比（%）	令和5年（円）	構成比（%）	令和4年（円）	構成比（%）	令和3年（円）	構成比（%）	令和2年（円）
一般用	1,837,332,095	64.5	1,842,254,453	64.6	1,855,514,171	64.3	1,894,537,193	65.0	1,724,406,029
口径別	636,415,389	22.3	628,377,060	22.0	636,320,806	22.0	616,409,941	21.1	587,824,811
湯屋用	3,394,347	0.1	3,438,601	0.1	3,566,237	0.1	3,631,158	0.1	3,616,982
福祉施設用	19,997,691	0.7	22,382,048	0.8	21,919,921	0.8	22,471,281	0.8	22,195,782
連用	338,630,388	11.9	343,075,893	12.0	349,452,362	12.1	363,584,969	12.5	322,627,350
臨時用	13,579,151	0.5	14,089,554	0.5	19,750,946	0.7	15,109,531	0.5	11,503,340
九鬼簡易水道									
合計	2,849,349,061	100.0	2,853,617,609	100.0	2,886,524,443	100.0	2,915,744,073	100.0	2,672,174,294

(税込み)

構成比 (%)	令和元年(円)	構成比 (%)	平成30年(円)	構成比 (%)	対前年度比(%)						
					6	5	4	3	2	元	30
64.6	1,825,291,018	63.2	1,814,302,645	62.6	99.73	99.29	97.94	109.87	94.47	100.61	99.38
22.0	660,337,436	22.9	683,002,242	23.5	101.28	98.75	103.23	104.86	89.02	96.68	102.08
0.1	3,726,529	0.1	3,888,323	0.1	98.71	96.42	98.21	100.39	97.06	95.84	114.69
0.8	21,871,696	0.8	21,882,636	0.8	89.35	102.11	97.55	101.24	101.48	99.95	101.12
12.1	357,497,012	12.4	363,359,563	12.5	98.70	98.18	96.11	112.70	90.25	98.39	97.59
0.4	18,336,093	0.6	13,766,473	0.5	96.38	71.34	130.72	131.35	62.74	133.19	49.96
			319,512	0	-	-	-	-	-	0.00	16.51
100.0	2,887,059,784	100.0	2,900,521,394	100.0	99.85	98.86	99.00	109.12	92.56	99.54	99.35

(3) 収納状況

年度別・用途別

用途別	令和6年（円）	構成比（％）	令和5年（円）	構成比（％）	令和4年（円）	構成比（％）	令和3年（円）	構成比（％）	令和2年（円）	構成比（％）
一般用	1,646,259,418	64.5	1,647,630,438	64.6	1,664,915,040	64.3	1,704,272,530	65.0	1,537,787,155	64.6
口径別	570,231,603	22.3	561,992,492	22.0	570,957,687	22.0	554,505,096	21.1	524,209,165	22.0
湯屋用	3,041,353	0.1	3,075,332	0.1	3,199,911	0.1	3,266,488	0.1	3,225,545	0.1
福祉施設用	17,918,039	0.7	20,017,508	0.8	19,668,298	0.8	20,214,534	0.8	19,793,708	0.8
連用	303,414,644	11.9	306,831,819	12.0	313,556,480	12.1	327,070,842	12.5	287,711,935	12.1
臨時用	12,166,992	0.5	12,601,071	0.5	17,722,121	0.7	13,592,110	0.5	10,258,424	0.4
九鬼簡易水道										
合計	2,553,032,049	100.0	2,552,148,660	100.0	2,590,019,537	100.0	2,622,921,600	100.0	2,382,985,932	100.0

(税込み)

令和元年	構成比 (%)	平成30年	構成比 (%)	対前年度比(%)						
				6	5	4	3	2	元	30
1,633,902,441	63.2	1,630,909,386	62.6	99.92	98.96	97.69	110.83	94.12	100.18	99.85
591,098,590	22.9	613,963,039	23.5	101.47	98.43	102.97	105.78	88.68	96.28	102.56
3,335,788	0.1	3,495,283	0.1	98.90	96.11	97.96	101.27	96.70	95.44	115.23
19,578,367	0.8	19,670,697	0.8	89.51	101.78	97.30	102.13	101.10	99.53	101.59
320,012,116	12.4	326,630,468	12.5	98.89	97.86	95.87	113.68	89.91	97.97	98.04
16,413,485	0.6	12,374,931	0.5	96.56	71.10	130.39	132.50	62.50	132.63	50.19
		287,215	0.0	-	-	-	-	-	-	16.59
2,584,340,787	100.0	2,607,331,019	100.0	100.03	98.54	98.75	110.07	92.21	99.12	99.75

(4)納入方法

年度別納付取扱状況

区分 年度	口座振替		振込納入	
	件	%	件	%
30	48,347	77.0	13,803 (10,483)	22.0 (16.7)
元	48,835	77.1	13,846 (11,548)	21.8 (18.2)
2	49,285	77.2	13,828 (11,412)	21.7 (17.9)
3	49,622	77.1	14,046 (11,879)	21.8 (18.5)
4	49,708	76.7	14,350 (12,306)	22.2 (19.0)
5	49,752	76.3	14,718 (12,731)	22.6 (19.5)
6	49,871	76.1	14,992 (13,101)	22.9 (20.0)

1.昭和58年10月から納付制度実施

2.振込納入（ ）の内数はコンビニ収納分

(5)不納欠損金額

(税抜き)

不納欠損金額			不納欠損金額		
調定年度	金額(円)	処分年月	調定年度	金額(円)	処分年月
10	1,615,857	17年3月末	21	4,472,890	28年3月末
11	1,418,098	18年3月末	22	3,527,515	29年3月末
12	2,000,077	19年3月末	23	1,769,902	30年3月末
13	2,565,014	20年3月末	24	936,678	31年3月末
14	3,538,508	21年3月末	25	2,102,624	令和2年3月末
15	3,241,000	22年3月末	26	766,097	令和3年3月末
16	2,447,580	23年3月末	27	329,186	令和4年3月末
17	3,486,520	24年3月末	28	561,345	令和5年3月末
18	2,844,345	25年3月末	29	595,099	令和6年3月末
19	2,898,732	26年3月末	30	674,573	令和7年3月末
20	7,001,929	27年3月末			

小中学校・公園・老人集会所等		臨時栓		計
件	%	件	%	件
380	0.6	294	0.4	62,824
379	0.6	313	0.5	63,373
379	0.6	323	0.5	63,815
377	0.6	341	0.5	64,386
376	0.6	317	0.5	64,751
381	0.6	296	0.5	65,147
382	0.6	261	0.5	65,506

(6) 福祉減免制度実施状況

年度別実施状況

(税抜き)

世帯別 年度別		ひとり親世帯		高齢者世帯		重度障がい者世帯		計	
		件	構成比	件	構成比	件	構成比	件	構成比
2 年 度	申請	477	13.4%	2,584	72.8%	490	13.8%	3,551	100%
	承認	413	12.2%	2,503	73.8%	473	14.0%	3,389	100%
	減免額 (円)	2,866,794	13.7%	14,953,212	71.5%	3,105,994	14.8%	20,926,000	100%
3 年 度	申請	472	13.5%	2,516	72.2%	497	14.3%	3,485	100%
	承認	400	12.2%	2,423	73.8%	459	14.0%	3,282	100%
	減免額 (円)	2,756,500	13.4%	14,712,000	71.5%	3,101,750	15.1%	20,570,250	100%
4 年 度	申請	478	13.3%	2,585	72.2%	520	14.5%	3,583	100%
	承認	397	12.0%	2,439	73.8%	468	14.2%	3,304	100%
	減免額 (円)	2,772,250	13.4%	14,782,250	71.6%	3,106,250	15.0%	20,660,750	100%
5 年 度	申請	491	13.4%	2,642	72.4%	517	14.2%	3,650	100%
	承認	408	12.1%	2,495	73.9%	472	14.0%	3,375	100%
	減免額 (円)	2,703,500	13.0%	15,049,750	72.4%	3,042,750	14.6%	20,796,000	100%
6 年 度	申請	445	12.7%	2,552	73.0%	500	14.3%	3,497	100%
	承認	398	11.9%	2,474	74.3%	459	13.8%	3,331	100%
	減免額 (円)	2,476,750	12.3%	14,701,500	73.3%	2,882,750	14.4%	20,061,000	100%

※令和5年度末で制度廃止（令和8年度末までは経過措置あり）

9. 資 料

- (1) 水道料金の変遷
- (2) 現行水道料金
- (3) 町名別調定区分表
- (4) 広報の実績及び主な記事

9. 資料

(1) 水道料金の変遷

期 間			昭 和 30 年 9 月 ～ 昭 和 35 年 7 月			昭 和 32 年 6 月 ～	
事 業 名			和 泉 町 他 2 か 町 村 上 水 道 組 合			北 田 中 簡	
種 類		用 途 別	基 本 料 金		超 過 料 金 (円/㎡)	基 本 料 金	
			基本水量 (㎡)	金 額 (円)		基本水量 (㎡)	金 額 (円)
計 量 せ ん	専用せん	家 事 用	8	240	35	10	250
	//	官公署・学校・病院用	20	660	40	20	400
	//	学校及び公共プール用					
	//	湯屋営業用	100	2,600	30		
	//	工 場 用				12	300
	//	臨 時 用					
	共用せん	家 事 用	7	200	35		
	連用せん	家 事 用					
私 設 消 火 栓		—				1栓1回10分間	200

事 業 名			(イ) 和 泉 水 道			(ロ) 北 田 中 簡 易 水 道		
種 類		用 途 別	基 本 料 金		超過料金 (円/㎡)	基 本 料 金		超過料金 (円/㎡)
			基本水量 (㎡)	金額 (円)		基本水量 (㎡)	金額 (円)	
計 量 せ ん	専用せん	家 事 用	10	350	35	10	300	30
	〃	官公署・学校・病院用	20	600	35	20	500	30
	〃	学校及び公共プール用	300	6,000	25	300	6,000	25
	〃	湯屋営業用	200	6,000	35	200	5,000	30
	〃	工 場 用	100	3,500	35	100	3,000	30
	〃	臨 時 用	10	500	55	10	400	50
	共用せん	家 事 用	10	300	35	10	250	30
	連用せん	家 事 用	10	350	35	—	—	—
私 設 消 火 栓		—	1栓1回5分間	300	—	1栓1回5分間	250	—
期 間		—	昭 和 36 年 4 月 ～ 昭 和 40 年 3 月			昭 和 36 年 4 月 ～ 昭 和 40 年 3 月		

昭 和 36 年 3 月	昭 和 35 年 8 月 ～ 昭 和 36 年 3 月		
易 水 道	(イ) 和 泉 上 水 道		
超過料金 (円/㎡)	基 本 料 金		超過料金 (円/㎡)
	基本水量 (㎡)	金額 (円)	
25	10	350	35
20	20	600	35
	300	6,000	25
	営業20 湯屋200	800 6,000	45 35
25	100	3,500	35
		1㎡につき 30・40	
	10	300	35
	1栓1回5分間	300	

(ハ) 松 尾 上 水 道			(ニ) 父 鬼 簡 易 水 道			(ホ) 池 田 広 域 簡 易 水 道		
基 本 料 金		超過料金 (円/㎡)	基 本 料 金		超過料金 (円/㎡)	基 本 料 金		超過料金 (円/㎡)
基本水量 (㎡)	金額 (円)		基本水量 (㎡)	金額 (円)		基本水量 (㎡)	金額 (円)	
10	350	50	10	350	50	10	350	35
20	600	50	20	600	50	20	600	35
300	6,000	35	300	6,000	35	300	6,000	25
200	6,000	50	200	6,000	50	200	6,000	35
100	3,500	50	100	3,500	50	100	3,500	35
10	500	65	10	500	65	10	500	55
10	300	50	10	300	50	10	300	35
—	—	—	—	—	—	10	350	35
1栓1回5分間	300	—	1栓1回5分間	300	—	1栓1回5分間	300	—
昭 和 36 年 4 月 ～ 昭 和 40 年 3 月			昭 和 36 年 4 月 ～ 昭 和 40 年 3 月			昭 和 37 年 5 月 ～ 昭 和 40 年 3 月		

事業名			(イ) 和 泉 水 道		
種類	用途別		基本料金		超過料金 (円/㎡)
			基本水量 (㎡)	金額 (円)	
計 量 せ ん	専用せん	家事用	8	300	50
	//	官公署・学校・病院用	20	600	50
	//	学校及び公共プール用	300	6,000	50
	//	湯屋営業用	200	6,000	50
	//	工場用	100	3,500	50
	//	臨時用	10	500	60
	共用せん	家事用	8	250	50
	連用せん	家事用	8	300	50
私設消火栓		—	1栓1回5分間	400	—
期 間		昭 和 40 年 4 月 ～ 昭 和 44 年 1 月			

事業名			(イ) 和 泉 水 道			値 上 げ 率	
種類	用途別		基本料金		超過料金 (円/㎡)	基本料金%	超過料金%
			基本水量 (㎡)	金額 (円)			
計 量 せ ん	専用せん	家事用	8	400	70	33	40
	//	官公署・学校・病院用	20	800	70	33	40
	//	学校及び公共プール用	300	8,000	70	33	40
	//	湯屋営業用	200	8,000	70	33	40
	//	工場用	100	4,600	70	31	40
	//	臨時用	10	1,000	100	100	67
	共用せん	家事用	8	300	70	20	40
	連用せん	家事用	8	400	70	33	40
私設消火栓		—	1栓1回5分間	400	—	—	—
期 間		昭 和 44 年 2 月 ～ 昭 和 53 年 1 月					

事業別	用途別及び口径別	月額使用料			値上げ率	
					基本料金%	従量料金%
和泉上水道	一般用	25mm以下	8m ³ まで 700円	9m ³ ～20m ³ まで 90円	75	29
				21m ³ ～30m ³ まで 100円		43
				31m ³ ～50m ³ まで 120円		71
				51m ³ 以上 140円		100
	口径別	40mm	1,800円	1m ³ ～20m ³ まで 90円	—	—
		50mm	3,200円	21m ³ ～30m ³ まで 100円		
		75mm	9,200円	31m ³ ～50m ³ まで 120円		
		100mm	17,300円	51m ³ 以上 140円		
		150mm以上	44,000円			
	湯屋用	—	200m ³ まで 11,000円	201m ³ 以上 80円	38	14
	福祉施設用	—	100m ³ まで 5,500円	101m ³ 以上 80円	—	—
	共用	25mm以下	8m ³ まで 500円	9m ³ ～20m ³ まで 80円 21m ³ 以上 90円	25	14 29
	連用	25mm以下	8m ³ まで 700円	9m ³ ～20m ³ まで 90円	75	29
				21m ³ ～30m ³ まで 100円 31m ³ ～50m ³ まで 120円 51m ³ 以上 140円		43 71 100
	臨時用	—	10m ³ まで 1,800円	11m ³ 以上 180円	80	80
九鬼簡易水道		一戸当たり定額制	—	350円	—	75
昭和53年2月～昭和53年9月						

事業別	用途別及び口径別		月 額 使 用 料			値 上 げ 率	
			メーター口径	基本料金	従量料金（1㎡につき）	基本料金%	従量料金%
和 <							

平均改定率25.21%

事業別	用途別及び口径別	月 額 使 用 料			値 上 げ 率	
		メーター口径	基本料金	従量料金（1㎡につき）	基本料金%	従量料金%
和 泉 上 水 道	一 般 用	25mm以下	10㎡まで 900円	11㎡～20㎡まで 130円	—	—
				21㎡～30㎡まで 150円		36
				31㎡～50㎡まで 170円		31
				51㎡以上 220円		29
	口 径 別	40mm	2,000円	1㎡～20㎡まで 130円	—	30
		50mm	3,500円	21㎡～30㎡まで 150円	—	36
		75mm	10,200円	31㎡～50㎡まで 170円	—	31
		100mm	19,300円	51㎡～100㎡まで 220円	—	—
		150mm以上	49,000円	101㎡～200㎡まで 240円 201㎡以上 260円	— —	— —
	湯 屋 用	—	200㎡まで 12,000円	201㎡以上 110円	—	22
	福 祉 施 設 用	—	100㎡まで 6,000円	101㎡以上 110円	—	22
	共 用	25mm以下	10㎡まで 700円	11㎡～20㎡まで 110円	—	—
				21㎡以上 130円		30
	連 用	25mm以下	10㎡まで 900円	11㎡～20㎡まで 130円	—	—
				21㎡～30㎡まで 150円		36
				31㎡～50㎡まで 170円		31
				51㎡以上 220円		29
	臨 時 用	—	10㎡まで 4,000円	11㎡以上 400円	100	100
九鬼簡易水道		25mm以下	10㎡まで 900円	11㎡以上 60円	—	—
平 成 6 年 1 月 ～ 平 成 14 年 3 月						

平均改定率14.63%

事業別	用途別及び口径別	月 額 使 用 料			値 上 げ 率	
		メーター口径	基本料金	従量料金（1㎡につき）	基本料金%	従量料金%
和 						

(2) 現行水道料金

水道料金算定一覧表(平成26年4月計量分から適用)

【1カ月用・消費税抜額】

用途別及び 口径別	メーター口径	1カ月基本料金	1カ月分使用水量 (従量水量)	使用水量 1 m ³ につき
一 般 用	25mm以下	500円	1 m ³ ~10m ³	46円
			11m ³ ~20m ³	138円
			21m ³ ~30m ³	165円
			31m ³ ~50m ³	193円
			51m ³ ~100m ³	220円
			101m ³ 以上	248円
口 径 別	40mm	2,400円	1 m ³ ~20m ³	138円
	50mm	4,100円	21m ³ ~30m ³	166円
	75mm	11,700円	31m ³ ~50m ³	194円
	100mm	22,000円	51m ³ ~100m ³	221円
	150mm以上	55,000円	101m ³ ~200m ³	249円
			201m ³ ~500m ³	286円
			501m ³ 以上	322円
湯 屋 用	—	2,000円	1 m ³ ~200m ³	46円
			201m ³ 以上	120円
福祉施設用	—	1,000円	1 m ³ ~100m ³	46円
			101m ³ 以上	120円
連 用	—	500円	1 m ³ ~10m ³	46円
			11m ³ ~20m ³	138円
			21m ³ ~30m ³	165円
			31m ³ ~50m ³	193円
			51m ³ ~100m ³	220円
			101m ³ 以上	248円
臨 時 用	25mm以上	500円	1 m ³ 以上	500円
	40mm	2,400円		
	50mm	4,100円		
	75mm	11,700円		
	100mm	22,000円		
	150mm以下	55,000円		

水道料金算定式(水道使用料金)×消費税率
水道使用料金に消費税率を乗じた額に1円未満の端数が生じたときは、切り下げます。

大阪府内市町村 水道月額料金比較（税込） ※メーター使用料を含む

順位は20m³を基準に高い順に表示 （令和7年9月1日現在）

市町村名	現行料金 適用年月日	10m ³		20m ³		基本料金（円）	
		金額(円)	順位	金額(円)	順位		
豊能町	R5.4.1	2,975	1	4,955	1	0 m ³ まで	1,380
能勢町	R6.4.1	2,975	1	4,955	1	0 m ³ まで	1,380
千早赤阪村	R4.4.1	2,398	3	4,433	3	0 m ³ まで	1,298
岬町	H19.5.1	1,720	4	3,810	4	6 m ³ まで	910
河南町	R4.4.1	1,677	6	3,525	5	0 m ³ まで	489
藤井寺市	R2.10.1	1,034	33	3,278	6	8 m ³ まで	968
交野市	R6.4.1	1,379	11	3,227	7	8 m ³ まで	998
泉南市	H30.10.1	1,697	5	3,204	8	0 m ³ まで	908
太子町	H22.10.1	1,672	7	3,190	9	0 m ³ まで	418
岸和田市	R6.4.1	1,419	8	3,157	10	0 m ³ まで	781
阪南市	H29.4.1	1,367	12	3,122	11	8 m ³ まで	1,016
泉大津市	H24.4.1	968	41	3,113	12	0 m ³ まで	466
熊取町	R4.4.1	1,320	14	3,090	13	0 m ³ まで	550
田尻町	H17.4.1	1,320	14	3,070	14	8 m ³ まで	880
松原市	H26.4.1	1,230	17	3,067	15	6 m ³ まで	726
忠岡町	H25.10.1	1,397	9	3,047	16	8 m ³ まで	902
河内長野市	H20.4.1	1,127	24	2,975	17	0 m ³ まで	720
島本町	H22.12.1	1,386	10	2,926	18	0 m ³ まで	726
泉佐野市	H21.4.1	1,166	19	2,926	18	0 m ³ まで	550
四條畷市	H22.10.1	1,130	23	2,923	20	5 m ³ まで	805
箕面市	H30.7.1	1,059	28	2,907	21	8 m ³ まで	754
高石市	H22.4.1	1,250	16	2,845	22	0 m ³ まで	500
豊中市	R7.2.1	1,353	13	2,838	23	0 m ³ まで	1,089
富田林市	R3.10.1	1,133	22	2,816	24	8 m ³ まで	796
摂津市	H22.10.1	1,183	18	2,778	25	6 m ³ まで	748
八尾市	H22.10.1	1,034	33	2,772	26	0 m ³ まで	660
池田市	R6.1.1	1,045	30	2,750	27	8 m ³ まで	880
羽曳野市	H26.10.1	984	40	2,744	28	8 m ³ まで	698
門真市	R3.1.1	985	39	2,723	29	10 m ³ まで	985
吹田市	R2.4.1	1,166	19	2,706	30	6 m ³ まで	990
大阪狭山市	H22.7.1	946	42	2,706	30	10 m ³ まで	946
柏原市	H15.8.1	1,028	36	2,678	32	5 m ³ まで	704
寝屋川市	H23.10.1	1,060	27	2,600	33	10 m ³ まで	1,060
東大阪市	H23.3.1	992	37	2,598	34	7 m ³ まで	668
大東市	H22.10.1	1,042	32	2,582	35	10 m ³ まで	990
和泉市	H26.4.1	1,056	29	2,574	36	0 m ³ まで	550
守口市	H22.8.1	1,098	26	2,572	37	8 m ³ まで	810
堺市	R1.12.1	1,122	25	2,464	38	0 m ³ まで	715
高槻市	H30.7.1	935	43	2,420	39	0 m ³ まで	759
貝塚市	H14.4.1	1,034	33	2,409	40	10 m ³ まで	1,034
枚方市	R3.4.1	992	37	2,290	41	0 m ³ まで	726
大阪市	H27.10.1	1,045	30	2,112	42	0 m ³ まで	935
茨木市	H22.10.1	1,155	21	2,035	43	0 m ³ まで	550
府内平均	—	1,304		2,975		—	

- ・現行料金適用年月日は、消費税及び地方消費税（以下、消費税等という。）の転嫁のみの改定を反映してない。
- ・各料金は、消費税等を含む。（メーター使用料については口径13ミリとする。）
- ・基本料金には、メーター使用料は含まない。
- ・平均料金は、単純平均である。

(3)町名別調定区分表

A地区				B地区				備考
2・4・6・8・10・12月調定				1・3・5・7・9・11月調定				
1 回 目	王 尾 鶴	子 井 山	町 町 台	1 回 目	府 井 伯 桑	中 ノ 太 原	町 町 町	※1日～6日頃に検針
2 回 目	上 太 葛 富 上 幸 舞 小	の 秋 代 野	町 町 町 町 町 町	2 回 目	肥 小 和 繁 黒 池 山 観	子 田 気 和 鳥 上 荘 音 寺	町 町 町 町 町 町	※5日～12日頃に検針
3 回 目	室 伏 和 三 浦 鍛 納 平 黒 下 北 岡 福 小 仏 坪 善 南	堂 屋 田 林 田 冶 花 井 石 宮 田 中 瀬 野 並 井 正 面 利	町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町	3 回 目	今 唐 内 春 松 久 若 春 池 父 大 緑 あ テ	福 国 田 木 尾 井 檜 木 田 鬼 野 が ゆ ノ ス テ ー ジ	町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町	※10日～17日頃に検針
4 回 目	東 万 国 光 青 ま の は 九	阪 分 明 葉 な そ つ 鬼	本 町 町 台 台 野 野 野 町	4 回 目	一 芦 阪 寺 寺 箕 弥 い	条 部 本 門 田 形 生 ぶ き	院 町 町 町 町 町 町 町 野	※16日～22日頃に検針

(4) 広報の実績及び主な記事

	発行年月日	配布方法	主な掲載内容
広報いずみ	6.6.1	全戸配布	6月1日～7日は水道週間
	6.7.1	//	和田浄水場 夏休み施設見学会
	6.8.1	//	上下水料金等がスマホアプリで納付可能に
	6.12.1	//	水道管にも冬じたくをしましょう
	7.6.1	//	水道クイズキャンペーン
	7.8.1	//	水のこと、考えませんか (水の日・水の週間)
	7.12.1	//	水道管にも冬じたくをしましょう
上下水道だより	6.7.1	全戸配布	NO.56 令和6年能登半島地震から半年 災害時に水道・下水道は使えるの？
	7.1.1	//	NO.57 あれから30年 阪神・淡路大震災からの教訓
	7.7.1	//	NO.58 知っていますか？ あなたの水道・下水道のこと
	8.1.1	//	NO.59 水道・下水道 水回りのお困りごとはありませんか？
水道ホームページ		全国版	水道財政状況、拡張事業内容、和泉の水道、水道施設等整備計画、水道ビジョン・経営戦略、給水装置工事関連情報、水道Q&Aなど